

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-140359

(43)Date of publication of application : 17.05.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/30

G06F 13/00

G06F 17/60

(21)Application number : 2000-334598

(71)Applicant : HASEGAWA MASAYUKI
YOSHIDA ARIHIRO

(22)Date of filing : 01.11.2000

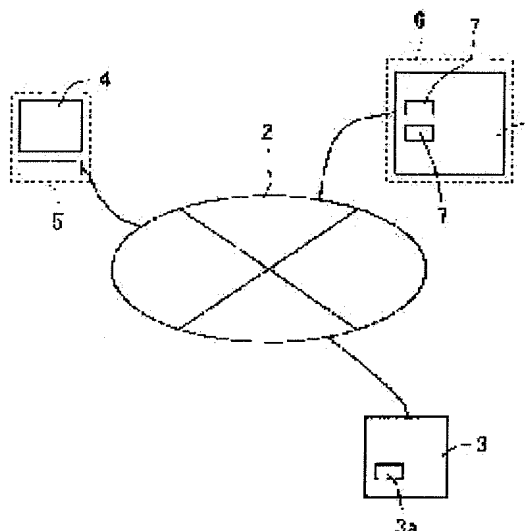
(72)Inventor : HASEGAWA MASAYUKI
YOSHIDA ARIHIRO

(54) ADVERTISEMENT DISTRIBUTION SYSTEM, ADVERTISEMENT CONTENTS, AND DEVICE AND METHOD FOR ADVERTISEMENT DISTRIBUTION

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an advertisement distribution system, advertisement contents, and a device and a method for advertisement distribution which enables receivers to effectively use advertisement information and an advertiser to efficiently distribute its own company's advertisements to receivers to be a purchasing group of its own company's products.

SOLUTION: This advertisement distribution system which distributes advertisements to the receivers 5 through a high-speed communication network 2 is characterized by that advertisement contents 7 which have one or more advertisements having been narrowed down to specific targets in advance and also have an address part showing the link relation with a WEB site 3a related to the advertisement and an advertisement distributing device 1 which distributes the advertisement contents 7 are arranged on the high-speed communication network 2, and the advertisement contents 7 are distributed to a receiver 5 at a request made by the receiver 5.



[0144] Further, the above-described advertisement content 7 may be browsed with a dedicated browsing software (dedicated browser) delivered to a receiving device 4, or also can be browsed with a general purpose browsing software (general browser). Additionally, the advertisement content 7 may be programmed so that when the advertisement content 7 is browsed with the dedicated browser, the dedicated browser is sent to an advertisement-delivering device 1 after a viewing history is recorded. Delivery of the dedicated browser does not have to be automatic and may be set so that whether to deliver or not is confirmed with the receiver 5 every time. Further, the delivery of the software for collecting and sending the viewing history to the receiving device 4 can be performed together with the delivery of the dedicated browser, or may be in a separate delivery. Even if the above-described dedicated browser is not used and a general browser is used for browsing, the viewing history is recorded by the receiving device 4 and sent to the advertisement-delivering device 1.

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-140359

(P2002-140359A)

(43)公開日 平成14年5月17日(2002.5.17)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テームト*(参考)
G 0 6 F 17/30	3 4 0	G 0 6 F 17/30	3 4 0 A 5 B 0 4 9
	1 7 0		1 7 0 Z 5 B 0 7 5
	2 1 0		2 1 0 C
13/00	5 4 0	13/00	5 4 0 P
17/60	3 2 6	17/60	3 2 6
審査請求 有 請求項の数43 O L (全 42 頁) 最終頁に続く			

(21)出願番号 特願2000-334598(P2000-334598)

(22)出願日 平成12年11月1日(2000.11.1)

(71)出願人 500507571

長谷川 雅之

東京都武蔵野市吉祥寺東町二丁目34番13号

(71)出願人 500507582

吉田 有宏

東京都大田区千鳥一丁目23番22-105号

(72)発明者 長谷川 雅之

東京都武蔵野市吉祥寺東町二丁目34番13号

(72)発明者 吉田 有宏

東京都大田区千鳥一丁目23番22-105号

(74)代理人 100087859

弁理士 渡辺 秀治 (外1名)

Fターム(参考) 5B049 BB49 GG00

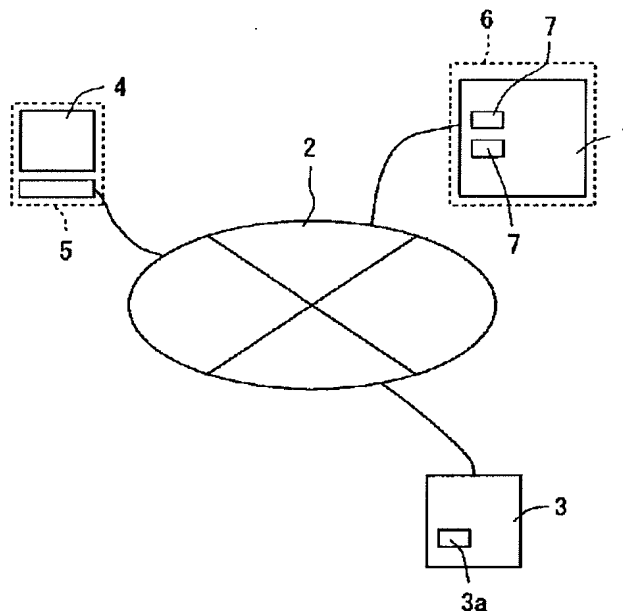
5B075 ND20 ND36 PQ05 PR03

(54)【発明の名称】 広告配信システム、広告コンテンツおよび広告配信装置ならびに広告配信方法

(57)【要約】

【課題】 受信者にとって広告情報を有効利用しやすくすると共に、所望の広告に容易に辿りつけるようにし、広告主にとっては自社製品の購買層となる受信者に対してより効率よく自社広告を配信することが可能な広告配信システム、広告コンテンツおよび広告配信装置ならびに広告配信方法を提供する

【解決手段】 受信者5に対し高速通信網2を介して広告を配信する広告配信システムにおいて、予め所定のターゲットに絞り込みを行った広告を1つ以上有し、かつその広告と関連するWEBサイト3aとのリンク関係を示すアドレス部を有する広告コンテンツ7と、この広告コンテンツ7を配信する広告配信装置1と、を高速通信網2上に配置し、受信者5の要求に基づいて広告コンテンツ7を受信者5に配信する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信システムにおいて、予め所定のターゲットに絞り込みを行った広告を 1 つ以上有し、かつその広告と関連する WEB サイトとのリンク関係を示すアドレス部を有する広告コンテンツと、この広告コンテンツを配信する広告配信装置と、を上記高速通信網上に配置し、上記受信者の要求に基づいて上記広告コンテンツを上記受信者に配信することを特徴とする広告配信システム。

【請求項 2】 受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信システムにおいて、予め所定のターゲットに絞り込みを行った広告を 1 つ以上有し、かつその広告と関連する他の広告コンテンツとのリンク関係を示すアドレス部を有する広告コンテンツと、この広告コンテンツを配信する広告配信装置と、を上記高速通信網上に配置し、上記受信者の要求に基づいて上記広告コンテンツを上記受信者に配信することを特徴とする広告配信システム。

【請求項 3】 受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信システムにおいて、広告データに管理情報を付加した広告コンポーネントを 1 つ以上有し、広告を所定のジャンル、所定のカテゴリ、所定のコンセプトの少なくともいずれか 1 つで所定のターゲットに絞り込み、かつ任意の時間で構成される広告コンテンツを上記受信者に対し配信することを特徴とする広告配信システム。

【請求項 4】 受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信システムにおいて、広告データに管理情報を付加した広告コンポーネントを 1 つ以上有する広告コンテンツを、上記受信者に配信することを特徴とする広告配信システム。

【請求項 5】 前記広告コンポーネントが、関連する WEB サイトもしくは他の広告コンテンツとのリンク関係を示すアドレス部を少なくとも 1 つ以上有していることを特徴とする請求項 3 または 4 記載の広告配信システム。

【請求項 6】 前記広告コンテンツ内に、複数の前記広告コンポーネントにより構成される 1 つの広告を備えたことを特徴とする請求項 3、4 または 5 記載の広告配信システム。

【請求項 7】 受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信システムにおいて、複数の受信者の視聴履歴、配信履歴及び売買履歴の少なくとも 1 つに基づいた新たな広告コンテンツを自動的に作成する広告コンテンツ自動作成機能を備えてなることを特徴とする広告配信システム。

【請求項 8】 受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信システムにおいて、予め所定のターゲットに絞り込みを行った広告を 1 つ以上有する広告コン

テンツと、この広告コンテンツを配信する広告配信装置と、上記広告コンテンツを閲覧できる受信装置と、上記絞り込みを行った広告とリンク関係を有する WEB サイトとを備えることを特徴とする広告配信システム。

【請求項 9】 受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信システムにおいて、予め所定のターゲットに絞り込みを行った広告を 1 つ以上有する広告コンテンツと、この広告コンテンツを閲覧できる受信装置とを有し、受信者が受信装置で上記広告コンテンツの配信を受け、この広告コンテンツの閲覧動作を行うと、その閲覧動作を視聴履歴としてとることを特徴とする広告配信システム。

【請求項 10】 受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信システムにおいて、予め所定のターゲットに絞り込みを行った広告を 1 つ以上有する広告コンテンツと、この広告コンテンツを閲覧できる受信装置とを有し、受信者が受信装置で上記広告コンテンツの配信を受け、その広告コンテンツの閲覧動作を所定時間以上継続した場合に、視聴履歴をとることを特徴とする広告配信システム。

【請求項 11】 前記視聴履歴は、前記受信装置から前記広告コンテンツを配信する広告配信装置へ送信されることを特徴とする請求項 9 または 10 記載の広告配信システム。

【請求項 12】 前記視聴履歴をとると共に、その視聴履歴を前記広告配信装置へ送信するための視聴履歴管理プログラムが、前記広告コンテンツの配信時に前記受信者の受信装置に組み込まれることを特徴とする請求項 11 記載の広告配信システム。

【請求項 13】 受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信システムにおいて、予め所定のターゲットに絞り込みを行った広告を 1 つ以上有し、かつその広告と関連する WEB サイトとリンク関係を有するアドレス部を有する広告コンテンツと、この広告コンテンツを配信する広告配信装置と、上記広告コンテンツを閲覧できる受信装置とを有し、上記広告配信装置は、上記受信装置へ上記広告コンテンツを配信した際の配信履歴、及び上記受信装置が上記広告コンテンツの配信を受けて受信者がこの広告コンテンツの閲覧動作を行い、さらにこの広告コンテンツが当該広告配信装置経由で上記 WEB サイトへの接続を行った場合の上記 WEB サイトへの接続を含む情報となる配信履歴の少なくともいずれか一方を配信履歴としてとることを特徴とする広告配信システム。

【請求項 14】 受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信システムにおいて、予め所定のターゲットに絞り込みを行った広告を 1 つ以上有し、かつその広告と関連する WEB サイトとのリンク関係を有するアドレス部を有する広告コンテンツと、この広告コンテンツを配信する広告配信装置と、上記広告コンテンツを

閲覧できる受信装置とを有し、少なくとも1回以上上記広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行い、さらにこの広告コンテンツが上記広告配信装置経由で上記WEBサイトへの接続を行った受信者の上記WEBサイトへの接続であって、かつその接続されたWEBサイトが売買サイトであった場合、上記受信者の上記売買サイトの利用情報を売買履歴としてとることを特徴とする広告配信システム。

【請求項15】 受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信システムにおいて、予め所定のターゲットに絞り込みを行った広告を1つ以上有する広告コンテンツと、この広告コンテンツを配信する広告配信装置とが上記高速通信網上に配置されていると共に、上記受信者が上記広告コンテンツを閲覧した際にとられる視聴履歴、上記受信者が上記広告コンテンツの配信を受けた際にとられる配信履歴、上記受信者が上記広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行い、さらにこの広告コンテンツが上記広告配信装置経由で上記絞り込みを行った広告とリンク関係を有するWEBサイトへの接続を行った際にとられる配信履歴及び少なくとも1回以上上記広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行い、さらにこの広告コンテンツが上記広告配信装置経由で上記WEBサイトへの接続を行った受信者の上記WEBサイトへの接続であって、かつその接続されたWEBサイトが売買サイトであった場合に当該売買サイトの利用情報としてとられる売買履歴の上記4つの各履歴からなる収集情報と、上記広告コンテンツのターゲットとなるユーザーグループ毎に設定された特定市場の市場動向情報と、上記ユーザーグループの属するさらに大枠の市場の方向性情報からなる上記3つの情報を基に、新規の広告コンテンツを作成してこれを上記広告配信装置に保存しておくと共に、当該新規の広告コンテンツが上記広告配信装置に保存されていることを上記受信者に所定の手段によって開示可能とすることを特徴とする広告配信システム。

【請求項16】 受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信システムにおいて、予め所定のターゲットに絞り込みを行った広告を1つ以上有する広告コンテンツと、この広告コンテンツを配信する広告配信装置とが上記高速通信網上に配置されていると共に、上記受信者が上記広告コンテンツを閲覧した際にとられる視聴履歴、上記受信者が上記広告コンテンツの配信を受けた際にとられる配信履歴、上記受信者が上記広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行い、さらにこの広告コンテンツが上記広告配信装置経由で上記絞り込みを行った広告とリンク関係を有するWEBサイトへの接続を行った際にとられる配信履歴及び少なくとも1回以上上記広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行い、さらにこの広告コンテンツが上記広告配信装置経由で上記WEBサイトへ

の接続を行った受信者の上記WEBサイトへの接続であって、かつその接続されたWEBサイトが売買サイトであった場合に当該売買サイトの利用情報としてとられる売買履歴の上記4つの各履歴の少なくとも1つからなる収集情報と、上記広告コンテンツのターゲットとなるユーザーグループ毎に設定された特定市場の市場動向情報と、上記ユーザーグループの属するさらに大枠の市場の方向性情報からなる上記3つの情報を基に、新規の広告コンテンツを作成してこれを上記広告配信装置に保存しておくと共に、当該新規の広告コンテンツが上記広告配信装置に保存されていることを上記受信者に所定の手段によって開示可能とすることを特徴とする広告配信システム。

【請求項17】 受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信システムにおいて、予め所定のターゲットに絞り込みを行った広告を1つ以上有する広告コンテンツと、この広告コンテンツを配信する広告配信装置とが上記高速通信網上に配置されていると共に、上記受信者が上記広告コンテンツを閲覧した際にとられる視聴履歴、上記受信者が上記広告コンテンツの配信を受けた際にとられる配信履歴、上記受信者が上記広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行い、さらにこの広告コンテンツが上記広告配信装置経由で上記絞り込みを行った広告とリンク関係を有するWEBサイトへの接続を行った際にとられる配信履歴及び少なくとも1回以上上記広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行い、さらにこの広告コンテンツが上記広告配信装置経由で上記WEBサイトへの接続を行った受信者の上記WEBサイトへの接続であって、かつその接続されたWEBサイトが売買サイトであった場合に当該売買サイトの利用情報としてとられる売買履歴の上記4つの各履歴からなる収集情報と、上記広告コンテンツのターゲットとなるユーザーグループ毎に設定された特定市場の市場動向情報と、上記ユーザーグループの属するさらに大枠の市場の方向性情報からなる上記3つの情報を基に、既存の広告コンテンツを更新してこれを上記広告配信装置に保存しておくと共に、更新された広告コンテンツが上記広告配信装置に保存されたことを上記受信者に所定の手段によって開示可能とすることを特徴とする広告配信システム。

【請求項18】 受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信システムにおいて、予め所定のターゲットに絞り込みを行った広告を1つ以上有する広告コンテンツと、この広告コンテンツを配信する広告配信装置とが上記高速通信網上に配置されていると共に、上記受信者が上記広告コンテンツを閲覧した際にとられる視聴履歴、上記受信者が上記広告コンテンツの配信を受けた際にとられる配信履歴、上記受信者が上記広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行い、さらにこの広告コンテンツが上記広告配信装置経由

で上記絞り込みを行った広告とリンク関係を有するWEBサイトへの接続を行った際にとられる配信履歴及び少なくとも1回以上上記広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行い、さらにこの広告コンテンツが上記広告配信装置経由で上記WEBサイトへの接続を行った受信者の上記WEBサイトへの接続であって、かつその接続されたWEBサイトが売買サイトであった場合に当該売買サイトの利用情報としてとられる売買履歴の上記4つの各履歴の少なくとも1つからなる収集情報と、上記広告コンテンツのターゲットとなるユーザーグループ毎に設定された特定市場の市場動向情報と、上記ユーザーグループの属するさらに大枠の市場の方向性情報からなる上記3つの情報を基に、既存の広告コンテンツを更新してこれを上記広告配信装置に保存しておくと共に、更新された広告コンテンツが上記広告配信装置に保存されたことを上記受信者に所定の手段によって開示可能とすることを特徴とする広告配信システム。

【請求項19】 前記広告コンテンツは、さらに1つ以上の他の広告コンテンツとのリンク関係を有し、各広告コンテンツ間には多階層構造をとり、少なくとも最下層の広告コンテンツに前記WEBサイトへのリンク関係を有するアドレス部を備えていることを特徴とする請求項15から18のいずれか1項記載の広告配信システム。

【請求項20】 受信者に対し高速通信網を介して配信される広告コンテンツにおいて、上記受信者が自己の使用する受信装置で当該広告コンテンツの配信を受け、この広告コンテンツの閲覧動作を行うと、その閲覧動作を視聴履歴としてとるようにプログラムされたことを特徴とする広告コンテンツ。

【請求項21】 受信者に対し高速通信網を介して配信される広告コンテンツにおいて、上記受信者が自己の使用する受信装置で当該広告コンテンツの配信を受け、この広告コンテンツの閲覧動作を所定時間以上継続した場合に、視聴履歴としてとるようにプログラムされたことを特徴とする広告コンテンツ。

【請求項22】 前記視聴履歴が、前記受信装置から当該広告コンテンツを配信する広告配信装置へ送信されるようにプログラムされたことを特徴とする請求項20または21記載の広告コンテンツ。

【請求項23】 視聴履歴をとると共に、その視聴履歴を前記当該広告コンテンツを配信する広告配信装置へ送信するための視聴履歴管理プログラムが、当該広告コンテンツの配信時に前記受信者の受信装置に組み込まれるようにプログラムされたことを特徴とする請求項22記載の広告コンテンツ。

【請求項24】 受信者に対し高速通信網を介して配信される広告コンテンツにおいて、少なくとも1つ以上のWEBサイトとのリンク関係を有するアドレス部を有し、上記受信者が当該広告コンテンツの配信を受け、こ

の広告コンテンツの閲覧動作を行い、さらに当該広告コンテンツがこの広告コンテンツの配信を行うための広告配信装置経由で上記WEBサイトへの接続を行った場合に、当該広告コンテンツを配信した履歴及びその後のWEBサイトへの接続情報を共に配信履歴としてとるようにプログラムされたことを特徴とする広告コンテンツ。

【請求項25】 受信者に対し高速通信網を介して配信される広告コンテンツにおいて、少なくとも1つ以上のWEBサイトとのリンク関係を有するアドレス部を有し、少なくとも1回以上当該広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行い、さらにこの広告コンテンツが当該広告コンテンツを上記受信者へ配信するための上記広告配信装置経由で上記WEBサイトへの接続を行った受信者の上記WEBサイトへの接続であって、上記WEBサイトが売買サイトでしかも上記受信者がこの売買サイトを利用した場合における利用情報を売買履歴としてとるようにプログラムされたことを特徴とする広告コンテンツ。

【請求項26】 受信者に対し高速通信網を介して配信される広告コンテンツにおいて、所定の広告コンテンツ間においてリンク関係を有する多階層構造の所定の階層に配置されたものであることを特徴とする広告コンテンツ。

【請求項27】 当該広告コンテンツと関連するWEBサイトとリンク関係を有するアドレス部が備えられたことを特徴とする請求項26記載の広告コンテンツ。

【請求項28】 前記多階層構造の最下層に配置されたことを特徴とする請求項27記載の広告コンテンツ。

【請求項29】 受信者に対し高速通信網を介して広告コンテンツを配信する広告配信装置において、所定のターゲットに絞り込みを行うための各種要素を管理する広告作成要素管理部と、上記広告コンテンツを構成する広告データを管理する広告データ管理部と、上記受信者が上記広告コンテンツを閲覧した際にとられる視聴履歴、上記受信者が上記広告コンテンツの配信を受けた際にとられる配信履歴、上記受信者が上記広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行いさらに上記広告コンテンツが当該広告配信装置経由で上記広告コンテンツに関連するWEBサイトへの接続を行った際にとられる配信履歴及び少なくとも1回以上上記広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行い、さらにこの広告コンテンツが上記広告配信装置経由で上記WEBサイトへの接続を行った受信者が上記WEBサイトへ接続し、この接続されたWEBサイトが売買サイトである場合であって上記受信者が当該売買サイトを利用した際に利用情報としてとられる売買履歴の上記4つの各履歴からなる収集情報の少なくとも1つ以上の履歴情報を管理する収集情報管理部と、上記広告作成要素管理部で管理されている各種要素および上記収集情報管理部で管理されている履歴情報を考慮し上記広告

データ管理部から広告データを選択して所定のターゲットに絞り込みを行った広告を1つ以上有する広告コンテンツを作成する広告コンテンツ作成部と、この広告コンテンツ作成部で作成された広告コンテンツを上記高速通信網を介して受信者に配信することが可能な広告コンテンツ配信部とを備えたことを特徴とする広告配信装置。

【請求項30】 前記所定のターゲットに絞り込みを行うための各種要素には、前記所定のターゲットとなるユーザーグループ毎に設定された特定市場の市場動向情報と、上記ユーザーグループの属するさらに大枠の市場の方向性情報と、前記広告コンテンツに含まれる広告の広告主の意向とが含まれると共に、前記市場動向情報を分析する第1の分析手段と、前記方向性情報を分析する第2の分析手段とを備えたことを特徴とする請求項29記載の広告配信装置。

【請求項31】 所定のターゲットに絞り込みを行うための各種要素を管理する広告作成要素管理部と、上記広告コンテンツを構成する広告データを管理する広告データ管理部と、上記受信者が上記広告コンテンツを閲覧した際にとられる視聴履歴、上記受信者が上記広告コンテンツの配信を受けた際にとられる配信履歴、上記受信者が上記広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行いさらに上記広告コンテンツが当該広告配信装置もしくは他の広告配信装置経由で上記広告コンテンツに関連するWEBサイトへの接続を行った際にとられる配信履歴及び少なくとも1回以上上記広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行い、さらにこの広告コンテンツが上記広告配信装置経由で上記WEBサイトへの接続を行った受信者が上記WEBサイトへ接続し、この接続されたWEBサイトが売買サイトである場合であって上記受信者が当該売買サイトを利用した際に利用情報としてとられる売買履歴の上記4つの各履歴からなる収集情報の少なくとも1つ以上の履歴情報を管理する収集情報管理部と、上記広告作成要素管理部で管理されている各種要素および上記収集情報管理部で管理されている履歴情報を考慮し上記広告データ管理部から広告データを選択して所定のターゲットに絞り込みを行った広告を1つ以上有する上記広告コンテンツを作成する広告コンテンツ作成部を備えたことを特徴とする広告配信装置。

【請求項32】 所定のターゲットに絞り込みを行った広告を1つ以上有する広告コンテンツを高速通信網を介して受信者に配信することが可能な広告コンテンツ配信部を有することを特徴とする広告配信装置。

【請求項33】 所定のターゲットに絞り込みを行った広告を1つ以上有する広告コンテンツを高速通信網を介して受信者に配信し、受信者が上記広告コンテンツを閲覧した際にとられる視聴履歴、上記受信者が上記広告コンテンツの配信を受けた際にとられる配信履歴、上記受信者が上記広告コンテンツの配信を受けて当該広告コン

テンツの閲覧動作を行いさらに上記広告コンテンツが当該広告配信装置もしくは他の広告配信装置経由で上記広告コンテンツに関連するWEBサイトへの接続を行った際にとられる配信履歴及び少なくとも1回以上上記広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行い、さらにこの広告コンテンツが上記広告配信装置経由で上記WEBサイトへの接続を行った受信者が上記WEBサイトへ接続し、この接続されたWEBサイトが売買サイトである場合であって上記受信者が当該売買サイトを利用した際に利用情報としてとられる売買履歴の上記4つの各履歴からなる収集情報の少なくとも1つ以上の履歴情報を管理する収集情報管理部を備えたことを特徴とする広告配信装置。

【請求項34】 受信者に対し高速通信網を介して広告コンテンツを配信する広告配信装置において、所定のターゲットに絞り込みを行うための各種要素を管理する広告作成要素管理部と、上記広告コンテンツを構成する広告データを管理する広告データ管理部と、上記受信者が上記広告コンテンツを閲覧した際にとられる視聴履歴、上記受信者が上記広告コンテンツの配信を受けた際にとられる配信履歴、上記受信者が上記広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行いさらに上記広告コンテンツが当該広告配信装置経由で上記広告コンテンツに関連するWEBサイトへの接続を行った際にとられる配信履歴及び少なくとも1回以上上記広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行い、さらにこの広告コンテンツが上記広告配信装置経由で上記WEBサイトへの接続を行った受信者が上記WEBサイトへ接続し、この接続されたWEBサイトが売買サイトである場合であって上記受信者が当該売買サイトを利用した際に利用情報としてとられる売買履歴の上記4つの各履歴からなる収集情報の少なくとも1つ以上の履歴情報を管理する収集情報管理部と、上記広告作成要素管理部で管理されている各種要素および上記収集情報管理部で管理されている履歴情報を考慮し上記広告データ管理部から広告データを選択して所定のターゲットに絞り込みを行った広告を1つ以上有する広告コンテンツを作成する広告コンテンツ作成部と、上記広告コンテンツを上記高速通信網を介して受信者に配信することが可能な広告コンテンツ配信部とを備え、上記広告コンテンツ作成部は、当該広告コンテンツ作成部で作成された広告コンテンツを、上記広告コンテンツ配信部内に元々備えている既存の広告コンテンツで上記ターゲットが一致するものもしくは一致しないものの中で任意のものと入れ替えることにより、上記広告コンテンツ配信部内の広告コンテンツの更新を行うことを特徴とする広告配信装置。

【請求項35】 受信者に対し高速通信網を介して広告コンテンツを配信する広告配信装置において、所定のターゲットに絞り込みを行った広告を1つ以上有する広告

コンテンツを作成する広告コンテンツ作成部と、上記広告コンテンツを構成する広告データを管理する広告データ管理部と、上記広告コンテンツを上記高速通信網を介して上記受信者に配信することが可能な広告コンテンツ配信部と、上記広告データ管理部内及び上記高速通信網を介してあるいは介さず当該広告配信装置に接続されている他の広告配信装置内の少なくともいずれか一方から広告データを検索して抽出する検索部とを備え、上記受信者が当該広告配信装置に検索要求を出すと、上記検索部が上記検索要求に基づいて検索し抽出した広告データを基に、上記広告コンテンツ作成部が新たな広告コンテンツを作成し、この作成された広告コンテンツが上記広告コンテンツ配信部より上記受信者に配信されることを特徴とする広告配信装置。

【請求項 3 6】 受信者に対し高速通信網を介して広告コンテンツを配信する広告配信装置において、所定のターゲットに絞り込みを行った広告を 1 つ以上有する広告コンテンツを作成する広告コンテンツ作成部と、上記広告コンテンツを構成する広告データを管理する広告データ管理部と、上記広告コンテンツを上記高速通信網を介して上記受信者に配信することが可能な広告コンテンツ配信部と、上記広告データ管理部内及び上記高速通信網を介してあるいは介さず当該広告配信装置に接続されている他の広告配信装置内の少なくともいずれか一方から広告データを検索して抽出する検索部とを備え、この検索部が検索開始命令により広告データの検索及び抽出を開始し、さらに上記広告コンテンツ作成部がその抽出された広告データを基に新たな広告コンテンツを作成することを特徴とする広告配信装置。

【請求項 3 7】 高速通信網を介してあるいは介さず当該広告配信装置に接続されている他の広告配信装置内から広告データを検索して抽出する検索部を備えたことを特徴とする広告配信装置。

【請求項 3 8】 受信者に対し高速通信網を介して広告コンテンツを配信する広告配信装置において、所定のターゲットに絞り込むための各種要素を管理する広告作成要素管理部と、上記広告コンテンツを構成する広告データを管理する広告データ管理部と、上記受信者が上記広告コンテンツを閲覧した際にとられる視聴履歴、上記受信者が上記広告コンテンツの配信を受けた際にとられる配信履歴、上記受信者が上記広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行いさらに上記広告コンテンツが当該広告配信装置経由で上記広告コンテンツに関連する WEB サイトへの接続を行った際にとられる配信履歴及び少なくとも 1 回以上上記広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行い、さらにこの広告コンテンツが上記広告配信装置経由で上記 WEB サイトへの接続を行った受信者が上記 WEB サイトへ接続し、この接続された WEB サイトが売買サイトである場合であって上記受信者が当該売買サイト

を利用した際に利用情報としてとられる売買履歴の上記 4 つの各履歴からなる収集情報の少なくとも 1 つ以上の履歴情報を管理する収集情報管理部と、上記広告作成要素管理部で管理されている各種要素および上記収集情報管理部で管理されている履歴情報を考慮し上記広告データ管理部から広告データを選択して所定のターゲットに絞り込みを行った広告を 1 つ以上有する広告コンテンツを作成する広告コンテンツ作成部と、この広告コンテンツ作成部で作成された広告コンテンツを上記高速通信網を介して受信者に配信することが可能な広告コンテンツ配信部と、上記広告データ管理部内及び上記高速通信網を介してあるいは介さず当該広告配信装置に接続されている他の広告配信装置内の少なくともいずれか一方から広告データを検索して抽出する検索部とを備えたことを特徴とする広告配信装置。

【請求項 3 9】 受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信方法において、予め所定のターゲットに絞り込みを行った広告を 1 つ以上有し、かつその広告と関連する WEB サイトとリンク関係を有するアドレス部を有する広告コンテンツを上記高速通信網上に配置しておき、上記受信者の要求に基づいて、上記受信者に配信することを特徴とする広告配信方法。

【請求項 4 0】 受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信方法において、予め所定のターゲットに絞り込みを行った広告を 1 つ以上有し、かつその広告と関連する他の広告コンテンツとリンク関係を有するアドレス部を有する広告コンテンツを上記高速通信網上に配置しておき、上記受信者の要求に基づいて上記広告コンテンツを上記受信者に配信することを特徴とする広告配信方法。

【請求項 4 1】 受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信方法において、広告データに管理情報を付加した広告コンポーネントを 1 つ以上有し、広告を所定のジャンル、所定の 카테고리、所定のコンセプトの少なくともいずれか 1 つで所定のターゲットに絞り込み、かつ任意の時間で構成される広告コンテンツを上記受信者に対し配信するようにしたことを特徴とする広告配信方法。

【請求項 4 2】 受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信方法において、複数の受信者の視聴履歴、配信履歴及び売買履歴の少なくとも一つに基づいた新たな広告コンテンツを自動的に作成し、これを上記高速通信網上に配置して上記受信者の配信要求に基づいて配信することを特徴とする広告配信方法。

【請求項 4 3】 受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信方法において、予め所定のターゲットに絞り込みを行った広告を 1 つ以上有し、かつその広告と関連する WEB サイトとリンク関係を有するアドレス部を有する広告コンテンツを上記受信者の配信要求に基づいて配信した際にその配信履歴をとり、さらに上記

受信者が上記広告コンテンツを閲覧した際にはその視聴履歴をとり、さらに上記受信者が上記広告コンテンツを閲覧し加えてこの広告コンテンツが当該広告コンテンツを配信する広告配信装置経由で上記WEBサイトへ接続した際には配信履歴をとり、さらに少なくとも1回以上上記広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行い、さらにこの広告コンテンツが上記広告配信装置経由で上記WEBサイトへの接続を行った受信者が上記WEBサイトへ接続し、この接続したWEBサイトが売買サイトであつ上記受信者がその売買サイトを利用した際には売買履歴をとると共に、上記各履歴の少なくとも1つ以上を上記広告コンテンツを作成する際に利用することを特徴とする広告配信方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、受信者に対し高速通信網等の通信網を介して広告を配信する広告配信システム、広告コンテンツおよび広告配信装置ならびに広告配信方法に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、テレビ放送の一般的な広告配信方法としては、テレビ局が一方向的に送信する広告画像をテレビ用受信装置が受信し、これを受信者が閲覧する方法が採用されている。なお、良く知られているように、広告画像は正規の番組の合間に流される。したがって、受信者に自社広告を効率よく見せるためには、広告主が自社製品の購買層が視聴する可能性の高い番組のスポンサーとなって広告画像をその番組の合間に配信することが重要となっている。

【0003】また、インターネットの場合、ホームページを利用して広告を配信する方法もある。例えば、ホームページ上にバナー広告を設け、そのバナー広告を見た受信者がそのホームページ上の広告ページへのリンク部分をクリック動作することによりバナー広告元のサイトへ接続可能となっている。なお、このバナー広告方式による広告配信方法においても、テレビ放送を利用した広告配信方法と同様、自社製品の購買層となる受信者に自社サイトへのアクセスをより多くさせるためには、広告主は、自社製品の購買層がアクセスする可能性の高いホームページにバナー広告を掲載することが重要である。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】上述のテレビ放送を介して配信される広告は、テレビ局から広告画像及び音声が一方向に配信されるだけであるため、受信者（ユーザー）が複数の広告の中から所望のものを選択したり、あるいは閲覧した広告のさらに詳細な情報を取得することは不可能である。また、受信者が番組の合間に流される広告画像等を本当に視聴しているか否かは、送信者側には不明である。すなわち、その番組の視聴率を調べることはできるが、番組の合間等に流される広告画像等を受

信者が視聴しているか否かは不明であり、視聴していない可能性も高い。

【0005】一方、インターネット上のバナー広告は、受信者がホームページ上の複数のバナー広告の中から所望のものを選択したり、選択した広告ページに接続した後にさらに詳細な情報を取得したりすることが可能である。しかも、受信者が主体的にクリック動作をすることにより、その広告ページを閲覧する訳であるから、バナー広告をクリックした受信者は自社の広告ページを確実に閲覧したと考えて良い。

【0006】加えて、受信者がどのホームページを経由して自社の広告ページを閲覧したかが、履歴に記録されるため、そのホームページへバナー広告を掲載する効果を把握し易い。さらに、インターネット上には、各種の売買サイトも存在しており、バナー広告経由で売買サイトを訪れて、自社製品を購入する場合もある。このような受信者のネット上での動作の流れをつかむことにより、広告主はバナー広告の掲載と自社製品の購入とを関連づけることができる。したがって、バナー広告等、インターネットを介する広告配信に関しては、その掲載の効果を把握し易い。

【0007】しかしながら、バナー広告の場合、テレビ放送を利用する広告画像等の配信に比べると受信者の数が圧倒的に少ない。しかも、自社製品の購買層となる受信者が、ネット上に存在する膨大な数のホームページの中からどのホームページを選択して閲覧しているのか、言い換えるとどのホームページに自社のバナー広告を掲載すればよいのかを広告主が推理決定するのは困難である。

【0008】加えて、受信者側も数あるホームページの中から自分の所望する広告サイトにリンクされたバナー広告を有するホームページにたどり着いたり、あるいは所望の広告サイト自体を検索し閲覧することは大変困難である。さらにバナー広告の場合、テレビ放送を媒体とする広告配信とは異なり、動画や音声などの情報が不十分で、広告媒体としてそれほど魅力的であるとはいえない。そのため、このような広告配信方法は、今現在、ビジネスとして確立しているとはいえない状況にある。

【0009】また、電子メールを利用して強制的に広告情報を送信したり、また、電子メールの一部に広告情報を付加することも行われているが、これらは単に送信するのみであるため、受信者がその広告情報を見たか否かの把握が困難である。さらに、このような電子メール形式の場合、容量の大きいデータを添付することはできず、単純な文字データの広告のみとなり面白味に欠けるものとなっている。

【0010】さらに、従来の広告は、テレビ放送であってもインターネット利用であっても、いずれにしても、広告主のものはそれぞれ独立しており、有機的な結合やリンクはされていない。このため、広告情報は、商品や

サービスを選択する上で極めて重要でありながら、受信者（ユーザー）にとっては、その情報の収集が困難であり利用しにくいものとなっている。

【0011】本発明の目的は、上述の問題点を解決するためになされたものであり、受信者にとって広告情報を有効利用しやすくすると共に、所望の広告に容易に辿りつけるようにし、広告主にとっては自社製品の購買層となる受信者に対してより効率よく自社広告を配信することが可能な広告配信システム、広告コンテンツおよび広告配信装置ならびに広告配信方法を提供することにある。

【0012】

【課題を解決するための手段】かかる目的を達成するために、本発明の広告配信システムは、受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信システムにおいて、予め所定のターゲットに絞り込みを行った広告を1つ以上有し、かつその広告と関連するWEBサイトとのリンク関係を示すアドレス部を有する広告コンテンツと、この広告コンテンツを配信する広告配信装置とを高速通信網上に配置し、受信者の要求に基づいて広告コンテンツを受信者に配信することを特徴としている。

【0013】上述の発明によれば、予め所定のターゲットに絞り込みを行った広告を1つ以上有する広告コンテンツと、この広告コンテンツを配信する広告配信装置と、を高速通信網上に配置させているため、受信者はこの広告コンテンツにリンク関係を有するWEBサイトに容易にたどり着くことができる。広告主側から見ると、自社広告用のWEBサイトを上述の広告コンテンツにリンクさせることにより、自社製品の購買層に属する受信者を効率よく自社広告用のWEBサイトへ導くことができる。

【0014】また、他の発明の広告配信システムは、受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信システムにおいて、予め所定のターゲットに絞り込みを行った広告を1つ以上有し、かつその広告と関連する他の広告コンテンツとのリンク関係を示すアドレス部を有する広告コンテンツと、この広告コンテンツを配信する広告配信装置と、を高速通信網上に配置し、受信者の要求に基づいて広告コンテンツを受信者に配信することを特徴としている。

【0015】上述の発明によれば、予め所定のターゲットに絞り込みを行った広告を1つ以上有する広告コンテンツと、この広告コンテンツを配信する広告配信装置と、を高速通信網上に配置させているため、受信者はこの広告コンテンツとリンク関係を有するアドレス部を利用して自分の所望する他の広告コンテンツに容易にたどり着くことができる。広告主側から見ると、所定のターゲットに絞り込んだ広告コンテンツに自社広告用の広告コンテンツやWEBサイトをリンクさせておくだけで、自社製品の購買層に属する受信者を効率よく自社広告用

のWEBサイト等へ導くことができる。

【0016】また、他の発明の広告配信システムは、受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信システムにおいて、広告データに管理情報を付加した広告コンポーネントを1つ以上有し、広告を所定のジャンル、所定の 카테고리、所定のコンセプトの少なくともいずれか1つで所定のターゲットに絞り込み、かつ任意の時間で構成される広告コンテンツを受信者に対し配信することを特徴としている。そのため、受信者は、自分の所望するジャンルやカテゴリやコンセプトに応じて絞り込まれた広告を有する広告コンテンツの配信を受けることができる。

【0017】また、他の発明の広告配信システムは、受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信システムにおいて、広告データに管理情報を付加した広告コンポーネントを1つ以上有する広告コンテンツを受信者に配信することを特徴としている。

【0018】また、他の発明は、上述の各広告配信システムにおいて、広告コンポーネントが、関連するWEBサイトもしくは他の広告コンテンツとのリンク関係を示すアドレス部を少なくとも1つ以上有していることを特徴としている。

【0019】また、他の発明は、上述の各広告配信システムにおいて、広告コンテンツ内に、複数の広告コンポーネントにより構成される1つの広告を備えたことを特徴としている。

【0020】また、他の発明の広告配信システムは、受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信システムにおいて、複数の受信者の視聴履歴、配信履歴及び売買履歴の少なくとも1つに基づいた新たな広告コンテンツを自動的に作成する広告コンテンツ自動作成機能を備えてなることを特徴としている。このように、複数の受信者の視聴履歴や配信履歴や売買履歴等に基づいて新たな広告コンテンツが作成されていくため、受信者の視聴履歴等が反映された広告コンテンツを次々に受信者に対して供給することが可能となり、受信者から飽きられることのない広告コンテンツの配信を行える。

【0021】また、他の発明の広告配信システムは、受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信システムにおいて、予め所定のターゲットに絞り込みを行った広告を1つ以上有する広告コンテンツと、この広告コンテンツを配信する広告配信装置と、広告コンテンツを閲覧できる受信装置と、絞り込みを行った広告とリンク関係を有するWEBサイトとを備えることを特徴としている。

【0022】そのため、受信者は、予め所定のターゲットに絞り込みを行った広告を1つ以上有する広告コンテンツを受信装置を用いて閲覧でき、かつその広告コンテンツとリンク関係を有するWEBサイトの中から自分の所望するサイトに容易にたどり着くことができる。広告

主側から見ると、自社広告用のWEBサイトを上述の広告コンテンツにリンクさせることにより、自社製品の購買層に属する受信者を効率よく自社広告用のWEBサイトへ導くことができる。

【0023】また、他の発明の広告配信システムは、受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信システムにおいて、予め所定のターゲットに絞り込みを行った広告を1つ以上有する広告コンテンツと、この広告コンテンツを閲覧できる受信装置とを有し、受信者が受信装置で上記広告コンテンツの配信を受け、この広告コンテンツの閲覧動作を行うと、その閲覧動作を視聴履歴としてとることを特徴としている。そのため、このようにしてとられた受信者の視聴履歴を、その後、種々の形で利用することが可能となる。

【0024】また、他の発明の広告配信システムは、受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信システムにおいて、予め所定のターゲットに絞り込みを行った広告を1つ以上有する広告コンテンツと、この広告コンテンツを閲覧できる受信装置とを有し、受信者が受信装置で広告コンテンツの配信を受け、その広告コンテンツの閲覧動作を所定時間以上継続した場合に、視聴履歴をとることを特徴としている。そのため、このようにしてとられる受信者の視聴履歴を、その後種々の形で利用することが可能となる。しかも、ある程度興味を持って、所定時間以上その広告コンテンツを閲覧したかどうかを、視聴履歴に反映させることが可能となる。その結果、収集された視聴履歴が受信者の趣向をより反映させたものとなる。

【0025】また、他の発明は、上述の各広告配信システムにおいて、視聴履歴は、受信装置から広告コンテンツを配信する広告配信装置へ送信されることを特徴としている。そのため、例えば、広告配信装置で広告コンテンツの作成を行う時等において、上述の視聴履歴を利用することが可能となる。

【0026】また、他の発明は、上述の各広告配信システムにおいて、視聴履歴をとると共に、その視聴履歴を広告配信装置へ送信するための視聴履歴管理プログラムが、広告コンテンツの配信時に受信者の受信装置に組み込まれることを特徴としている。そのため、広告配信装置側から見ると、広告コンテンツを受信者に配信するだけで、受信者の視聴履歴を容易に得ることが可能となる。

【0027】また、他の発明の広告配信システムは、受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信システムにおいて、予め所定のターゲットに絞り込みを行った広告を1つ以上有し、かつその広告と関連するWEBサイトとリンク関係を有するアドレス部を有する広告コンテンツと、この広告コンテンツを配信する広告配信装置と、広告コンテンツを閲覧できる受信装置とを有し、広告配信装置は、受信装置へ広告コンテンツを配信

した際の配信履歴、及び受信装置が広告コンテンツの配信を受けて受信者がこの広告コンテンツの閲覧動作を行い、さらにこの広告コンテンツが当該広告配信装置経由でWEBサイトへの接続を行った場合のWEBサイトへの接続を含む情報となる配信履歴の少なくともいずれか一方を配信履歴としてとることを特徴としている。そのため、このようにしてとられた配信履歴を、その後種々の形で利用することが可能となる。

【0028】また、他の発明の広告配信システムは、受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信システムにおいて、予め所定のターゲットに絞り込みを行った広告を1つ以上有し、かつその広告と関連するWEBサイトとのリンク関係を有するアドレス部を有する広告コンテンツと、この広告コンテンツを配信する広告配信装置と、広告コンテンツを閲覧できる受信装置とを有し、少なくとも1回以上上記広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行い、さらにこの広告コンテンツが上記広告配信装置経由で上記WEBサイトへの接続を行った受信者の上記WEBサイトへの接続であって、かつその接続されたWEBサイトが売買サイトであった場合、受信者の売買サイトの利用情報を売買履歴としてとることを特徴としている。そのため、このようにしてとられた売買履歴を、その後種々の形で利用することが可能となる。

【0029】また、他の発明の広告配信システムは、受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信システムにおいて、予め所定のターゲットに絞り込みを行った広告を1つ以上有する広告コンテンツと、この広告コンテンツを配信する広告配信装置とが高速通信網上に配置されていると共に、受信者が広告コンテンツを閲覧した際にとられる視聴履歴、受信者が広告コンテンツの配信を受けた際にとられる配信履歴、受信者が広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行い、さらにこの広告コンテンツが広告配信装置経由で絞り込みを行った広告とリンク関係を有するWEBサイトへの接続を行った際にとられる配信履歴及び少なくとも1回以上上記広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行い、さらにこの広告コンテンツが上記広告配信装置経由で上記WEBサイトへの接続を行った受信者の上記WEBサイトへの接続であって、かつその接続されたWEBサイトが売買サイトであった場合に当該売買サイトの利用情報としてとられる売買履歴の4つの各履歴からなる収集情報と、広告コンテンツのターゲットとなるユーザーグループ毎に設定された特定市場の市場動向情報と、ユーザーグループの属するさらに大枠の市場の方向性情報からなる3つの情報を基に、新規の広告コンテンツを作成してこれを広告配信装置に保存しておくと共に、当該新規の広告コンテンツが広告配信装置に保存されていることを受信者に所定の手段によって開示可能とすることを特徴としている。

【0030】上述の発明によれば、受信者の視聴履歴等の4つの履歴からなる収集情報と、特定市場の動向情報と、さらに大きな枠でくられる全体的な市場の方向性情報の3つの情報を基に、特定のユーザーグループ向けの新しい広告コンテンツを作成し、受信者に対して開示可能な状態とする。このため、当該広告配信システムでは、特に、各広告主のターゲットユーザーに属する受信者に、各広告主の自社広告を含む広告コンテンツを効率よく配信できる。しかも、収集情報や現在の市場の流れ等を考慮することにより、さらに将来有望な新しい特定市場を次々に生み出し、その特定市場に属する新しいユーザーへの遅滞ない広告配信が可能となる。一方、受信者側は、広告配信システム側で効率よく関連付けされた広告コンテンツの配信を受けられる。このため、この広告コンテンツからさらに自分が知りたい広告情報を容易に引き出せる。

【0031】また、他の発明の広告配信システムは、受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信システムにおいて、予め所定のターゲットに絞り込みを行った広告を1つ以上有する広告コンテンツと、この広告コンテンツを配信する広告配信装置とが高速通信網上に配置されていると共に、受信者が広告コンテンツを閲覧した際にとられる視聴履歴、受信者が広告コンテンツの配信を受けた際にとられる配信履歴、受信者が広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行い、さらにこの広告コンテンツが広告配信装置経由で絞り込みを行った広告とリンク関係を有するWEBサイトへの接続を行った際にとられる配信履歴及び少なくとも1回以上上記広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行い、さらにこの広告コンテンツが上記広告配信装置経由で上記WEBサイトへの接続を行った受信者の上記WEBサイトへの接続であって、かつその接続されたWEBサイトが売買サイトであった場合に当該売買サイトの利用情報としてとられる売買履歴の4つの各履歴の少なくとも1つからなる収集情報と、広告コンテンツのターゲットとなるユーザーグループ毎に設定された特定市場の市場動向情報と、ユーザーグループの属するさらに大枠の市場の方向性情報からなる3つの情報を基に、新規の広告コンテンツを作成してこれを広告配信装置に保存しておくと共に、当該新規の広告コンテンツが広告配信装置に保存されていることを受信者に所定の手段によって開示可能とすることを特徴としている。

【0032】上述の発明によれば、受信者の視聴履歴等の4つの履歴の少なくとも1つからなる収集情報と、特定市場の動向情報と、さらに大きな枠でくられる全体的な市場の方向性情報の3つの情報を基に、特定のユーザーグループ向けの新しい広告コンテンツを作成し、受信者に対して開示可能な状態とする。このため、当該広告配信システムでは、特に、各広告主のターゲットユー

ザーに属する受信者に、各広告主の自社広告を含む広告コンテンツを効率よく配信できる。しかも、収集情報及び現在の市場の流れ等を考慮することにより、さらに将来有望な新しい特定市場を次々に生み出し、その特定市場に属する新しいユーザーへの遅滞ない広告配信が可能となる。一方、受信者側は、広告配信システム側で効率よく関連付けされた広告コンテンツの配信を受けられる。このため、この広告コンテンツからさらに自分が知りたい広告情報を容易に引き出せる。

【0033】また、他の発明の広告配信システムは、受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信システムにおいて、予め所定のターゲットに絞り込みを行った広告を1つ以上有する広告コンテンツと、この広告コンテンツを配信する広告配信装置とが高速通信網上に配置されていると共に、受信者が広告コンテンツを閲覧した際にとられる視聴履歴、受信者が広告コンテンツの配信を受けた際にとられる配信履歴、受信者が広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行い、さらにこの広告コンテンツが広告配信装置経由で絞り込みを行った広告とリンク関係を有するWEBサイトへの接続を行った際にとられる配信履歴及び少なくとも1回以上上記広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行い、さらにこの広告コンテンツが上記広告配信装置経由で上記WEBサイトへの接続を行った受信者の上記WEBサイトへの接続であって、かつその接続されたWEBサイトが売買サイトであった場合に当該売買サイトの利用情報としてとられる売買履歴の4つの各履歴からなる収集情報と、広告コンテンツのターゲットとなるユーザーグループ毎に設定された特定市場の市場動向情報と、ユーザーグループの属するさらに大枠の市場の方向性情報からなる3つの情報を基に、既存の広告コンテンツを更新してこれを広告配信装置に保存しておくと共に、更新された広告コンテンツが広告配信装置に保存されたことを受信者に所定の手段によって開示可能とすることを特徴としている。

【0034】上述の発明によれば、受信者の視聴履歴等の4つの履歴からなる収集情報と、特定市場の動向情報と、さらに大きな枠でくられる全体的な市場の方向性情報の3つの情報を基に、既に配信可能な状態となっている広告コンテンツの更新を行って、再度広告配信装置に保存し直し、これを受信者に対して開示可能な状態とする。このため、当該広告配信システムでは、特に、各広告主のターゲットユーザーに属する受信者に、各広告主の自社広告を含む広告コンテンツを効率よく配信できる。しかも、収集情報及び現在の市場の流れ等を考慮することにより、さらに将来有望な新しい特定市場を次々に生み出し、その特定市場に属する新しいユーザーへの遅滞ない広告配信が可能となる。一方、受信者側は、広告配信システム側で効率よく関連付けられた広告コンテンツの配信を受けられる。このため、この広告コンテ

ツからさらに自分が知りたい広告情報を容易に引き出せる。

【0035】また、他の発明の広告配信システムは、受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信システムにおいて、予め所定のターゲットに絞り込みを行った広告を1つ以上有する広告コンテンツと、この広告コンテンツを配信する広告配信装置とが高速通信網上に配置されていると共に、受信者が広告コンテンツを閲覧した際にとられる視聴履歴、受信者が広告コンテンツの配信を受けた際にとられる配信履歴、受信者が広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行い、さらにこの広告コンテンツが広告配信装置経由で絞り込みを行った広告とリンク関係を有するWEBサイトへの接続を行った際にとられる配信履歴及び少なくとも1回以上上記広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行い、さらにこの広告コンテンツが上記広告配信装置経由で上記WEBサイトへの接続を行った受信者の上記WEBサイトへの接続であつて、かつその接続されたWEBサイトが売買サイトであった場合に当該売買サイトの利用情報としてとられる売買履歴の4つの各履歴の少なくとも1つからなる収集情報と、広告コンテンツのターゲットとなるユーザーグループ毎に設定された特定市場の市場動向情報と、ユーザーグループの属するさらに大枠の市場の方向性情報からなる3つの情報を基に、既存の広告コンテンツを更新してこれを広告配信装置に保存しておくと共に、更新された広告コンテンツが広告配信装置に保存されたことを受信者に所定の手段によって開示可能とすることを特徴としている。

【0036】上述の発明によれば、受信者の視聴履歴等の4つの履歴の少なくとも1つからなる収集情報と、特定市場の動向情報と、さらに大きな枠でくくられる全体的な市場の方向性情報の3つの情報を基に、既に配信可能な状態となっている広告コンテンツの更新を行って、再度広告配信装置に保存し直し、これを受信者に対して開示可能な状態とする。このため、当該広告配信システムでは、特に、各広告主のターゲットユーザーに属する受信者に、各広告主の自社広告を含む広告コンテンツを効率よく配信できる。しかも、収集情報及び現在の市場の流れ等を考慮することにより、さらに将来有望な新しい特定市場を次々に生み出し、その特定市場に属する新しいユーザーへの遅滞ない広告配信が可能となる。一方、受信者側は、広告配信システム側で効率よく関連付けられた広告コンテンツの配信を受けられる。このため、この広告コンテンツからさらに自分が知りたい広告情報を容易に引き出せる。

【0037】また、他の発明は、上述の各広告配信システムにおいて、広告コンテンツは、さらに1つ以上の他の広告コンテンツとのリンク関係を有し、各広告コンテンツ間には多階層構造をとり、少なくとも最下層の広告コ

ンテンツにWEBサイトへのリンク関係を有するアドレス部を備えていることを特徴としている。そのため、多階層構造となっている各広告コンテンツ間の移動が容易である。例えば、上層に位置する広告コンテンツの絞り込みが大きくなりとなっており、この広告コンテンツを基準として下層に配置された広告コンテンツに移動して行くにしたがい徐々に絞り込みが小さくなりで構成されているとすると、受信者は広い概念から狭い概念への絞り込みが容易となる。一方、広告主側から見ると、受信者を自社広告用のWEBサイトへ導きやすく、受信者及び広告主の両者にとって利便性がさらに向上する。

【0038】また、本発明の広告コンテンツは、受信者に対し高速通信網を介して配信される広告コンテンツにおいて、受信者が自己の使用する受信装置で当該広告コンテンツの配信を受け、この広告コンテンツの閲覧動作を行うと、その閲覧動作を視聴履歴としてとるようにプログラムされたことを特徴としている。そのため、受信者が当該広告コンテンツの配信を受けこれを閲覧すると、この動作が視聴履歴としてとられ、これにより受信者の視聴履歴を、その後種々の形で利用することが可能となる。

【0039】また、他の発明の広告コンテンツは、受信者に対し高速通信網を介して配信される広告コンテンツにおいて、受信者が自己の使用する受信装置で当該広告コンテンツの配信を受け、この広告コンテンツの閲覧動作を所定時間以上継続した場合に、視聴履歴としてとるようにプログラムされたことを特徴としている。そのため、このようにしてとられた受信者の視聴履歴を、その後種々の形で利用することが可能となる。しかも、ある程度興味を持って、所定時間以上その広告コンテンツを閲覧したかどうかを、視聴履歴に反映させることが可能となる。その結果、収集されたデータが受信者の趣向をより反映させたものとなる。

【0040】また、他の発明は、上述の各広告コンテンツにおいて、視聴履歴が、受信装置から当該広告コンテンツを配信する広告配信装置へ送信されるようにプログラムされたことを特徴としている。そのため、当該広告配信装置が広告コンテンツを配信するシステムを運用する際、上述の視聴履歴を利用することが可能となる。

【0041】また、他の発明は、上述の各広告コンテンツにおいて、視聴履歴をとると共に、その視聴履歴を前記当該広告コンテンツを配信する広告配信装置へ送信するための視聴履歴管理プログラムが、当該広告コンテンツの配信時に受信者の受信装置に組み込まれるようにプログラムされたことを特徴としている。そのため、この広告コンテンツを配信する広告配信装置側から見ると、当該広告コンテンツを受信者に配信すると受信者の受信装置に上述の視聴履歴管理プログラムが組み込まれるため、それだけで受信者の視聴履歴を容易に得ることが可

能となる。

【0042】また、他の発明の広告コンテンツは、受信者に対し高速通信網を介して配信される広告コンテンツにおいて、少なくとも1つ以上のWEBサイトとのリンク関係を有するアドレス部を有し、受信者が当該広告コンテンツの配信を受け、この広告コンテンツの閲覧動作を行い、さらに当該広告コンテンツがこの広告コンテンツの配信を行うための広告配信装置経由でWEBサイトへの接続を行った場合に、当該広告コンテンツを配信した履歴及びその後のWEBサイトへの接続情報を共に配信履歴としてとるようにプログラムされたことを特徴としている。そのため、このようにしてとられた各配信履歴を、その後種々の形で利用することが可能となる。

【0043】また、他の発明の広告コンテンツは、受信者に対し高速通信網を介して配信される広告コンテンツにおいて、少なくとも1つ以上のWEBサイトとのリンク関係を有するアドレス部を有し、少なくとも1回以上当該広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行い、さらにこの広告コンテンツが当該広告コンテンツを上記受信者へ配信するための上記広告配信装置経由で上記WEBサイトへの接続を行った受信者のWEBサイトへの接続であって、WEBサイトが売買サイトでしかも受信者がこの売買サイトを利用した場合における利用情報を売買履歴としてとるようにプログラムされたことを特徴としている。このように1度以上当該広告コンテンツを配信する広告配信装置経由での売買サイトへの接続を行った受信者の当該売買サイトの利用情報を売買履歴としてとると、広告コンテンツの配信と売買サイトの利用の相関関係をデータ化できる等、履歴をとった後に種々の形で利用することが可能となる。

【0044】また、他の発明の広告コンテンツは、受信者に対し高速通信網を介して配信される広告コンテンツにおいて、所定の広告コンテンツ間においてリンク関係を有する多階層構造の所定の階層に配置されたものであることを特徴としている。そのため、多階層構造となっている各広告コンテンツ間の移動が容易である。例えば、上層に位置する広告コンテンツの絞り込みが大きくなりとなっており、この広告コンテンツを基準として下層に配置された広告コンテンツに移動して行くにしたがい徐々に絞り込みが小さくなりで構成されているとすると、受信者は広い概念から狭い概念への絞り込みが容易となる。一方、広告主側から見ると、受信者を自社広告用のWEBサイトへ導きやすく、受信者及び広告主の両者にとって利便性がさらに向上する。

【0045】また、他の発明は、上述の広告コンテンツにおいて、当該広告コンテンツと関連するWEBサイトとリンク関係を有するアドレス部が備えられたことを特徴としている。また、他の発明は、上述のリンク関係を有するアドレス部が備えられた広告コンテンツにおいて、多階層構造の最下層に配置されたことを特徴として

いる。

【0046】また、本発明の広告配信装置は、受信者に対し高速通信網を介して広告コンテンツを配信する広告配信装置において、所定のターゲットに絞り込みを行うための各種要素を管理する広告作成要素管理部と、広告コンテンツを構成する広告データを管理する広告データ管理部と、受信者が広告コンテンツを閲覧した際にとられる視聴履歴、受信者が広告コンテンツの配信を受けた際にとられる配信履歴、受信者が広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行いさらに広告コンテンツが当該広告配信装置経由で広告コンテンツに関連するWEBサイトへの接続を行った際にとられる配信履歴及び少なくとも1回以上上記広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行い、さらにこの広告コンテンツが上記広告配信装置経由で上記WEBサイトへの接続を行った受信者が上記WEBサイトへ接続し、この接続されたWEBサイトが売買サイトである場合であって受信者が当該売買サイトを利用した際に利用情報としてとられる売買履歴の4つの各履歴からなる収集情報の少なくとも1つ以上の履歴情報を管理する収集情報管理部と、広告作成要素管理部で管理されている各種要素および収集情報管理部で管理されている履歴情報を考慮し広告データ管理部から広告データを選択して所定のターゲットに絞り込みを行った広告を1つ以上有する広告コンテンツを作成する広告コンテンツ作成部と、この広告コンテンツ作成部で作成された広告コンテンツを高速通信網を介して受信者に配信することが可能な広告コンテンツ配信部とを備えたことを特徴としている。このため、所定のターゲットに対して最適な広告コンテンツを作成できると共に、それを受信者に配信することができる。

【0047】また、他の発明は、上述の広告配信装置において、所定のターゲットに絞り込みを行うための各種要素には、所定のターゲットとなるユーザーグループ毎に設定された特定市場の市場動向情報と、ユーザーグループの属するさらに大枠の市場の方向性情報と、広告コンテンツに含まれる広告の広告主の意向とが含まれると共に、市場動向情報を分析する第1の分析手段と、方向性情報を分析する第2の分析手段とを備えたことを特徴としている。そのため、特定市場の動向及びさらに大枠の市場の方向性の分析がなされた上で作成された、さらに最適な広告コンテンツを受信者に配信することができる。

【0048】また、他の発明の広告配信装置は、所定のターゲットに絞り込みを行うための各種要素を管理する広告作成要素管理部と、広告コンテンツを構成する広告データを管理する広告データ管理部と、受信者が広告コンテンツを閲覧した際にとられる視聴履歴、受信者が広告コンテンツの配信を受けた際にとられる配信履歴、受信者が広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテン

ツの閲覧動作を行いさらに広告コンテンツが当該広告配信装置もしくは他の広告配信装置経由で広告コンテンツに関連するWEBサイトへの接続を行った際にとられる配信履歴及び少なくとも1回以上上記広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行い、さらにこの広告コンテンツが上記広告配信装置経由で上記WEBサイトへの接続を行った受信者が上記WEBサイトへ接続し、この接続されたWEBサイトが売買サイトである場合であって受信者が当該売買サイトを利用した際に利用情報としてとられる売買履歴の4つの各履歴からなる収集情報の少なくとも1つ以上の履歴情報を管理する収集情報管理部と、広告作成要素管理部で管理されている各種要素および収集情報管理部で管理されている履歴情報を考慮し広告データ管理部から広告データを選択して所定のターゲットに絞り込みを行った広告を1つ以上有する広告コンテンツを作成する広告コンテンツ作成部を備えたことを特徴としている。このため、所定のターゲットに対して最適な広告コンテンツを作成することができる。なお、これを受信者に対して配信するための装置は、内部に備えず専用線もしくは高速通信網等で接続された別構成の装置であっても良いし、内部に備えるように構成されていても良い。

【0049】また、他の発明の広告配信装置は、所定のターゲットに絞り込みを行った広告を1つ以上有する広告コンテンツを高速通信網を介して受信者に配信することが可能な広告コンテンツ配信部を有することを特徴としている。このため、最適な条件で絞り込みが行った広告を1つ以上有する広告コンテンツを、受信者に対して高速通信網を介して配信することが可能となる。なお、広告コンテンツを作成するための装置は、内部に備えず専用線もしくは高速通信網等で接続された別構成の装置であっても良いし、内部に備えるように構成されていても良い。

【0050】また、他の発明の広告配信装置は、所定のターゲットに絞り込みを行った広告を1つ以上有する広告コンテンツを高速通信網を介して受信者に配信し、受信者が広告コンテンツを閲覧した際にとられる視聴履歴、受信者が広告コンテンツの配信を受けた際にとられる配信履歴、受信者が広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行いさらに広告コンテンツが当該広告配信装置もしくは他の広告配信装置経由で広告コンテンツに関連するWEBサイトへの接続を行った際にとられる配信履歴及び少なくとも1回以上上記広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行い、さらにこの広告コンテンツが上記広告配信装置経由で上記WEBサイトへの接続を行った受信者が上記WEBサイトへ接続し、この接続されたWEBサイトが売買サイトである場合であって受信者が当該売買サイトを利用した際に利用情報としてとられる売買履歴の4つの各履歴からなる収集情報の少なくとも1つ以上の

履歴情報を管理する収集情報管理部を備えたことを特徴としている。

【0051】そのため、広告コンテンツを作成する上で重要となる各履歴情報を一元的に収集しこれらを管理することができるため、その後の情報の整理が容易となる。なお、広告コンテンツを作成するための装置や作成された広告コンテンツを受信者に配信するための装置は、内部に備えず専用線もしくは高速通信網等で接続された別構成の装置であっても良いし、内部に備えるように構成されていても良い。

【0052】また、他の発明の広告配信装置は、受信者に対し高速通信網を介して広告コンテンツを配信する広告配信装置において、所定のターゲットに絞り込みを行うための各種要素を管理する広告作成要素管理部と、広告コンテンツを構成する広告データを管理する広告データ管理部と、受信者が広告コンテンツを閲覧した際にとられる視聴履歴、受信者が広告コンテンツの配信を受けた際にとられる配信履歴、受信者が広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行いさらに広告コンテンツが当該広告配信装置経由で広告コンテンツに関連するWEBサイトへの接続を行った際にとられる配信履歴及び少なくとも1回以上上記広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行い、さらにこの広告コンテンツが上記広告配信装置経由で上記WEBサイトへの接続を行った受信者が上記WEBサイトへ接続し、この接続されたWEBサイトが売買サイトである場合であって受信者が当該売買サイトを利用した際に利用情報としてとられる売買履歴の4つの各履歴からなる収集情報の少なくとも1つ以上の履歴情報を管理する収集情報管理部と、広告作成要素管理部で管理されている各種要素および収集情報管理部で管理されている履歴情報を考慮し広告データ管理部から広告データを選択して所定のターゲットに絞り込みを行った広告を1つ以上有する広告コンテンツを作成する広告コンテンツ作成部と、広告コンテンツを高速通信網を介して受信者に配信することが可能な広告コンテンツ配信部とを備え、広告コンテンツ作成部は、当該広告コンテンツ作成部で作成された広告コンテンツを、広告コンテンツ配信部内に元々備えている既存の広告コンテンツで上記ターゲットが一致するものもしくは一致しないものの中で任意のものを入れ替えることにより、広告コンテンツ配信部内の広告コンテンツの更新を行うことを特徴としている。そのため、当該広告配信装置では、次々に各種履歴を考慮して広告コンテンツの更新を行いこれを受信者に配信することができる。

【0053】また、他の発明の広告配信装置は、受信者に対し高速通信網を介して広告コンテンツを配信する広告配信装置において、所定のターゲットに絞り込みを行った広告を1つ以上有する広告コンテンツを作成する広告コンテンツ作成部と、広告コンテンツを構成する広告

データを管理する広告データ管理部と、広告コンテンツを高速通信網を介して受信者に配信することが可能な広告コンテンツ配信部と、広告データ管理部内及び高速通信網を介してあるいは介さず当該広告配信装置に接続されている他の広告配信装置内の少なくともいずれか一方から広告データを検索して抽出する検索部とを備え、受信者が当該広告配信装置に検索要求を出すと、検索部が検索要求に基づいて検索し抽出した広告データを基に、広告コンテンツ作成部が新たな広告コンテンツを作成し、この作成された広告コンテンツが広告コンテンツ配

信部より受信者に配信されることを特徴としている。
 【0054】そのため、受信者は、自分の所望する分類等をキーボード入力やボタン選択等により選択すれば、この選択されたキーワード等に合致する広告データを有する広告コンテンツが作成され、これを閲覧することができる。従って、受信者が当該広告配信装置に対して、より主体的な動作を起こすことができ、利便性が向上する。

【0055】また、他の発明の広告配信装置は、受信者に対し高速通信網を介して広告コンテンツを配信する広告配信装置において、所定のターゲットに絞り込みを行った広告を1つ以上有する広告コンテンツを作成する広告コンテンツ作成部と、広告コンテンツを構成する広告データを管理する広告データ管理部と、広告コンテンツを高速通信網を介して受信者に配信することが可能な広告コンテンツ配信部と、広告データ管理部内及び高速通信網を介してあるいは介さず当該広告配信装置に接続されている他の広告配信装置内の少なくともいずれか一方から広告データを検索して抽出する検索部とを備え、この検索部が検索開始命令により広告データの検索及び抽出を開始し、さらに広告コンテンツ作成部がその抽出された広告データを基に新たな広告コンテンツを作成することを特徴としている。そのため、検索部が検索開始命令を受けると、検索内容に合致する広告データを有する広告コンテンツが作成される。

【0056】また、他の発明の広告配信装置は、高速通信網を介してあるいは介さず当該広告配信装置に接続されている他の広告配信装置内から広告データを検索して抽出する検索部を備えたことを特徴としている。そのため、接続関係にある他の広告配信装置内にある最適な広告データを利用することができる。

【0057】また、他の発明の広告配信装置は、受信者に対し高速通信網を介して広告コンテンツを配信する広告配信装置において、所定のターゲットに絞り込むための各種要素を管理する広告作成要素管理部と、広告コンテンツを構成する広告データを管理する広告データ管理部と、受信者が広告コンテンツを閲覧した際にとられる視聴履歴、受信者が広告コンテンツの配信を受けた際にとられる配信履歴、受信者が広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行いさらに広告コ

ンテンツが当該広告配信装置経由で広告コンテンツに関連するWEBサイトへの接続を行った際にとられる配信履歴及び少なくとも1回以上上記広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行い、さらにこの広告コンテンツが上記広告配信装置経由で上記WEBサイトへの接続を行った受信者が上記WEBサイトへ接続し、この接続されたWEBサイトが売買サイトである場合であって受信者が当該売買サイトを利用した際に利用情報としてとられる売買履歴の4つの各履歴からなる収集情報の少なくとも1つ以上の履歴情報を管理する収集情報管理部と、広告作成要素管理部で管理されている各種要素および収集情報管理部で管理されている履歴情報を考慮し広告データ管理部から広告データを選択して所定のターゲットに絞り込みを行った広告を1つ以上有する広告コンテンツを作成する広告コンテンツ作成部と、この広告コンテンツ作成部で作成された広告コンテンツを高速通信網を介して受信者に配信することが可能な広告コンテンツ配信部と、広告データ管理部内及び高速通信網を介してあるいは介さず当該広告配信装置に接続されている他の広告配信装置内の少なくともいずれか一方から広告データを検索して抽出する検索部とを備えたことを特徴としている。

【0058】そのため、所定のターゲットに対して最適な広告コンテンツを作成できると共に、それを受信者に配信することができる。加えて、受信者は、自分の所望する分類等をキーボード入力やボタン選択等により選択すれば、この選択されたキーワード等に合致する広告データを有する広告コンテンツが作成され、これを閲覧することができる。従って、受信者が当該広告配信装置に対してより主体的な動作を起こすことができ、利便性が向上する。

【0059】また、本発明の広告配信方法は、受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信方法において、予め所定のターゲットに絞り込みを行った広告を1つ以上有し、かつその広告と関連するWEBサイトとリンク関係を有するアドレス部を有する広告コンテンツを高速通信網上に配置しておき、受信者の要求に基づいて、受信者に配信することを特徴としている。

【0060】また、他の発明の広告配信方法は、受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信方法において、予め所定のターゲットに絞り込みを行った広告を1つ以上有し、かつその広告と関連する他の広告コンテンツとリンク関係を有するアドレス部を有する広告コンテンツを高速通信網上に配置しておき、受信者の要求に基づいて広告コンテンツを受信者に配信することを特徴としている。

【0061】また、他の発明の広告配信方法は、受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信方法において、広告データに管理情報を付加した広告コンポーネントを1つ以上有し、広告を所定のジャンル、所定

の категория、所定のコンセプトの少なくともいずれか 1 つで所定のターゲットに絞り込み、かつ任意の時間で構成される広告コンテンツを受信者に対し配信するようにしたことを特徴としている。

【0062】また、他の発明の広告配信方法は、受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信方法において、複数の受信者の視聴履歴、配信履歴及び売買履歴の少なくとも一つに基づいた新たな広告コンテンツを自動的に作成し、これを高速通信網上に配置して受信者の配信要求に基づいて配信することを特徴としている。

【0063】また、他の発明の広告配信方法は、受信者に対し高速通信網を介して広告を配信する広告配信方法において、予め所定のターゲットに絞り込みを行った広告を 1 つ以上有し、かつその広告と関連する WEB サイトとリンク関係を有するアドレス部を有する広告コンテンツを受信者の配信要求に基づいて配信した際にその配信履歴をとり、さらに受信者が広告コンテンツを閲覧した際にはその視聴履歴をとり、さらに受信者が広告コンテンツを閲覧し加えてこの広告コンテンツが当該広告コンテンツを配信する広告配信装置経由で WEB サイトへ接続した際には配信履歴をとり、さらに少なくとも 1 回以上上記広告コンテンツの配信を受けて当該広告コンテンツの閲覧動作を行い、さらにこの広告コンテンツが上記広告配信装置経由で上記 WEB サイトへの接続を行った受信者が上記 WEB サイトへ接続し、この接続した WEB サイトが売買サイトでかつ受信者がその売買サイトを利用した際には売買履歴をとると共に、各履歴の少なくとも 1 つ以上を広告コンテンツを作成する際に利用することを特徴としている。

【0064】

【発明の実施の形態】以下、本発明の広告配信システム、広告コンテンツ及び広告配信装置ならびに広告配信方法の第 1 の実施の形態を、図 1 から図 11 に基づいて説明する。

【0065】なお、本発明の実施の形態の説明に先立ち、本発明の主な特徴点についてその概要を説明する。

【0066】本発明の第 1 の特徴点は、受信者が自発的に広告コンテンツ（この内容の詳細は後述）の配信を受けることにある。従来の広告は、配信者が一方的に広告を配信するか、バナー広告のようにユーザー（受信者）がリンクを辿って所定のサイトや広告にたどり着くものであり、広告そのものの配信を受ける形式とはなっていない。

【0067】本発明の第 2 の特徴点は、広告コンテンツの中味が従来とは全く異なるものとなっている点である。本発明における広告コンテンツは、その内部に他の広告コンテンツにリンクしたり、所定のホームページにリンクしたりするアドレス部を有している。このため、この広告コンテンツの配信を受けると、受信者は、配信

を受けた広告コンテンツからネット上に配置される他の広告コンテンツへ接続したり、所定のホームページやサイトに接続したりすることができる。

【0068】本発明の第 3 の特徴点は、広告コンテンツが所定のターゲットに対し精度良く絞り込まれたものとしてすることができる点である。従来の広告も、広告によってはターゲットが絞り込まれているが、その絞り込みが妥当であったか否かのチェックはできなかった。本発明では、絞り込まれた広告コンテンツが受信者の配信要求に基づいて配信されるとその配信履歴が記録されたり、また、他の種類の履歴がとられることでターゲットの絞り込みの精度が良くなる。

【0069】本発明の第 4 の特徴点は、広告コンテンツに関して各種の履歴をとることが可能になっている点である。従来の広告は、流しっぱなし、受け取りっぱなしがほとんどであり、効果等の把握のための各種のデータはほとんど取られていないか、もしくは非常な金額をかけて別途追跡調査をして取得したりしていた。

【0070】本発明では、

- ①受信者が広告コンテンツの配信を受けこれを閲覧した際の視聴履歴、
- ②受信者が広告コンテンツの配信を受けた際にとられる配信履歴、
- ③受信者が広告コンテンツの配信を受けこれを閲覧し、さらに広告コンテンツを配信する広告配信装置経由で WEB サイトに接続した際の配信履歴、
- ④受信者が広告コンテンツの配信を受けこれを閲覧し、さらに広告コンテンツを利用して WEB サイトに接続した場合であって、この WEB サイトが売買サイトであり、かつ受信者がこの売買サイトを利用した際にとられる売買履歴、の 4 種類の履歴をとることが可能となっている。

【0071】本発明の第 5 の特徴点は、この発明がインターネット等のネット網のみならず、ケーブルテレビ、衛星放送、携帯電話等の電話回線網等、種々の高速通信網に適用できる等、適用範囲が広い点である。なお、適用範囲が広いという意味では、本発明における広告コンテンツの仕組みをテレビ番組に応用することもできる。すなわち、例えば、30 分番組を 3 分間ずつ 10 個の番組コンテンツに分け、そのコンテンツの配信履歴や視聴履歴をとることで番組の正確な視聴率等を取得することができる。

【0072】図 1 は、上述した特徴を有する本発明の第 1 の実施の形態の広告配信システムの全体を示したブロック図である。図 2 は、本実施の形態の広告配信システムを利用して配信する広告コンテンツと WEB サイトや他の広告コンテンツとの接続関係を示したブロック図である。図 3 は、本実施の形態の広告配信システムの一部となる広告配信装置の構成の一例を示したブロック図である。図 4 は、本実施の形態の広告配信システムの詳細

な全体構成及び当該広告配信システムを取り巻くインフラ等について説明するためのシステム概要図である。

【0073】図5は、本実施の形態の広告配信システムにおける広告コンテンツの構成を説明するためのブロック図である。図6は、本実施の形態の広告配信システムの主要部となる広告コンテンツが他の広告コンテンツとのリンク関係を備え、かつ各広告コンテンツ間が多階層構造に配置される場合のレイヤについて説明するための図である。図7は、本実施の形態の広告配信システムを利用する受信者から見た、各広告コンテンツがそれぞれ配置された各レイヤへのアクセスイメージを示した図である。

【0074】図8は、本実施の形態の広告配信システムによる広告配信サービスを受ける受信者を取り巻く社会環境について説明するための図である。図9は、本実施の形態の広告配信システムを運用する際の各履歴等の情報の流れや相互関係の仕組みを説明するためのブロック図である。図10は、本実施の形態の広告配信システムを用いて受信者へ配信する広告コンテンツを、受信者が閲覧しかつWEBサイトに接続するまでの第1の配信履歴及び視聴履歴の各履歴の収集等の動作フローを示したブロック図である。図11は、本実施の形態の広告配信システムを用いて受信者へ配信する広告コンテンツを、受信者が閲覧しかつWEBサイトに接続した後の第2の配信履歴及び売買履歴の各履歴の収集等の動作フローを示したブロック図である。

【0075】本発明の第1の実施の形態の広告配信システムの主な構成要素は、高速通信網2に接続された広告配信用WEBサーバー（以下、広告配信装置という）1と、高速通信網2に接続されると共に広告コンテンツ7がリンクするWEBサイト3aが保存されているサイト用WEBサーバー3と、高速通信網2を介して広告配信装置1から広告コンテンツ7の配信を受ける受信者5が使用する受信装置4となっている。なお、サイト用WEBサーバー3と受信装置4とは、それぞれ多数存在するが、図1では代表してそれぞれ1つずつを示す。

【0076】広告配信装置1は、この広告配信システムの管理者である広告配信会社6が、広告コンテンツ7の運用管理を行うものである。より具体的には、高速通信網2に接続された広告配信装置1には、当該広告配信会社6へ自社広告用のWEBサイト3aの運用を依頼する依頼主となる広告主10（図4参照）の広告や、広告配信会社6自身の広告等、種々雑多にある広告を所定のターゲットに絞り込んでまとめた広告コンテンツ7が配置される。そして、各広告コンテンツ7は、新規作成もしくは更新されると共に、受信者5が閲覧可能となるように広告配信装置1に保存される。

【0077】上述したように、広告配信会社6は当該広告配信装置1を利用して、予め所定のターゲットに絞り込みを行った広告を1つ以上有する広告コンテンツ7を

新規に作成したり、あるいは既に高速通信網2上に配置している既存の広告コンテンツ7に新たな広告を追加／古い広告を削除（以下、広告コンテンツ7の更新という）し、これらを高速通信網2上に配置する。

【0078】高速通信網2は、インターネットへの接続を高速イーサネット等の高速通信網で行うものやケーブルテレビにおける高速通信網等を指している。サイト用WEBサーバー3は、上述の広告配信会社6に自社広告の運用を依頼した広告主10のWEBサイト等のサイトであって広告コンテンツ7がリンクするWEBサイト3aを格納している。なお、サイト用WEBサーバー3は、特に、上述の広告主10が所有するものもしくは管理するものとは限らない。受信装置4は、高速通信網2に接続されるパソコン、テレビ、各種の携帯端末等となっている。

【0079】なお、WEBサイト3aとは、インターネット等のネット網上に置かれる全てのサイトを指し、売買行為や役務提供を行うための売買サイトと、このような売買サイト以外の他の全てのサイト（以下、情報サイトという）とに分かれる。ここでいう売買サイトとは、高速イーサネット網等で構成された高速通信網2を利用して、商品や情報やサービスなどを売買したり提供したりすることを前提（目的）としたWEBサイト3aを指す。なお、直接、オンライン売買が出来なくとも、他の手段を利用して売買が成立するもの、例えば引換券が発行され、その引換券を現実の商店に持ち込むことで商品を手に入れるようなものは全て売買サイトに該当する。情報サイトは、売買サイト以外のサイト全てが該当する。例えば、ニュースやドキュメント番組、あるいはチャットを行えるサイトやテレビ電話を行えるサイトなどもこれに含まれる。

【0080】図1を利用してこの広告配信システムの概要を説明する。受信者5は、受信装置4を利用して広告コンテンツ7の配信要求を広告配信装置1に対し行う。すると、広告配信装置1は、高速通信網2を介して受信装置4へ広告コンテンツ7の配信を行う。なお、配信される広告コンテンツ7は、所定のターゲットに絞り込みを行った広告（詳細は後述）であって、所定のターゲットユーザー向けに作成／更新されたものとなっている。

【0081】そして、図2（A）に示すように、その配信を受けた広告コンテンツ7に上述したWEBサイト3aへのリンク関係が書き込まれているアドレス部が含まれている場合は、受信者5は当該広告コンテンツ7を配信する広告配信装置1経由でそのWEBサイト3aへの接続ができる。また、図2（B）に示すように、その配信を受けた広告コンテンツ7に他の広告コンテンツ7へのリンク関係が書き込まれたアドレス部が含まれている場合は、受信者5は当該広告コンテンツ7を配信する広告配信装置1経由で他の広告コンテンツ7の配信を受けることができる。

【0082】図1に示される広告配信装置1の詳細な構成を図3に示す。広告配信装置1は、所定のターゲットに絞り込むための各種要素を管理する広告作成要素管理部11と、広告コンテンツ7を構成する各種広告データ55（図5参照）を蓄積しこれを管理する広告データ管理部12と、視聴履歴や配信履歴や売買履歴を収集しこれらの収集情報を管理する収集情報管理部13と、各種の作成要素や各種の収集情報を基に最適な広告データ55を選択して広告コンテンツ7を作成する広告コンテンツ作成部14と、作成した広告コンテンツ7をその内部に備え、これを高速通信網2を介して受信者5の受信装置4に配信すると共に配信履歴を記録することが可能な広告コンテンツ配信部15とを備えている。

【0083】広告作成要素管理部11で管理することとなる所定のターゲットに絞り込むための各種要素とは、当該広告コンテンツ7のターゲットとなるユーザーグループが属する特定市場の市場動向情報や、このユーザーグループが属するさらに大枠の市場の方向性情報や、依頼主となる広告主10の意志決定等を指す。また、広告データ管理部12が蓄積し管理する広告データ55は、静止画像や動画画像からなるデータや、音声データ等、各種の広告を表示するためのデータからなる。

【0084】また、広告配信装置1の収集情報管理部13が収集する視聴履歴とは、受信者5が広告コンテンツ7の配信を受け、その広告コンテンツ7を受信装置4で閲覧した際にとられる履歴のことをいう。この視聴履歴は、受信装置4側で記録するようになっている。そして、その記録された視聴履歴は、受信装置4から広告配信装置1の収集情報管理部13に送られて、収集情報管理部13で管理されることとなる。

【0085】また、広告配信装置1の収集情報管理部13が収集する配信履歴には、広告コンテンツ7を広告配信装置1から受信者5の受信装置4に配信した際に広告配信装置1によってとられる履歴と、配信した広告コンテンツ7のアドレス部に書き込まれたリンクを利用して当該広告コンテンツ7とリンク関係を有するWEBサイト3aに接続した際に広告配信装置1によってとられる履歴とがある。これらの配信履歴は、広告コンテンツ配信部15が記録し、その記録した配信履歴は収集情報管理部13に送られ、収集情報管理部13で管理されることとなる。

【0086】また、広告配信装置1の収集情報管理部13が収集する売買履歴とは、配信された広告コンテンツ7が広告配信装置1経由で当該広告コンテンツ7とリンク関係を有するWEBサイト3aに接続した場合、または少なくとも1回以上広告配信装置1経由でWEBサイト3aに接続した受信者5が例えば2回目以降等の接続において広告配信装置1を経由しないで直接的にWEBサイト3aに接続した場合であって、この接続したWEBサイト3aが売買サイトである場合に、受信者5がそ

の売買サイトを利用した情報を記録したものである。この売買履歴は、売買サイト側でとられ、何らかの方法で売買サイトから広告配信装置1の収集情報管理部13に送られ、収集情報管理部13で管理されることとなる。なお、ここでいう売買サイトの利用とは、オンライン売買やその他の方法による売買行為そのものだけではなく、例えば、見積もり依頼や商品カタログの閲覧請求等、売買に関連する行為等も含むものとする。

【0087】なお、本実施の形態では、広告コンテンツ7を受信者5の受信装置4に配信した際にとられる履歴と、配信した広告コンテンツ7が上述の広告配信装置1経由で当該広告コンテンツ7とリンク関係を有するWEBサイト3aに接続した際にとられる履歴からなる2種類の配信履歴を、広告コンテンツ配信部15が記録するようになっているが、広告コンテンツ配信部15は2種類の配信履歴のうちのいずれか一方のみを記録するようにしても良い。

【0088】また、本実施の形態では、上述の視聴履歴は受信装置4で記録され、売買履歴はWEBサイト3aで記録され、それらが共に広告配信装置1の収集情報管理部13へ直接送られるように構成されている。しかし、これらは広告配信装置1の他の部を経由して収集情報管理部13へ送られるようにしても良い。

【0089】また、本実施の形態では、収集情報管理部13が、上述の視聴履歴、および広告コンテンツ7を受信者に配信した際にとられる履歴と、配信した広告コンテンツ7が上述の広告配信装置1経由で当該広告コンテンツ7とリンク関係を有するWEBサイト3aに接続した際にとられる履歴からなる2種類の配信履歴ならびに上述の売買履歴の4つの履歴の全てを収集し管理するように構成されているが、たとえば、上述の4つの履歴のうちの1つのみ、あるいは2つもしくは3つを収集管理するようにしても良い。

【0090】広告コンテンツ作成部14では、収集情報管理部13から視聴履歴等の収集情報を受け取り、これらの収集情報と広告作成要素管理部11で管理された市場動向情報等の各種要素とを考慮して、所定のターゲットの絞り込みが行われた広告コンテンツ7の作成が行われる。すなわち、所定のターゲットに合うような広告データ55を広告データ管理部12から抽出し組み合わせて所定のターゲットに絞り込まれた広告コンテンツ7を作成する。なお、ターゲットの絞り込みは、所定のジャンル、所定のカテゴリー、所定のコンセプトの少なくとも1つに基づいて行われる。このようにして構成された広告コンテンツ7は、広告コンテンツ配信部15から高速通信網2を介して受信者5の受信装置4に配信される。

【0091】次に、リンク関係が書き込まれたアドレス部を有すると共に視聴履歴等を収集するようにプログラムされた、従来とは全く異なる広告コンテンツ7、及び

この広告コンテンツ 7 全体を作成する機能を有する広告配信装置 1 を備えた広告配信システムの詳細な構成およびこのシステムを動かすためのインフラについて説明する。図 4 は、本発明の第 1 の実施の形態の広告配信システムの詳細な全体構成及び当該広告配信システムを取り巻くインフラ等について説明するためのシステム概要図である。

【0092】図 1 に示したと同様に、広告配信装置 1、WEB サイト 3 a が格納されたサイト用 WEB サーバー 3 及び受信者 5 の受信装置 4 は、高速インターネット網で構成された高速通信網 2 に接続されている。また、この広告配信システムにおいて広告配信装置 1 の一部を構成する放送会社 8 や広告配信会社 6 が、図 4 に示すように、高速通信網 2 に接続されている。

【0093】なお、高速インターネット網とは、衛星、高速無線 LAN、高速 LAN など含むイーサネット（登録商標）網に代表される高速なネットであって、インターネットに接続されるネット網のことをいう。本実施の形態におけるイーサネットの速度は、ファーストイーサネット、ギガビットイーサネット、テラビットイーサネット又はそれ以上のイーサネットを想定している。

【0094】また、受信者 5 の受信装置 4 は、いわゆるインターネット機器であって、インターネットに接続でき、画像表示機器を含む入出力装置である。例としては、BS デジタル放送、CS デジタル放送、地上波デジタル放送等のデジタル放送をデジタル放送会社 6 1 から受信可能なデジタル放送受像用テレビ 4 1、携帯電話会社 6 2 との間で音声データ、文字データ、画像データ等を送受信可能な携帯電話（図示省略）や次世代携帯電話 4 2、ケーブルテレビ会社 6 3 に専用線 6 5 により接続されたケーブルテレビ放送受像用のテレビ 4 3、インターネットテレビ受像器 4 4、この広告配信システムのために開発された専用機 4 5、パーソナルコンピュータ 4 6、などである。なお、次世代携帯電話 4 2 とは、高速通信機能と大量画像を高速に処理できる機能を有する携帯電話を想定している。

【0095】また、専用機 4 5 とは、インターネット網に接続して、広告情報や広告番組を配信するかあるいは双方向サービスを行うことができるこの広告配信システム専用機のことである。例としては、店舗内や野外や電車内などに設置して広告サービスなどを行う機器等のことを想定している。

【0096】放送会社 8 とは、この広告配信システムでは、広告配信装置 1 の一部の機能を担うものであり、広告コンテンツ 7 を含む各種データを受信装置 4 に配信する。この放送会社 8 は、受信者 5 に画像や音声やその他の情報を配信または双方向サービスをしている会社の総称でもあり、具体的には、上述したようにデジタル放送会社 6 1 や携帯電話会社 6 2 やケーブルテレビ会社 6 3 等が含まれる。

【0097】なお、図 4 に示すように、広告配信会社 6 に当該広告配信システムを利用した広告の運用を依頼する依頼人は、広告主 10 もしくは広告代理店 10 a となる。すなわち、広告主 10 とは、広告を行いたい人または企業であり、例えば、情報サイトや売買サイトで構成された WEB サイト 3 a において実施する自社広告の運用を広告配信会社 6 に依頼する人又は企業等を指す。なお、広告代理店 10 a とは、広告商社のことである。また、図 4 中に示された制作会社 10 b とは、広告主 10 や広告代理店 10 a あるいは広告配信会社 6 等の依頼を受けて、実際の広告（広告画像やその他の広告データ等）情報を作成する企業のことである。

【0098】次に、広告コンテンツ 7 について、図 5 および図 6 に基づいて詳述する。

【0099】最初に、上述した広告配信装置 1 で作成される広告コンテンツ 7 の機能概要を説明する。すなわち、広告コンテンツ 7 は、明確なターゲットユーザーを持ち、広告を行う対象マーケットに適するように構成される。広告コンテンツ 7 は、広告データ 5 5 に管理情報 5 6 が付加された 1 つの広告としての最終単位である広告コンポーネント 5 4 を 1 つ以上持ち、所定のジャンル、所定のカテゴリ、所定のコンセプトの少なくともいずれか 1 つに分類化されて所定のターゲットに絞り込まれ、任意の時間で構成されている。

【0100】なお、広告コンポーネント 5 4 は、所定の WEB サイト 3 a 等へのアクセスを実現するアドレス部を有している。また、広告コンポーネント 5 4 は、その WEB サイト 3 a 等のアドレスへの接続要求イベント

（プログラム）を有している。広告コンテンツ 7 は、このアドレス部と接続要求イベント（プログラム）が動作することにより、広告コンテンツ制御部 5 9 の動作を開始させ、この広告コンテンツ制御部 5 9 の制御により他の WEB サイト 3 a 等へリンクできるようになっている。なお、広告コンポーネント 5 4 のアドレス部は、図 5 に示す管理情報 5 6 に配置され広告コンポーネント制御部 5 7 の接続要求イベント（プログラム）によって制御される。この実施の形態では、このような動作を行うように構成したが、広告コンテンツ制御部 5 9 の制御を介さずにアドレス部と接続要求イベント（プログラム）が直接に WEB サイト 3 a 等への接続を行うようにプログラムされていても良い。

【0101】また、広告コンテンツ 7 は、配信日時等、視聴した広告、最後に視聴した広告などの各種情報を保存する機能をもっている。また、広告コンテンツ 7 は、受信者 5 が閲覧する広告コンテンツ 7 を随時最新広告にする機能（＝更新機能）を持っている。なお、更新機能としては、受信者 5 が自動的に更新するか、あるいは更新しようとしている際に受信者 5 にその是非の問い合わせをするか、さらには受信者 5 が自ら更新するという選択をした時のみ更新をするか、を受信者 5 が選択可能と

なっていることもその機能の一つである。

【0102】なお、上述したような機能を有する広告コンテンツ7は、1つの広告コンポーネント54で構成される場合や多数の広告コンポーネント54で構成される場合がある。なお、図6は、そのような場合を想定した図となっているが、広告コンテンツ7が備える広告コンポーネント54は1つでも良い。

【0103】また、広告コンテンツ7は、1つ以上の他の広告コンテンツ7とのリンク関係を持つこともできる。そして、リンク関係にある各広告コンテンツ7間が階層的に配置される関係となり、それぞれの広告コンテンツ7は多階層構造のいずれかの階層に配置することができる。すなわち、各広告コンテンツ7は、他の広告コンテンツ7とのリンク関係を示すアドレス部が配置されただけであるが、受信者5側からみると各広告コンテンツ7が多階層構造に配置されるイメージとなる。なお、広告コンテンツ7が複数のアドレス部を持つ場合、それらを各広告コンポーネント54に1つずつ持たせるようにしても良いし、1つの広告コンポーネント54に複数のアドレス部を持たせるようにしても良い。

【0104】図6に、各広告コンテンツ7が多階層構造に配置され、上層階に配置された広告コンテンツ7がその下の層に配置された複数の広告コンテンツ7とリンク関係を有し、かつ最下層に配置される広告コンテンツ7が多数の広告コンポーネント54から形成されているというイメージを示した、各広告コンテンツ7のレイヤを示す。図6に示すように、各広告コンテンツ7は、多階層構造のいずれかの階層に配置されている。すなわち、上層階に配置された広告コンテンツ7のいずれかには、その下の層に配置された広告コンテンツ7とリンク関係を有するアドレス部が備えられている。上層階に配置された広告コンテンツ7は、比較的大きな概念でくくられる。これに比べて、下層に配置された広告コンテンツ7は、比較的小さな概念でくくられる。このため、受信者5は上層階に配置された広告コンテンツ7のうち、下層の広告コンテンツ7へのリンク関係を有するものの配信を受けると、この広告コンテンツ7からその下の階層へ、概念を絞り込みながら移動することが行えるようになっている。

【0105】なお、以下の説明では、各レイヤ毎にその層に配置された広告コンテンツ7単体にそれぞれ名称を付けて説明するが、各レイヤに存在する広告単体は、いずれも本発明でいう広告コンテンツ7となる。すなわち、以下に説明する広告チャンネル51、広告コンテンツ・セレクション52も、また最下層に位置する基本広告コンテンツ53も全て広告コンテンツ7となる。

【0106】なお、各階層に配置された各広告コンテンツ7の中には、当該広告コンテンツ7と関連するWEBサイト3aとリンク関係を有するアドレス部もしくは他の広告コンテンツ7とリンク関係を有するアドレス部の

いずれか一方もしくは双方をもったものが存在する。言い換えると、全てが上述のアドレス部を有する広告コンテンツ7の場合もあるし、一部に上述のアドレス部を全く持っていないものが存在する場合もある。上述のアドレス部を有する広告コンテンツ7は、そのアドレス部を利用してリンク関係となっている他の広告コンテンツ7やWEBサイト3aへの移動が可能となっている。

【0107】図6において最上層階に示した広告情報チャンネル層51aは、上述した放送会社8（図4参照）が設定した広告を専用に扱う広告チャンネル51が配置された層であり、この広告情報チャンネル層51aの広告チャンネル51からその下層に位置する広告コンテンツ・セレクション層52aへの移動ができる。すなわち、1つの広告チャンネル51を受信者5が選択して配信を受けると、その広告チャンネル51内にはその下層の広告コンテンツ・セレクション52へリンク関係を有するアドレス部が複数配置されており、それらの一つを受信者5が選択すると、受信者5はその選択した広告コンテンツ・セレクション52の配信を受けることとなる。なお、放送会社8は、広告チャンネル51を用いずに独自の 방법으로広告コンテンツ・セレクション52とのリンク関係を有する番組等を広告情報チャンネル層51aに配置しても良い。

【0108】また、同様に、広告コンテンツ・セレクション層52aからその下層となる最下層に位置する基本広告コンテンツ層53aへの移動ができる。なお、図6においては、最下層の基本広告コンテンツ53の下層に広告コンポーネント54が配置され、さらにその下層に広告データ55が配置しているように示されているが、これらは下層に配置されているのではなく基本広告コンテンツ53が有するものと位置づけることができる。加えて、上述したように、広告チャンネル51および広告コンテンツ・セレクション52も、この図6における広告コンポーネント54及び広告データ55を備えた広告コンテンツ7の一つである。

【0109】広告チャンネル51は、例えば、受信者5が使用する受信装置4の表示画面にマルチウインドウのような形で表示されるようになっており、受信者5がその番組選択画面60（図6参照）に配置された複数の広告チャンネル51のうちの任意の1つを選択することにより、複数の広告コンテンツ・セレクション52とリンク関係を有するアドレス部を備えた広告チャンネル51に接続される。

【0110】そして、受信者5が、この広告チャンネル51のうちのいずれかの広告コンテンツ・セレクション52を選択することにより、複数の基本広告コンテンツ53とリンク関係を有するアドレス部を備えた広告コンテンツ・セレクション52に接続される。そして、さらに広告コンテンツ・セレクション52のうちの所定の基本広告コンテンツ53を選択することにより、所望の基

本広告コンテンツ 53 の閲覧が可能となる。

【0111】なお、広告コンテンツ 7 の中には、下層階に配置された他の広告コンテンツ 7 にリンクされるアドレス部ではなく、同層階もしくは上層階に配置された他の広告コンテンツ 7 にリンクされるアドレス部を持たせたものが存在していても良い。このように、いずれかの階層に配置された少なくとも 1 つ以上の広告コンテンツ 7 に、WEB サイト 3a や他の広告コンテンツ 7 とリンク関係を有するアドレス部が設けられるように構成するのが好ましいが、他へのリンク関係を有しないような広告コンテンツ 7 を上述の多階層構造の中に混入させたり、多階層構造とせずリンク関係を有しない広告コンテンツ 7 のみとしても良い。

【0112】ここで、上述した広告コンテンツ 7 のアクセスレイヤ及びその運用管理についてさらに説明する。受信者 5 は、複数の広告コンテンツ 7 の中から選択、または特定の広告コンポーネント 54 を指定するなど複数のアクセス経路を介して広告情報を受けられる。図 7 には、それを実現する各レイヤへのアクセスイメージが示されている。

【0113】上述したように広告チャンネル 51 とは、デジタル放送会社 61 やケーブルテレビ会社 63 が回線として広告情報を専用に扱うチャンネルを開設した場合のチャンネルを示す。本実施の形態で、受信者 5 がデジタル放送会社 61 やケーブルテレビ会社 63 経由で広告コンテンツ 7 の配信を受けるという行為は、広告情報を専門に扱うチャンネルである広告情報チャンネル層 51a から所定の広告チャンネル 51 をまず選択することによって始まる。

【0114】なお、この広告チャンネル 51 の配信を受けるという行為だけでも、広告コンテンツ 7 の配信を受ける行為に相当するが、さらに下層に移動しながら次々とその下層の広告コンテンツ 7 (広告コンテンツ・セクション 52 や基本広告コンテンツ 53 を意味する) の配信を受けることをも広告コンテンツ 7 の配信を受ける行為という。すなわち、一般的な TV チャンネルの一つの形態として、この広告情報だけを専用に扱うチャンネル層が存在し、その中の広告チャンネル 51 自体またはこの広告情報チャンネル層 51a 全体を広告コンテンツ 7 と考えても良い。

【0115】また、広告コンテンツ・セクション 52 とは、所定のジャンル、カテゴリー、コンセプト等によって絞り込みが行われたものであり、その絞り込みの内容に関連づけられた少なくとも 1 つ以上の基本広告コンテンツ 53 とリンク関係を有するものである。なお、広告コンテンツ・セクション 52 は、ジャンル、カテゴリー、コンセプト等のうちのいずれか 1 つで絞り込みが行われたものでも良いし、ジャンル、カテゴリー、コンセプトのうちの複数の組み合わせで絞り込みが行われたものであっても良い。受信者 5 は、このサービスによ

り、所定のジャンル等によって絞り込まれた複数の広告コンテンツ・セクション 52 から自分の希望に沿った広告コンテンツ・セクション 52 の選択が可能となる。

【0116】また、最下層に配置される基本広告コンテンツ 53 は、上述したように 1 つ以上の広告コンポーネント 54 から構成され、所定のジャンル、カテゴリー、コンセプトの少なくともいずれか 1 つ (複数を組み合わせた場合もある) によって分類化された、所定の広告情報量を持った広告番組の最小単位を示している。なお、本実施の形態では、最下層に配置される基本広告コンテンツ 53 は、少なくとも 1 つ以上の WEB サイト 3a へリンク関係を有するアドレス部を有するように構成されており、受信者 5 は、当該基本広告コンテンツ 53 の配信を受けると、当該基本広告コンテンツ 53 を配信する広告配信装置 1 経由で WEB サイト 3a への接続をさせることができるようになっている。

【0117】また、図 5 に示すように、広告コンポーネント 54 は、広告データ 55 に管理情報 56 を付加したデータであり、その管理情報 56 には、サイトアドレスおよび制御データなどが含まれる。この管理情報 56 と広告データ 55 は、広告コンポーネント制御部 57 によって制御される。また、広告コンポーネント制御部 57 には、視聴率を管理する視聴率管理プログラム 57a が格納されている。なお、視聴率管理プログラム 57a は、この広告コンポーネント制御部 57 内に加え、広告コンテンツ制御部 59 にも分割して配置するようにしても良い。

【0118】なお、図 6 及び図 7 においては、この広告コンポーネント 54 は、最下層に配置された基本広告コンテンツ 53 に属するように記載されているが、上述の広告チャンネル 51 や広告コンテンツ・セクション 52 にも同様に広告コンポーネント 54 は備えられている。なお、広告コンポーネント 54 が 1 つのみで基本広告コンテンツ 53 や広告コンテンツ・セクション 52 や広告チャンネル 51 を構成する場合も存在する。

【0119】次に、上述した広告配信システムの主な各構成部の機能について詳細に説明する。

【0120】上述した広告配信装置 1 の主な機能は、広告コンテンツ 7 を作成及び更新すると共に、これらを受信者 5 に配信することにある。受信者 5 に配信する広告コンテンツ 7 には、それぞれ明確なターゲットユーザー層が設けられている。すなわち、各広告コンテンツ 7 の特徴は、的確なターゲットユーザの絞り込みを狙った明確なジャンルやカテゴリーやコンセプトに関連付けられた能動的 (ダイレクト) な広告構成を持つことである。加えて、広告コンテンツ 7 は、広告主 10 が持つターゲットユーザの意向、マーケット動向情報、さらに大枠の市場の方向性情報 (トレンド)、広告主 10 の意志決定が考慮された広告構成となっている。

【0121】 広告配信装置 1 によって作り出される広告コンテンツ 7 が提供する広告情報サービスは、受信者 5 と、例えば広告主 10 の広告用の WEB サイト 3 a となる売買サイトや情報サイトとをつなぐための広告媒体として、広告コンテンツ 7 を利用してもらうことを目的としている。

【0122】 この広告情報サービスの特徴は、広告配信装置 1 の持つ、上述した視聴履歴、配信履歴、売買履歴を収集する機能を利用して、現状の広告宣伝効果を定量的に評価できることにある。なお、広告配信装置 1 が持つ広告作成機能の中に、例えば、上述したような各種情報を収集することによりその収集情報を利用して自動的に広告コンテンツ 7 を作成する機能を持たせても良い。このような自動作成機能を持たせると、新たにマーケットを創出したり、またはターゲットの絞込みを行ったりして、広告コンテンツ 7 が自動的に作成される。

【0123】 また、さらに、自動作成機能の中に、検索機能を持たせても良い。このような検索機能を持たせると、受信者 5 が視聴したい広告を自分で能動的に検索すれば、その検索結果が反映された新たな広告コンテンツ 7 が作成される。そして、受信者 5 は、その自分で検索したことにより作成された広告コンテンツ 7 を閲覧することができる。具体的には、所定のジャンルやカテゴリーやコンセプト等をキーワード入力するかあるいは検索ボタンの選択等を行うことにより、その検索結果を広告コンテンツ 7 として閲覧できる。すなわち、「検索する」という能動的な行為を取り入れることにより、より積極的な（目的意識を持った）ユーザーの取り込みが可能となる。

【0124】 なお、上述した広告配信装置 1 が有する特徴は、所定のターゲットに絞り込みを行った広告データ 55 を 1 つ以上有する広告コンテンツ 7 を、高速通信網 2 上に配置された広告配信装置 1 によって、受信者 5 に配信することがベースとなっている。このため、上述した付加的な各機能（自動作成機能や当該機能中の検索機能）を保有していない場合にも、十分に本来の機能、本来の効果を発揮するものである。自動作成機能や当該機能中の検索機能は、このような特徴をさらに補足的に強化したものであるという位置づけとなる。

【0125】 次に、図 5 を用いて、広告コンテンツ 7 や広告コンポーネント 54 と、この広告コンポーネント 54 等に対しての広告配信装置 1 の役割や機能の説明を行う。

【0126】 広告コンテンツ 7 は、上述したように、1 つの広告としての最終単位である広告コンポーネント 54 を複数持ち、任意の時間で構成されている。この広告コンテンツ 7 は、広告コンテンツ 7 を視聴（動画、音声などの「再生」「停止」「早送り」「後戻り」「スキップ」などをさせる機能を含む）させるための機能を有している。この機能は、広告コンテンツ 7 の中の広告コン

テンツ制御部 59 に設けられている。

【0127】 広告コンポーネント 54 は、1 つで 1 つの広告を表現する場合もあるし、複数個で 1 つの広告を表現する場合もある。複数個の広告コンポーネント 54 で 1 つの広告が構成される場合は、これらを連続的に一連のものとして配信する必要があるが、このような制御は広告コンテンツ制御部 59 で行われる。これによって、受信者 5 は、複数の広告コンポーネント 54 で構成されているにも拘わらず、それらを連続的に表現された 1 つの広告であると認識することができる。

【0128】 なお、このような広告コンテンツ 7 及び広告コンポーネント 54 に関する構成は、特にその配信する情報を広告情報と限定する必要が無く、広告以外の情報に関しても同様に適用できるものである。例えば、上述の広告コンテンツ 7 に相当するものを情報番組コンテンツとして存在させ、この情報番組コンテンツが 1 つの情報としての基本単位である情報コンポーネントを複数持つ構成としても良い。そして、このような情報番組コンテンツを、例えば WEB テレビ等の受信装置で受信できるようにしても良い。

【0129】 この情報番組コンテンツは、広告コンテンツ 7 の構成と同様、情報番組コンテンツを視聴（動画、音声などの「再生」「停止」「早送り」「後戻り」「スキップ」などをさせる機能を含む）させるための機能を有しており、この機能を制御する上述の広告コンテンツ制御部 59 に相当する制御部を有した構成となっている。

【0130】 なお、上述の情報コンポーネントも、1 つで 1 つの情報番組を表現する場合もあるし、複数個で 1 つの情報番組を表現する場合もある。複数個の情報コンポーネントで 1 つの情報番組が構成される場合は、これらを連続的に一連のものとして配信する必要があるが、このような制御は上述の制御部で行われる。これによって、受信者 5 は、複数の情報コンポーネントで構成されているにも拘わらず、それらを連続的に表現された 1 つの情報番組であると認識することができる。

【0131】 具体的には、時間にして 30 分で構成される 1 つの情報番組を、時間にして 3 分ずつの単位に分割された各情報コンポーネント 10 個で構成し、これらを情報番組コンテンツ内の制御部で制御しながら次々に再生する。これにより、受信者 5 は、連続した 30 分の情報番組として閲覧することができる。なお、この情報番組を構成する情報コンポーネントに、当該情報コンポーネントで構成された画像や音声等に関連する情報サイトや売買サイト等の WEB サイト 3 a とリンク関係を有するアドレス部、すなわちサイトアドレスを設けたり、視聴履歴や配信履歴等をとれる構成としても良い。これにより、以上説明した情報番組コンテンツを配信する配信装置経由での WEB サイト 3 a へのアクセスや視聴率の把握が可能となる。

【0132】なお、情報番組コンテンツの例を示して、コンテンツ及びコンポーネントに関する構成について説明したが、上述したようにこの構成は情報の種類を問わない。すなわち、インターネット機器で受信できる情報であれば、どのような種類でも上述した広告コンテンツ7及び広告コンポーネント54と同様の形態で配信することが可能である。また、上述した例では、情報コンポーネントを構成するデータとして、画像及び音としたが、データとしては画像もしくは音のいずれか一方でも良い。加えて、画像は、静止画像でも動画像でも良い。

【0133】次に、広告コンテンツ7について詳細に説明する。

【0134】広告コンテンツ7は、受信者5の受信装置4の形態に応じて閲覧する仕方が異なるが、広告コンポーネント54が有している広告データ55を閲覧して、その後、その広告コンポーネント54からWEBサイト3a又は他の広告コンテンツ7への接続を実現する機能を有している。また、広告コンテンツ7は、当該広告コンテンツ7を配信する広告配信装置1経由でのWEBサイト3aへの接続要求の選択機能や、配信日時の情報及び視聴した広告データ55ならびに最後に視聴した広告データ55などの情報を、管理情報56と広告コンテンツ制御部59の一方もしくは双方に保存させる機能を有している。すなわち、広告コンテンツ7は、上述した機能を実現するようにプログラムされている。

【0135】また、広告コンテンツ7は、受信者5の受信装置4が視聴率管理プログラムを有していない場合にこの視聴率管理プログラムを配信し受信装置4に組み込む機能、及び受信装置4に組み込まれた視聴率管理プログラムの起動などを制御する機能を有している。

【0136】すなわち、この広告コンテンツ7は、受信者5が自己の使用する受信装置4で当該広告コンテンツ7の配信を受けこれを閲覧すると、その閲覧動作が視聴履歴としてとられるようにプログラムされている。すなわち、本実施の形態では、受信者5が当該広告コンテンツ7の配信を受け、これを閲覧した際に視聴履歴を受信装置4の、例えばメモリーもしくはハードディスク等の記憶手段に記録させるように、広告コンテンツ7がプログラムされている。また、受信装置4に記録させた視聴履歴を、受信装置4から広告配信装置1へ送信するように、広告コンテンツ7がプログラムされている。なお、これらを実現するための視聴率管理プログラム57aを備えた広告コンポーネント制御部57は、広告コンポーネント54内に設けられ、視聴履歴を基にした視聴率データ59aは広告コンテンツ7内の広告コンテンツ制御部59に設けられている。

【0137】なお、当該広告コンテンツ7の配信を受けた後、この広告コンテンツ7の閲覧動作を所定時間以上継続した場合に、視聴履歴をとるようにプログラムされる方が望ましい。配信を受けた後、すぐにWEBサイト

3aや他の広告コンテンツ7へ接続した場合は、当該広告コンテンツ7にはそれ程興味を示していない場合が多く、視聴履歴をとっても実状に沿っていないためである。

【0138】なお、本実施の形態では、広告コンテンツ7は、当該広告コンテンツ7を配信する広告配信装置1経由でWEBサイト3aへの接続が行われた場合に、その接続情報（接続先のサイトアドレス等の情報）を配信履歴として記録するように設定されている。

10 【0139】また、本実施の形態では、当該広告コンテンツ7を配信する広告配信装置1経由でWEBサイト3aに接続し、さらにそのWEBサイト3aが売買サイトであって、受信者5が当該WEBサイト3aを利用して見積もり依頼や売買行為等を行った場合、その利用情報を売買履歴として売買サイト側で記録するようになっている。そして、この売買履歴を、売買サイト側から広告配信装置1へ何らかの方法にて送るようになっている。しかし、この売買履歴の記録を広告配信装置1側に行わせるように、当該広告コンテンツ7がプログラムされて

20 いても良い。

【0140】一方、広告コンポーネント54の機能としては、上述したように、受信者5が閲覧している広告コンポーネント（動画、静止画、タイトル）54からのサイト接続を実現するサイトアドレス（上述のアドレス部と同義語）とそのサイトアドレスへの接続要求イベント（プログラム）を持っている。なお、広告コンポーネント54が有するサイトアドレスは、1つではなく複数でも良い。

30 【0141】広告コンポーネント54のデータ構造は、図5に示すように、広告データ55に管理情報56を付加したものであって、これらを制御する広告コンポーネント制御部57を有している。管理情報56には、サイトアドレス、制御データ（広告データ管理番号などの広告全般を管理する為の情報）などがある。広告データ55とは、広告そのものであって従来の（既存の）広告データのことを意味し、各データは動画像や静止画像や音に関する情報等の少なくとも1つ以上から構成されている。

40 【0142】そして、広告コンポーネント制御部57には、サイトアドレス接続要求イベント（プログラム）、広告データ55と管理情報56を関連付けたり各プログラムを起動させるプログラムや上述した視聴率管理プログラム57a及び広告コンテンツ7内の広告コンテンツ制御部59とのインターフェースなどがある。

50 【0143】そして、上述のようなデータ構成を備えた広告コンポーネント54は、受信者5が閲覧している動画、静止画、タイトル等で構成されている広告データ55を選択する行為により、広告データ55に関連付けられたWEBサイト3aへリンクできる機能を有している。

【0144】なお、上述の広告コンテンツ7は、専用の閲覧ソフトを受信装置4に配信しその専用閲覧ソフト

(専用ブラウザ)で閲覧させるようにしても良いし、汎用の閲覧ソフト(汎用ブラウザ)で閲覧させるようにしても良い。また、専用ブラウザで広告コンテンツ7を閲覧した際は、その視聴履歴をとった後に専用ブラウザを広告配信装置1に送信するように、広告コンテンツ7をプログラムしても良い。なお、専用ブラウザの配信を自動的とせず、その都度受信者5に配信して良いか否かの意志確認を行うようにしても良い。また、視聴履歴を収集しかつ送信するソフトの受信装置4への配信は、専用ブラウザの配信で一括してなされるようにしても良いし、当該配信とは別の配信としても良い。なお、視聴履歴は、上述の専用ブラウザを利用しなくても、汎用のブラウザを利用して閲覧しても、受信装置4側で取られ、それが広告配信装置1へ送られる。

【0145】なお、この広告コンテンツ7の形態としては、上述したように広告主10が提供する広告を集めたものの他、例えば、当該広告コンテンツ7自体を宣伝するもの、当該広告コンテンツ7よりさらに上層に配置される広告コンテンツ7を宣伝するもの等も考えられる。

【0146】さらに、広告コンテンツ7の形態としては、上述した広告チャンネル51以外のメディアを宣伝するもの、例えば、デジタル放送番組の広告を行うようなものも考えられる。また、上述した広告配信装置1に広告コンテンツ7の自動作成機能を持たせた場合に、その自動作成機能を利用して自動的に作成された広告コンテンツ7を広告するもの等も、広告コンテンツ7の形態として考えられる。また、上述した広告配信装置1に自動作成機能及び検索機能を持たせた場合、これらの各機能を利用して受信者5の選択等によって検索され作成された広告コンテンツ7を広告するものも、広告コンテンツ7の一形態として考えられる。

【0147】上述した広告コンテンツ7は、従来のホームページに形成されるバナー広告とは異なり、この広告コンテンツ7全体が広告専用もしくはそのほとんどを広告情報が占めるもので、しかも連続性のある動画もしくは静止画等を駆使したものとなっている。そして、動画もしくは静止画の所定のパートを選択すると、その部位に関連のある商品群をラインナップさせたWEBサイト3aや他の広告コンテンツ7に直接飛んだり、あるいは各広告コンテンツ7間が多階層構造にリンク関係を有した構造となっており、ジャンルやカテゴリやコンセプト等をさらに絞った下層の広告コンテンツ7を配信する広告配信装置1に接続したりできるようになっている。

【0148】この広告コンテンツ7が有する広告コンポ

10

20

30

40

50

ており、受信者5がアドレス部を選択動作するとこれらのデータが配信履歴情報として送信されるようになって

【0149】なお、上述の条件に合わせ、広告コンテンツ7は、所定のジャンル、所定のカテゴリ、所定のコンセプトに分類化することによりターゲットを絞り込んだものとなっている。ジャンルで分類化した例としては、車のディーラーのWEBサイト3aへアクセスするためのアドレス部を複数備えるような形態のもの等が考えられる。すなわち、ジャンルによる分類化とは、商品群(商品には情報やサービス等も含む)別に関連付けて分類化することである。また、カテゴリで分類化した例としては、コンビニエンスストア内や電車内に設置される公共の受像器に表示させる広告群等が考えられる。すなわち、カテゴリによる分類化とは、商品群やサービス内容等には特にこだわらないが、その配信する地域(場所)や配信する時間に関連付けて分類化することである。

【0150】また、コンセプトで分類化した例としては、「30代の働く女性」や「20代独身男性の休日」等が考えられる。すなわち、コンセプトによる分類化とは、商品群等や分野等に関係なく、ターゲットとなるユーザーをそのユーザーの視点や考え方に関連付けて分類化することである。

【0151】いずれにしても、本発明の広告配信システムにおける広告コンテンツ7は、以下に記述するような手段を用いて、明確なターゲットユーザーを持つ特定の市場(マーケット)に適するように作成もしくは更新されていく。すなわち、漠然とした市場を、ジャンルやカテゴリやコンセプトで分類化し、これを広告主10が要求する考え方(意志決定)と合致させて広告コンテンツ7を作成していくこととなる。言い換えると、広告主10のWEBサイト3aへアクセスするためのアドレス部を、そのWEBサイト3aの分類に従って最適な広告コンテンツ7に設けることである。なお、依頼を受けた広告主10の考え方と合致する既存の広告コンテンツ7がない場合には、新しい市場を開拓すべく新規の広告コンテンツ7を創造する。

【0152】次に、当該広告配信システムを利用した広告配信サービスを受ける受信者5について説明する。

【0153】受信者5とは、上述した受信装置4を利用して上述した広告コンテンツ7の配信を受けることにより、当該広告配信システムの広告配信サービスを受領するサービス受領者のことを指す。すなわち、ここでの受信者5とは、インターネット機器を使用するユーザーのことではなく、実際に広告コンテンツ7の配信サービスを受ける者のことをいう。しかしながら、インターネット機器を使用するユーザーであれば、ある段階までは当該広告配信システムを利用した広告配信サービスを受けていないとしても、将来的には(今すぐにも)この

サービスを受けることができる。従って、インターネット機器を使用する全ての人は、潜在的には、受信者 5 となり得る。

【0154】なお、当該広告配信システムを利用して作成／更新される広告コンテンツ 7 は、所定のターゲットに絞り込まれるという説明をしたが、その絞り込み方についてさらに図 8 を用いて述べる。

【0155】図 8 において符号 9A は、広告主 10 の商品の購買層となるターゲットユーザーを示している。すなわち、このターゲットユーザー 9A とは、上述の広告配信会社 6 が依頼を受けた広告主 10 の広告を有する広告コンテンツ 7 のターゲットのことであって、上述した受信装置 4 を使用する受信者 5 か否かは問わない。言い換えると、受信装置 4 を持たない購買層もこのターゲットユーザー 9A に含まれるし、逆にこのターゲットユーザー 9A の中に受信者 5 も存在する。なお、さらに言及すると、このターゲットユーザー 9A を購買層とする特定市場が存在することになる。なお、上述の商品は、広告主 10 が提供するサービスや情報等も含むものである。

【0156】また、符号 9B、9C は、ターゲットユーザー 9A をターゲットとする広告コンテンツ 7 とは異なる広告コンテンツ 7、すなわち他の広告コンテンツ 7 のターゲットユーザーである。このターゲットユーザー 9B、9C も、ターゲットユーザー 9A と同様、受信装置 4 を使用する受信者 5 か否かは問わない。すなわち、受信装置 4 を持たない購買層もこれらのターゲットユーザー 9B、9C に含まれるし、逆にこれらのターゲットユーザー 9B、9C の中に受信者 5 も存在する。なお、さらに言及すると、これらのターゲットユーザー 9B、9C を購買層とする特定市場も存在することになる。

【0157】図 8 に示すように、ターゲットユーザー 9A、9B、9C は、それぞれ互いに一部重なり合う部分もあり、3 つが重なる部分もある。言い換えると、ターゲットユーザー 9A、9B もしくは 9C のどれか 1 つにしか属さない人（上述した受信者 5 という意味ではなく単に人の意味である）もいれば、2 つのターゲットユーザー 9A と 9B（もしくは 9A と 9C または 9B と 9C）が重なる位置に配置される人もいれば、3 つのターゲットユーザー 9A、9B、9C となる人もいる。

【0158】このように示した各ターゲットユーザー 9A、9B、9C を購買層とする各特定市場は、さらに大枠の市場 9 の中に存在する。この大枠の市場 9 は、上述した各ターゲットユーザー 9A、9B、9C における説明とも一致するが、高速通信網 2 に接続可能で当該広告配信システムを利用した広告配信サービスが受けられるか否かに関係なく、人間が存在する限り続く営みの場を示している。なお、ある時点において、既に配信可能な状態となっている広告コンテンツ 7 のいずれかターゲットユーザーに属していない人であっても、時の変化や心境の変化等によりいずれかのターゲットユーザー群に属

してしまう場合もあるし、あるいはその後に作成された新たな広告コンテンツ 7 のターゲットユーザーに属してしまう場合もある。

【0159】当該広告配信システムを利用して作成／更新される広告コンテンツ 7 は、上述の大枠の市場 9 の方向性情報も考慮しながら形成される。これは、インターネットユーザーとして生活していない非インターネットユーザーであっても、当然ながら広告の目的となる目的商品の購買層となっている人は多数存在し、しかもこれらの人々もトレンドの形成と無関係には存在しないからである。すなわち、本実施の形態では、商品の流行や市場動向等の判断をする場合に、インターネット利用者たる受信者 5 か否かに関係なく、大枠の市場 9 の市場動向情報を考慮すべきであるという認識に基づいている。

【0160】なお、当該広告配信システムを利用した情報サービスは、例えば、ターゲットユーザー 9A に属する受信者 5 向けの広告コンテンツ 7 を作成して配信することにより、その受信者 5 にとっては利用価値の高いものとなる。しかし、この情報サービスをターゲットユーザー 9A に属する受信者 5 のみが、この配信を受けられるという意味ではなく、全ての受信者 5 が平等に当該配信を受けることができる。

【0161】なお、上述したようにある特定のターゲットユーザー（例えば、9A で示されるユーザー）に絞り込まれた広告を 1 つ以上有する広告コンテンツ 7 は、その作成もしくは更新後に、単に広告配信装置 1 内に格納し受信者 5 に対して配信可能な状態とするのみでもよいが、作成もしくは更新したことを、電子メール等、何等かの方法により特にターゲットユーザー 9A に属する受信者 5 に知らしめるようにしても良い。

【0162】ここで、この広告配信システムにおいて使用されているソフトウェア部分について説明する。

【0163】上述したように構成された当該広告配信システムは、広告コンテンツ 7 を配信する機能と、現状の広告コンテンツ 7 を定量的に評価する機能とを有している。なお、広告コンテンツ 7 の自動作成機能や、専用ブラウザを配信する機能等を備えるようにしても良い。

【0164】広告情報サービスを行う機能とは、広告主 10 が持つターゲットユーザーの意向（特定の市場動向情報）とトレンド（市場の方向性情報）、実際に広告コンテンツ 7 を閲覧した受信者 5 の視聴履歴等を考慮した広告構成を持った広告コンテンツ 7 を作成しこれを受信者 5 に配信する機能であって、この広告配信システムと広告コンテンツ 7 が提供するサービスの内容を示している。

【0165】なお、この広告配信システムは、広告コンテンツ 7 の配信要求を受信する受信機能を有している。すなわち、広告コンテンツ 7 からの配信要求を広告配信装置 1 が受信すると、配信履歴を広告配信装置 1 が収集する機能である。また、この広告配信システムは、広告

コンテンツ 7 の配信制御機能を有している。さらに、広告配信システムは、受信者 5 の受信装置 4 に広告コンテンツ 7 を配信する機能や、オンラインで広告コンテンツ 7 の配信を行う機能も有している。また、この広告配信システムは、サイトアドレスに対しての接続要求を受信する機能や接続情報を取得後に WEB サイト 3 a に対して接続要求を実行する機能や配信履歴を、上述の広告コンテンツ配信部 15 から収集情報管理部 13 (図 3 参照) へ引き渡す機能を有している。

【0166】広告コンテンツ 7 のソフトウェアの基本機能は、広告コンテンツ 7 の中の広告の所定の部位、例えば、動画や静止画やタイトル等で構成されている部位を選択すると、WEB サイト 3 a のリンク先に接続する機能を有している。なお、この機能は、上述した専用ブラウザを配信するような構成とした場合、その専用ブラウザ内の閲覧ソフトウェアを介することによりコントロールされる。また、この広告コンテンツ 7 を再生するソフトウェアは、動画や音声等を再生し視聴可能とするための機能を備えている。なお、広告コンテンツ 7 のソフトウェアの機能は、専用ブラウザを介さなくても視

聴履歴を取る等、その他の全ての動作を起動できるものとなっている。

【0167】さらに、広告コンテンツ 7 を再生するソフトウェアは、例えば、受信者 5 が閲覧する広告を随時最新広告に自動更新するモードとするか手動によって切り換えるかを選択可能とする機能や、サイト接続要求の選択機能とその実行を管理する機能や、視聴率を管理する視聴率管理プログラムの配信及び視聴率管理プログラムの起動などを制御する機能や、視聴率管理プログラムが起動されてから、管理されている視聴履歴情報を広告配

信装置 1 に送信させる機能等を備えている。

【0168】なお、視聴率とは、受信者 5 が上述の広告コンテンツ 7 を閲覧したときの情報であって、そのデータは受信者 5 が広告コンテンツ 7 の閲覧をしたときに記録される視聴履歴である。データ構成としては、ヘッダ情報、視聴データ及び管理関係情報を有している。ヘッダ情報とは、収集条件パラメータ全体の内容のことである。視聴データとは、後述する収集条件で指定したデータ類のことであり、時間軸でのイベント情報 (広告データ管理番号やチャンネル番号やその他の情報) などを収集したデータのことである。また、管理関係情報とは、

上述の広告配信会社 6 が管理する情報のことである。

【0169】視聴率データ (視聴履歴) の収集方法は、対象者となる受信者 5 に対して事前に視聴率管理プログラムを受信装置 4 に配信するか、または視聴率管理機能を有する受信装置 4 に対して収集条件パラメータを設定するか、上述したように広告コンテンツ 7 内に予め視聴率管理プログラムを埋め込んでおくことによって自動で行われる。

【0170】視聴率収集処理の開始/停止や、収集条件

の設定変更は、広告コンテンツ 7 の新規登録及び更新時に収集条件パラメータを設定変更することによって、視聴率管理プログラムが視聴率データの収集を自動で実施する。また、広告配信装置 1 から送信され受信装置 4 で受信した受信メール内のパラメータによって、収集条件パラメータの設定変更を行うような仕組みとしても良い。受信装置 4 で収集したデータは、広告配信装置 1 に送られる。収集条件パラメータは、識別情報パラメータと、データ収集の開始/停止パラメータと、収集条件パラメータと、管理関係情報パラメータとからなる。

【0171】識別情報パラメータは、広告ターゲットグループ別や地域情報などの識別情報である。データの収集の開始/停止パラメータは、視聴率データの収集開始や終了を制御するデータで、指定の日時の間で自動的に視聴率データの収集を行うものである。なお、指定の日時に関係なく、オンラインで収集の開始/停止を行うような構成となっても良い。また、収集条件パラメータは、サンプリング時間と広告コンテンツ 7 の受信者 5 が視聴した内容をパラメータで指定するものとなっている。例えば、秒間隔、分間隔などからなる時間軸パラメータや、広告データ管理番号、広告チャンネル 51 の番号などのデータ類の指定パラメータ等である。また、管理関係情報パラメータは、上述の広告配信会社 6 が管理する情報の収集の有無を指定したパラメータである。

【0172】次に配信履歴管理の具体的内容について説明する。配信履歴の管理には、上述の広告配信会社 6 が管理する情報の管理と、アクセスされた WEB サイト 3 a からの情報の管理とがある。すなわち、受信者 5 が広告コンテンツ 7 を有する制御サーバーとなる広告配信装置 1 (図 1 参照) にアクセスすることにより得た広告コンテンツ 7 の配信内容や配信回数などの履歴を管理すること、及び受信者 5 が WEB サイト 3 a にアクセスした履歴情報を WEB サイト 3 a 側からの情報として管理することである。なお、上述した広告配信装置 1 の広告コンテンツ配信部 15 が記録する配信履歴は、WEB サイト 3 a 側からの情報を除いたものであり、WEB サイト 3 a 側で記録された履歴情報は WEB サイト 3 a 側から広告配信装置 1 へ送られる。

【0173】なお、WEB サイト 3 a が売買サイトの場合、その売買サイトへのアクセス履歴は、そのサイトでの動作が発生することで売買履歴情報となる。また、WEB サイト 3 a が情報サイトの場合、その情報サイトでの行動は単にアクセス回数などの履歴情報となる。なお、オンライン売買とは、電子取引でおこなう売買方法のことをいう。また、売買履歴情報とは、売買サイト側で管理する情報で顧客情報と購入内容、購入回数、見積もり依頼回数、見積もり対象商品 (サービス) などの情報である。配信履歴情報は、受信者 5 から広告配信装置 1 へ、どのくらい配信要求があったかを広告コンテンツ 7 (又は、WEB サイト 3 a) 単位で履歴として収集す

る情報のことを指す。

【0174】次に、上述した広告配信システムにおける各情報の流れや相互関係の仕組みを図9に基づいて説明する。なお、以下の説明において、上述の説明で用いた構成部分に対応する部分を表す場合は、同一符号を用いて説明するものとする。加えて、図9では、運用方法もしくは行為自体を示しているが、その行為等を行う部分を図3で説明した広告配信装置1に対応させて説明するものとする。

【0175】図9中の符号1は、上述の広告配信装置1を示している。なお、この広告配信装置1を管理運用することにより当該広告配信システムを用いたビジネスモデルが運用される。この広告配信システムを使用して広告情報を扱い、ビジネスとして成立・確立させる団体を、本説明中では広告配信会社6としている。

【0176】図9中の符号7（広告コンテンツ配信部15中に示されているもの）は、当該広告配信システムを実現するための装置である広告配信装置1内の広告コンテンツ配信部15に配置された広告コンテンツ7を示している。上述したように、本実施の形態においては、広告配信会社6がサービスとして提供する広告情報の単位は、広告コンテンツ7である。この広告コンテンツ7は、多階層構造となっている場合には、基本広告コンテンツ53、広告コンテンツ・セクション52、広告チャンネル51などがある（図6及び図7参照）。また、基本広告コンテンツ53が複数存在し、選択可能にするものを上述したように広告コンテンツ・セクション52という。

【0177】本実施の形態では、基本広告コンテンツ53または広告コンテンツ・セクション52（図6及び図7参照）を配信するために、この広告配信システムが使用される。なお、当然ながら、広告コンテンツ・セクション52のさらに上層階に配置される広告チャンネル51（図6及び図7参照）を広告配信会社6が配信するような仕組みとしても良い。なお、逆に、単一の基本広告コンテンツ53のみを専門に配信する仕組みとしても良い。

【0178】複数の広告コンテンツ・セクション52を有するものである場合、先ず広告コンテンツ・セクション層52aから受信者5が選択した広告コンテンツ・セクション52を配信し、次に広告コンテンツ・セクション52中の選択された基本広告コンテンツ53の配信を行う。なお、広告コンテンツ・セクション52の情報の大きさによっては、基本広告コンテンツ53も広告コンテンツ・セクション52と同じタイミングで配信することは可能である。

【0179】広告コンテンツ7は、明確なターゲットユーザー9Aを持ち、このターゲットユーザー9Aを対象とするマーケットに適するように構成される。すなわち、漠然としたマーケットをグループ化しこのマーケッ

トのターゲットとなるターゲットユーザー9Aに関連付けた広告コンテンツ7を配信することが、広告配信会社6が提供するビジネスの主たる目的である。

【0180】図9中の大枠の市場9内に示されている符号74は、マーケティングを示している。ここで示すマーケティングには、以下に記述するように3つの意味

（要素）がある。第1の要素は、ターゲットユーザー9Aの情報を、広告配信装置1の機能（視聴履歴情報、配信履歴情報、売買履歴情報などを収集する機能）を使用しないで、客観的な手段を用いてマーケット動向として調査することである。第2の要素は、ターゲットユーザー9Aに合う広告、情報、商品などを調査することである。すなわち、広告主10及び広告代理店10aを特定することを意味する。第3の要素は、広告主10及び広告代理店10aが広告を行いたい対象や、商品を開発する上での市場調査に於けるマーケットの絞込み＝商品コンセプトの作成を行うための市場調査のことである。

【0181】図9に示す大枠の市場9とは、上述したように、高速通信網2への接続（参加）をするかしないかに関係なく、人間が存在する限り続く営みの場を指す。すなわち高速通信網2へ接続（参加）しない潜在的に存在するユーザーをも含んでいる。よって、ターゲットユーザー9Aもこの潜在的に存在するユーザーを含んでいる。

【0182】大枠の市場9内に示される符号5及び5'は、広告配信会社6が運営する広告配信装置1より広告コンテンツ7の配信を受ける受信者を示している。なお、符号5で示した受信者は、ターゲットユーザー9Aに属する受信者で、符号5'で示した受信者はそれ以外の受信者を示す。なお、図9では、説明の便宜上、ターゲットユーザー9Aに属する受信者とそれ以外の受信者を符号5、5'で示すが、他の図ではこれらは同じものとして単に受信者5として示すものとする。

【0183】また、図9中の符号77（大枠の市場9中の広告コンテンツ7の配信を受けた受信者5、5'の受信装置4からそれぞれ広告配信装置1に向けて引かれた線）は、広告コンテンツ7の配信要求を示している。配信要求77とは、受信者5及び5'が広告コンテンツ7の配信を受けるために広告配信装置1に対して行う行為を指す。広告コンテンツ7を配信するための広告コンテンツ配信部15への接続は、上述したように（図7参照）、広告チャンネル51または他の基本広告コンテンツ53もしくは広告コンテンツ・セクション52から行われる間接的接続方法と、既に、以前接続経験があり、受信者5及び5'の受信装置4に接続先が保存されている場合や、接続先を接続機器に入力することで行われる直接的接続方法とがある。

【0184】図9中の符号78（広告配信装置1から大枠の市場9中の広告コンテンツ7の配信を受けた受信者5、5'の受信装置4へ向けてそれぞれ引かれた線）

は、広告コンテンツ 7 の配信を示している。すなわち、配信 7 8 とは、配信要求 7 7 を受けて、受信者 5 及び 5' に対して広告コンテンツ 7 の配信を行う行為を指す。また、このタイミングで広告コンテンツ配信部 1 5 が第 1 の配信履歴を記録し、その後広告コンテンツ配信部 1 5 から収集情報管理部 1 3 へその第 1 の配信履歴を送ることにより、配信履歴情報の収集 8 7 a を行う。なお、この第 1 の配信履歴とその配信履歴情報については、後で説明する。

【0185】図 9 中の符号 7 9 (大枠の市場 9 中の広告コンテンツ 7 の配信を受けた受信者 5, 5' の受信装置 4 からそれぞれ広告配信装置 1 に向けて引かれた線) は、配信された広告コンテンツ 7 の広告コンポーネント 5 4 からその広告コンポーネント 5 4 に書き込まれているサイトアドレスへの接続要求を示している。広告コンテンツ 7 は、上述したように最終単位である広告コンポーネント 5 4 を 1 つ以上持ち (図 5, 図 6 及び図 7 参照)、任意の時間で構成されている。配信された広告コンテンツ 7 は、受信者 5 及び 5' の受信装置 4 に応じて閲覧する仕方が異なるが、広告コンポーネント 5 4 が有している広告データ 5 5 を閲覧してその後にサイト接続を実現するために必要であるサイトアドレス (アドレス部) とそのサイトアドレスへの接続要求イベント (プログラム) を持つ。この場合、サイトアドレスは、広告コンポーネント 5 4 の構成 (プログラム) によっては 1 サイトアドレスを有する場合と、複数のサイトアドレスを有する場合がある。

【0186】なお、受信者 5 及び 5' は、広告配信装置 1 の広告コンテンツ配信部 1 5 を経由しないで WEB サイト 3 a へ直接的に接続することができる。また、受信者 5 及び 5' は、広告コンテンツ配信部 1 5 経由の接続設定を無効とすることもできる。受信者 5, 5' が無効設定を行う場合には、広告コンポーネント 5 4 のサイトアドレスが示す WEB サイト 3 a へ接続する。

【0187】図 9 中の符号 8 0 (広告配信装置 1 からサイト用 WEB サーバー 3 に向けて引かれた線) は、サイトアドレスに対しての接続要求 7 9 を広告配信装置 1 が取得後に、広告配信装置 1 が WEB サイト 3 a に対し接続を実行する行為を示している。すなわち、広告コンポーネント 5 4 中のサイトアドレスへの接続要求 7 9 を受け取ると、接続要求がされた対象となるサイトアドレスを用いて WEB サイト 3 a への接続要求を行う。また、このタイミングで広告コンテンツ配信部 1 5 が第 2 の配信履歴を記録し、その後広告コンテンツ配信部 1 5 から収集情報管理部 1 3 へその第 2 の配信履歴を送ることにより、配信履歴情報の収集 8 7 b を行う。

【0188】サイト用 WEB サーバー 3 からターゲットユーザー 9 A 中の受信者 5 の受信装置 4 に向けて引かれた線 (本来、図 9 中には、サイト用 WEB サーバー 3 から大枠の市場 9 中の広告コンテンツ 7 の配信を受けた受

信者 5' の受信装置 4 に向けて引かれた線もあるはずであるが、図が複雑となるため省略する) を示す図 9 中の符号 8 3 は、受信者 5 及び 5' に配信された広告コンテンツ 7 を配信するための広告コンテンツ配信部 1 5 を経由して (符号 7 9, 8 0 参照)、WEB サイト 3 a が受信者 5 及び 5' の受信装置 4 と接続していることを示している。なお、WEB サイト 3 a へ直接的に接続することもできる。受信者 5 及び 5' の視点で捉えたと、広告コンテンツ配信部 1 5 経由の場合、配信された広告コンテンツ 7 中の広告を選択 (厳密には、広告コンポーネント 5 4 中の接続要求イベントを起動させること) し、リンク関係にある WEB サイト 3 a に接続することになる。

【0189】ターゲットユーザー 9 A 中の受信者 5 の受信装置 4 とサイト用 WEB サーバー 3 とを結ぶ符号 8 4 (本来、図 9 中には、大枠の市場 9 中の広告コンテンツ 7 の配信を受けた受信者 5' の受信装置 4 とサイト用 WEB サーバー 3 とを結ぶ線もあるはずであるが、図が複雑となるため省略する) は、受信者 5, 5' と WEB サイト 3 a との間の売買/コミュニケーションを示している。売買行為は、受信者 5 及び 5' が主に売買サイトとの間で行われる双方向な行為を指す。コミュニケーションは、売買サイト以外のサイト (情報サイト) に対して接続された場合における双方向な行為を指す。接続される方法としては、上述したように 2 通りある。

【0190】図 9 中の符号 8 5 (サイト用 WEB サーバー 3 から収集情報管理部 1 3 に向けて引かれている線) は、売買履歴情報等の情報の収集を示している。当該広告配信システムが効率良く広告コンテンツ 7 を配信するシステムであることを定量的に判断するための機能の 1 つである。すなわち、売買サイトからは売買履歴情報 (売買行為以外の売買サイト中の行為を含む) とその売買サイトの接続情報を、また情報サイトからはどれだけ利用 (活用) したかなどのデータを収集する。これらにより、WEB サイト 3 a とリンク関係を有する広告コンテンツ 7 の配信を受けた受信者 5 及び 5' が、WEB サイト 3 a (売買サイト/情報サイト) に対して行った貢献度や広告の効果を算出するための基礎情報を収集する。なお、売買履歴等のサイトにおける情報は、上述したように WEB サイト 3 a 側で記録され、そして WEB サイト 3 a から広告配信装置 1 に対して送られることとなる。

【0191】図 9 中の符号 8 6 (大枠の市場 9 中の広告コンテンツ 7 の配信を受けた受信者 5, 5' から収集情報管理部 1 3 に向けてそれぞれ引かれている線) は、視聴履歴情報の収集を示している。これは、売買履歴情報の収集 8 5 と同じく、当該広告配信システムが効率良く広告コンテンツ 7 を配信するシステムであることを定量的に判断するための機能の 1 つである。この視聴履歴情報の収集 8 6 とは、受信者 5 及び 5' が、どのような広

告コンテンツ 7 の配信を受け、どのような広告を視聴したのかを視聴率データとして収集することを指す。これは、ターゲットユーザー 9 A のようなマーケットと、実際の受信者 5 及び 5' との関係・関連を比較検証できる有効な手段である。

【0192】なお、比較検証のポイントは、以下の通りである。すなわち、第 1 に、ターゲットの絞り込みの的確性と妥当性の検証を行うことである。第 2 に、1 つのマーケットとして捉えたターゲットユーザー 9 A のようなマーケット自体の検証を行うことである。そして、第 3 に、ターゲットの絞り込みと広告主 10 の意図（広告主の商品コンセプトやマーケティング）との差異を検証することである。なお、この視聴履歴情報は、上述したように受信者 5 および 5' の受信装置 4 側で記録され、そして受信装置 4 から広告配信装置 1 に対して送られることとなる。

【0193】広告コンテンツ配信部 15 から収集情報管理部 13 へ向かう線を示す符号 87 a、87 b は、それぞれ第 1 及び第 2 の配信履歴情報の収集を示している。これらは、売買履歴情報の収集 85 および視聴履歴情報の収集 86 と同じく、当該広告配信システムが効率良く広告コンテンツ 7 を配信するシステムであることを定量的に判断するための機能の 1 つである。

【0194】第 1 の配信履歴情報は、受信者 5 及び 5' から広告配信装置 1 へ、どのくらい配信要求があったかを広告コンテンツ 7 単位で履歴として収集する情報のことを指す。第 2 の配信履歴情報は、広告コンテンツ 7 の配信を受けた受信者 5 及び 5' が、当該広告コンテンツ 7 を配信する広告配信装置 1 を経由して、どのくらい WEB サイト 3 a への接続を行ったかを WEB サイト 3 a 単位で履歴として収集する情報のことを指す。

【0195】第 1 の配信履歴を取るポイントは、広告配信装置 1 が広告コンテンツ 7 の配信要求 77 を受けたタイミングである。第 2 の配信履歴を取るポイントは、広告コンポーネント 54 中のサイトアドレスへの接続要求 79 を広告配信装置 1 が受けたタイミングである。なお、図 9 においては、第 1 の配信履歴情報の収集を符号 87 a で、第 2 の配信履歴情報の収集を符号 87 b でそれぞれ示している。

【0196】広告主 10 もしくは広告代理店 10 a から広告配信装置 1 に向かう線を示す符号 88 は、広告主 10 もしくは広告代理店 10 a から広告配信装置 1 を管理運営する広告配信会社 6 への広告依頼を示している。広告主 10 もしくは広告代理店 10 a が当該広告配信システムを利用した広告依頼 88 をすることにより、広告主 10 もしくは広告代理店 10 a にとって、時間枠に制限されない広告が可能となり、また、より自由な発想の広告表現方法が可能となる。更に、その広告情報となる広告コンテンツ 7 は、ジャンル、カテゴリー、コンセプトの少なくとも 1 つに分類されるので、広告主 10 等が意

図したターゲットユーザー 9 A のようなマーケットに対して効率良く広告を行うことができる。

【0197】この広告依頼 88 で示す線は、広告主 10 もしくは広告代理店 10 a が検討する宣伝方法の一つとして当該広告配信システムを選択した場合の広告配信会社 6 へのアクセスをも指す。なお、符号 88 は、単に依頼を表すだけでなく、自社広告が掲載されている広告コンテンツ 7 の評価等も含まれる。

【0198】広告作成要素管理部 11 内に示される符号 89 は、広告配信料を示している。例えば、放送会社 8（図 4 参照）が提供する独自の高速イーサネット網を利用する場合、その施設使用料が発生する。また、放送会社 8 が広告チャンネル 51（図 6 及び図 7 参照）を開設し、これを広告配信会社 6 が広告コンテンツ 7 の配置先として利用する場合は、その開設費や維持管理費が発生すると考えられる。その費用は、広告配信会社 6 が提供する広告コンテンツ 7 の配信サービスへの報酬とは別に発生する。このように、この広告配信料 89 とは、広告配信会社 6 における広告コンテンツ 7 の配信サービス代価そのものには含まれない料金を指す。

【0199】図 9 の広告作成要素管理部 11 内に示される符号 90 は、広告料一覧を示している。この広告料一覧 90 は、広告配信会社 6 がサービスとして提供する広告コンテンツ 7 への掲載料金を指す。その価格設定は、広告コンテンツ 7 のマーケット認知度、広告コンテンツ 7 が持つターゲットユーザー 9 A のようなマーケットの規模、ターゲットユーザー 9 A と広告主 10 の意図との合致度、上述した売買履歴情報の収集 85、視聴履歴情報の収集 86 及び 2 種類の配信履歴情報の収集 87 a、87 b が示す広告コンテンツ 7 の定量的な数値情報から来る対投資効果の優位性（優位度）等を勘案し、対投資効果に見合う料金体系（時価評価価格）となるように決定され維持される。

【0200】広告料一覧 90 の下方に示されている符号 91 は、広告主 10 の選択を示している。この広告主 10 の選択 91 は、厳密には、広告主 10 もしくは広告代理店 10 a が行う行為である。広告料一覧 90 で示す広告コンテンツ 7 への掲載料が、広告主 10 の対投資効果に見合う宣伝効果であるか判断し、吟味することを指す。

【0201】図 9 中の符号 92（広告作成要素管理部 11 から広告データ管理部 12 に向けて引かれた線）は、広告掲載の準備を示している。広告配信会社 6 と広告主 10 もしくは広告代理店 10 a との契約内容によるが、広告コンテンツ 7 へ取り込む広告データ 55（図 5 参照）の取り扱い方によって大きく準備形態が異なる。例えば、広告主 10 もしくは広告代理店 10 a 側で既に広告データ 55 を有している場合は、その広告データ 55 を、そのデータベースとなる広告データ管理部 12 へ登録する。

【0202】一方、新規で作成した広告データ55を広告コンテンツ7へ取り込む場合は、まず広告データ55を新規に作成して広告データ管理部12への登録をする。広告掲載の準備92とは、上述した行為のことを指す。

【0203】広告作成要素管理部11内には、広告コンテンツ7を作成するための各種の要素が示されている。広告コンテンツ7は、ターゲットユーザーの絞り込みが全てである。この絞り込まれたターゲットユーザーに対して、収集情報管理部13に収集され管理される広告コンテンツ7の視聴履歴等の収集情報（符号94参照）と、この広告作成要素管理部11に取り込まれるマーケット動向95とトレンド96との関連付けを行うことにより、広告コンテンツ7は、広告情報としての商品価値（付加価値）が上がる。

【0204】この絞り込み作業は、ターゲットユーザー9Aのような既に決まった枠内に存在するマーケットに関しては明確と言える。しかし、新たにマーケットを創出したり、あるいは新たな絞り込みを行う場合、新たに当該広告配信システムに興味を示すユーザーに対してなされる、コンセプト等による分類が定義不足であったり、無力や無意味である場合が有り得る。逆に言えば、コンセプト等による分類が明確であれば、その絞り込み作業は完全なるものであるといえる。なお、当該広告配信システムに、広告自動作成機能を付加することにより、この機能を利用して定義付け等を実現し、マーケットの創作や新規ユーザーの取り込みを行うようにしても良い。

【0205】収集情報管理部13内に配置され、符号94で示されるものは、広告コンテンツ7の視聴履歴及び2種類の配信履歴ならびに売買履歴の収集管理を示している。広告コンテンツ7は、コンセプト等で分類することにより絞り込みが行われたターゲットユーザー9Aのようなマーケットに向けて、より的確に、より適した内容で配信されることを目的としている。

【0206】広告コンテンツ7自体のコンセプトは、広告配信会社6が提供するビジネス形態に於ける大切な要素である。その広告コンテンツ7のコンセプトをシステムとしてサポートするのが、2種類の配信履歴と視聴履歴と売買履歴の収集管理94である。視聴履歴等の収集管理94は、当該広告配信システムが効率良く広告コンテンツ7を配信するために必要とされる機能である。広告配信装置1は、上述した第1及び第2の配信履歴を集計したものを集計配信履歴情報として管理し、視聴履歴として収集されそれを集計したものを視聴率情報として管理する。また、広告配信装置1は、売買履歴として収集されそれを集計したものを集計売買履歴情報として管理する。

【0207】なお、本実施の形態では、上述の各履歴情報を全て収集し管理するようにしたが、いずれか1つまたは2つあるいは3つを収集してこれを管理し、その収

集情報を基に広告コンテンツ7の作成／更新を行うようにしても良い。また、収集および管理は全て行った上で、広告コンテンツ7を作成する基の情報としてその中から任意のものを抽出して利用するようにしても良い。

【0208】マーケット動向95は、上述したマーケティング74を行って収集した情報、すなわち当該広告配信システムが提供する機能（視聴履歴等の情報を収集する機能）を使用しないで、ターゲットユーザー9Aに対してマーケティング74を行い得られたマーケットに関する情報を指す。なお、このように、当該広告配信システムが提供する機能を用いずにマーケット動向95を調査する目的は、以下の通りである。

【0209】第1に、当該広告配信システムにより生み出された広告コンテンツ7の配信を、ターゲットユーザー9Aに属する全ての受信者5が受ける訳ではない。言い換えると、ターゲットユーザー9Aに属する全ての人が受信装置4を持っているわけではない。加えて、ターゲットユーザー9Aに属しかつ受信装置4を持っている人の全てが、当該広告コンテンツ7の配信を受けるとは限らない。このような状況から、ターゲットユーザー9Aに属する人の中で当該広告コンテンツ7の配信を受けた人は、一部の人であるということが言える。当該広告配信システムにおいては、ターゲットユーザー9Aの一部の人を対象にマーケティングをしてもそれ程大きな効果は無いと考える。

【0210】第2に、ターゲットユーザー9Aに属さない受信者5'に対して、当該広告コンテンツ7の配信が行われる場合もある。この受信者5'にとっては、当該広告コンテンツ7はそれほど興味のないものである可能性が高い。そのため、閲覧動作もターゲットユーザー9Aに属する受信者5と比べると、全く違ったものとなる。すなわち、興味がなく、すぐに閲覧をやめてしまったりということが予想される。当該広告配信システムにおいては、そのような人の視聴履歴等をマーケット動向としてとらえることに意味は少ないと考える。

【0211】すなわち、視聴履歴や配信履歴が示す情報は、ターゲットユーザー9Aを対象とするマーケットに関する市場動向情報とは等価とはならない。ターゲットユーザー9Aによる当該広告コンテンツ7の評価をより正確に行うために、上述のマーケット動向95を調査し、その調査結果を広告コンテンツ7の作成要素としている。なお、視聴履歴や配信履歴や売買履歴は、現状を定量的に把握する上では有効であり、マーケット分析（新たなマーケットの創出や新たなマーケットの取り込みなど）を行う上では必須情報と成り得るが、時代を先読み・先取りするための情報ではない。広告主10の意図を反映し易い広告コンテンツ7にするためには、当該広告配信システムを運営する広告配信会社6が、広告主10の立場に立ったマーケティングを行う必要がある。

【0212】トレンド96とは、マーケティング74か

ら得られたマーケット動向 95 とは異なり、時代が向かっている方向、業界の方針や方向、世代が持つ特性や特色のことを指す。また、民族が持つ文化（特性や特徴）、国や経済圏が有する法律や規制も大きな意味（時間的空間の上）でマーケットに影響を与えるものとなるため、当該広告配信システムでは、このようなものをトレンド 96 に含むものとする。

【0213】広告データ管理部 12 は、先に示したように、広告データ 55 を管理するデータベースを指す。なお、本実施の形態では、広告配信会社 6 が管理運営する広告配信装置 1（図 3 参照）内に広告データ管理部 12 が設けられている。しかし、この広告データ管理部 12 は、広告配信装置 1 とは独立した装置構成としても良い。また、広告データ管理部 12 は、広告配信会社 6 が直接、管理・運営しても良いし、広告配信会社 6 が認定した広告データウェアハウス（広告データなどのデータを管理する独立会社）で管理・運営しても良い。また、さらには、この広告データ管理部 12 は、放送会社 8 が管理・運営しても良い。

【0214】広告データ管理部 12 から広告コンテンツ作成部 14 に向かう線を示す符号 98 は、広告データ管理部 12 から広告コンテンツ 7 への広告データ 55 の組み込みを示している。すなわち、この組み込みとは、広告コンテンツ 7 が対象とするターゲットユーザー 9A の絞り込みに従い掲載予定の広告データ 55 を広告コンテンツ作成部 14 へ取り込む行為を指す。

【0215】広告作成要素管理部 11 から広告コンテンツ作成部 14 に向けて引かれた線を示す符号 99 は、新規の広告コンテンツ 7 の開発を行うことを示している。新規の広告コンテンツ 7 の開発には、開発しようとしている新規の広告コンテンツ 7 のターゲットを導き出すことが必要であり大切である。その広告コンテンツ 7 のターゲットの開発形態としては、既にターゲットユーザー 9A のようなマーケットが有り、そのマーケットに合わせて広告コンテンツ 7 の開発を行う場合と、所定のジャンルやカテゴリーやコンセプトをベースとして新たな分類化を行いこれに即した広告コンテンツ 7 を開発する場合とがある。

【0216】また、上述したように、当該広告配信システムは、広告自動作成機能を付加することが可能となっている。この機能を付加した場合、この機能を用いて新たにマーケットを創出したり、あるいは自動的に絞り込みを行ってターゲットユーザーを確定することにより、そのターゲットユーザーに合わせた広告コンテンツ 7 の開発をしたりすることができる。さらには、マーケット動向 95 やトレンド 96 や既存の広告コンテンツ 7 の情報から、自動的にターゲットユーザーを確定することにより、そのターゲットユーザーに合わせた広告コンテンツ 7 の開発をしても良い。

【0217】また、この広告自動作成機能を利用して、

既存の広告コンテンツ 7 から派生させた広告コンテンツ 7 を開発しても良い。またさらに、広告主 10 の意図を反映できる広告自動作成機能とし、広告主 10 の意図を反映する広告コンテンツ 7 の開発を行っても良い。例えば、1 つの広告コンテンツ 7 全てが 1 つの企業で構成されていたり、業界や団体が、後押して 1 つの広告コンテンツ 7 を構成するようなものの開発を行うようにしても良い。

【0218】収集情報管理部 13 から広告コンテンツ作成部 14 に向けて引かれた線を示す符号 100 は、既存の広告コンテンツ 7 をより洗練させるため、すなわち更新させるために視聴履歴等の収集情報を利用することを示している。上述したターゲットユーザー 9A は、トレンド 96 が示す時間的空間の進みによって変化する。よって、広告コンテンツ 7 は、広告コンテンツ 7 の視聴履歴等の収集情報やマーケット動向 95 やトレンド 96 に関する情報を収集し、これを広告コンテンツ 7 の更新要素として取り入れることにより商品価値（付加価値）を維持しなければならない。広告コンテンツ 7 の更新とは、そのことを指す。すなわち、具体的には、広告データ 55 の入れ替えや、広告コンポーネント 54 の入れ替えを収集情報管理部 13 で収集された情報に基づいて行うこととなる。

【0219】広告コンテンツ作成部 14 は、広告データ管理部 12 に登録された各種広告データ 55の中から必要な広告データ 55 を受け取り、WEB サイト 3a のサイトアドレスなどの情報を取り込んだ広告コンポーネント 54 にその広告データ 55 を入力する作業を行う。すなわち、広告コンポーネント 54 を作成する。なお、広告コンテンツ作成部 14 は、広告コンテンツ 7 そのものを新規開発し広告を行う場合もある。その場合は、広告データ 55 の広告コンポーネント 54 への組み込み作業の他に、新規のターゲットユーザーの絞り込み及びそのターゲットユーザー向けの広告コンテンツ 7 の開発 99 を行う必要がある。

【0220】図 9 中の符号 101（広告コンテンツ作成部 14 から広告コンテンツ配信部 15 に向かう線を示す）は、広告コンテンツ 7 を広告コンテンツ配信部 15 へ登録する行為を示している。広告コンテンツ配信部 15 への登録行為は、広告コンテンツ 7 の特性により異なる。すなわち、新規の広告コンテンツ 7 の場合は新規登録、既存の広告コンテンツ 7 の場合は更新（置き換え）を意味する。但し、その運営（更新するか否かの判断）は、広告配信システムの運用を決定する広告配信会社 6 に委ねられる。

【0221】図 9 中の符号 102（広告コンテンツ作成部 14 や広告コンテンツ配信部 15 から広告作成要素管理部 11 へ向かう点線で示された矢印）は、広告コンテンツ 7 のカタログの新規登録及び更新ならびに削除を示している。広告主 10 もしくは広告代理店 10a は、広

告料一覧 90 やターゲットとなるユーザーを記述した広告コンテンツ 7 のカタログの内容を、広告主 10 の選択 91 の際に参考とする。よって、広告コンテンツ 7 のカタログは、広告配信会社 6 のサービス内容自体を示すものである。広告コンテンツ 7 のカタログの新規登録及び更新ならびに削除は、そのカタログに新規広告コンテンツ 7 や既存の広告コンテンツ 7 の情報を反映する行為を指す。

【0222】各情報の流れや相互関係の仕組みを示した図 9 に基づいた、広告配信システムの動作について、以下に説明する。

【0223】広告配信会社 6 は広告主 10 から自社広告等の広告の運用を依頼されると、広告主 10 の広告データ 55 を持つ広告コンポーネント 54 を備えた広告コンテンツ 7 を作成する。なお、この広告コンポーネント 54 には、広告主 10 の自社広告用の WEB サイト 3a とリンク関係を有するアドレス部（サイトアドレス）が設けられている。従って、受信者 5 が、作成された広告コンテンツ 7 の配信を受けると、当該広告コンテンツ 7 内の広告を閲覧できると共に、その広告の所定位置を選択すること等により、広告主 10 の WEB サイト 3a へ接続できる。

【0224】なお、当該広告コンテンツ 7 は、広告主 10 の取り扱い商品（広告主 10 が取り扱っている情報やサービス等も含む）の購買（利用）層であるユーザーグループ毎に設定された特定市場の市場動向情報や、受信者 5 及び 5' の視聴履歴等の収集情報等を考慮し、これに合致した広告コンテンツ 7 となるように作成されている。このため、この広告コンテンツ 7 に広告主 10 の広告が掲載されると、広告主 10 が意図するターゲットユーザー 9A に属する受信者 5 やしくはそれ以外の受信者 5' の自社広告の閲覧、及びその閲覧後の自社広告用の WEB サイト 3a への引き込みを効率良く成功させる可能性が高くなる。

【0225】なお、作成時点において、広告主 10 の意図するターゲットに絞り込まれた既存の広告コンテンツ 7 が無い場合、広告配信会社 6 は、新たなターゲットに絞り込みを行った広告コンテンツ 7 を作成する。そして、この新規の広告コンテンツ 7 に当該広告主 10 の広告を掲載する。これにより、広告主 10 は、自社商品（情報やサービス等も含む）の購買層となるターゲットユーザー 9A に対する広告宣伝を効率よく行える。受信者 5 及び 5' は、この新規の広告コンテンツ 7 の配信を受け、広告配信装置 1 経由で当該広告主 10 の自社商品等の広告用の WEB サイト 3a へ接続をすることが可能となる。

【0226】なお、広告主 10 が自社商品等の広告用の WEB サイト 3a を有していない場合は、受信者 5 及び 5' が高速通信網 2 を介して閲覧可能な WEB サイト 3a を新たに制作する。本発明の目的の一つは、広告配信

装置 1 を介して広告主 10 の自社商品等の広告用の WEB サイト 3a へ受信者 5 及び 5' を導くことにあるからである。

【0227】この WEB サイト 3a の制作は、広告主 10 が自身で行っても良いし、広告代理店 10a に依頼して広告代理店 10a が制作会社 10b（図 4 参照）に作成依頼を行うようにしても良い。またさらに、広告主 10 が広告配信会社 6 に WEB サイト 3a の運用のみを依頼するのではなく、WEB サイト 3a の作成をも依頼し、この依頼を受けて広告配信会社 6 が制作会社 10b に広告主 10 の WEB サイト 3a の作成依頼を行うようにしても良い。

【0228】さらに、広告主 10 が最初に広告代理店 10a に WEB サイト 3a の作成依頼をし、その広告代理店 10a が WEB サイト 3a の作成をさらに制作会社 10b に依頼するようにし、できあがった WEB サイト 3a の運用を広告配信会社 6 に依頼するようにしても良い。

【0229】なお、受信者 5 及び 5' は、自分が属するターゲットグループが分かった上で、そのターゲットグループに絞り込まれた広告コンテンツ 7 を閲覧すれば、自分の好みの広告を閲覧することができ、さらにその広告から好みの WEB サイト 3a への接続もできることとなる。なお、広告コンテンツ 7 が他の広告コンテンツ 7 とのリンク関係を有し、かつ各広告コンテンツ 7 間が多階層構造で構成されていれば、目的の広告コンテンツ 7 に容易にたどり着くことができると共に、自分をどのターゲットグループに絞り込むかという選択も容易となる。

【0230】広告コンテンツ 7 を広告配信会社 6 から高速通信網 2 を介して、又はその他の手段で放送会社 8 に送るようにすると、放送会社 8 は、その広告コンテンツ 7 を組み込んだ放送やデータ通信を行うことが可能となる。このようにすると、受信者 5 及び 5' は、広告コンテンツ 7 を高速通信網 2 から直接インターネットテレビ受像器 44 や専用機 45 やパーソナルコンピュータ 46 で受信して閲覧することが可能である。

【0231】この場合も、受信者 5 及び 5' がどのような広告コンテンツ 7 を閲覧したかが視聴履歴として記録される。加えて、広告コンテンツ 7 を配信した際の配信履歴や当該広告コンテンツ 7 の配信を受けた後に広告配信装置 1 経由で WEB サイト 3a へ接続した際の配信履歴も記録される。上述したように、広告配信会社 6 は、それらの各履歴情報を参照して、新たな放送用やデータ送信用の広告コンテンツ 7 の作成や更新を行う。

【0232】また、受信者 5 及び 5' は、上述の広告コンテンツ 7 の配信を高速通信網 2 を介して所定の放送会社 8 を経由して所定の機器で受けることも可能である。すなわち、デジタル放送会社 61 から通信衛星 64 を介して送られてくるデジタル信号をデジタル放送用チュー

ナーを備えたデジタル放送受信用テレビ 41 で受信して閲覧することも可能であるし、携帯電話会社 62 から送られてくるデジタル信号を次世代携帯電話 42 で受信して閲覧することも可能であるし、さらにはケーブルテレビ会社 63 から専用回線 65 を介して送られてくる信号をケーブルテレビ放送受信用のテレビ 43 で受信して閲覧することも可能である。

【0233】次に、受信者 5 が自分の所有する受信装置 4 を用いて、広告配信装置 1 へ接続して広告コンテンツ 7 の配信を受け、さらに広告配信装置 1 経由で WEB サイト 3a へ接続するための手順及びその際の広告配信システムの動作を、図 10 及び図 11 を用いて以下に説明する。なお、以下の説明において付された符号は、上述の構成の説明において使用したものである。

【0234】まず、受信者 5 は、受信装置 4 を利用し高速通信網 2 を介して広告コンテンツ 7 の配信要求を出す（ステップ S1）。広告配信装置 1 は、この配信要求がきたタイミングで第 1 の配信履歴をとる（ステップ S2）。

【0235】なお、広告コンテンツ 7 が、上述したように他の広告コンテンツ 7 とのリンク関係を示すアドレス部を備えており、各広告コンテンツ 7 間が多階層構造となっている場合には、この時点で受信者 5 は、番組選択画面 60 の配信要求を行う。その後、そこから広告チャンネル 51、広告コンテンツ・セレクション 52、基本広告コンテンツ 53 というように絞り込みを行う場合もあるし、広告チャンネル 51 を最初に配信要求し、順に基本広告コンテンツ 53 への絞り込みを要求する場合もある。また、広告コンテンツ・セレクション 52 を配信要求した後に基本広告コンテンツ 53 への絞り込みを要求する場合、さらには直接的に基本広告コンテンツ 53 の配信要求を行う場合もある。

【0236】そして、いずれかの方法により上述した広告配信装置 1 に対して広告情報の配信要求が出されると、広告配信装置 1 に保存された広告コンテンツ 7 が、受信者 5 の受信装置 4 に配信される（ステップ S3）。これにより、受信者 5 は、広告コンテンツ 7 の配信を受けて、それを閲覧することができる。なお、上述したように、受信者 5 の受信装置 4 は、何らかの手段により受信者 5 の広告コンテンツ 7 の視聴履歴をとる（ステップ S4）。

【0237】受信者 5 が広告コンテンツ 7 を閲覧している際に、視聴した広告の中のリンク関係を有する所定の部位を選択したとする。この行為は、広告コンテンツ 7 の広告コンポーネント 54 に設けられたアドレス部（サイトアドレス）の選択（ステップ S5）となる。受信者 5 によって選択されたアドレスが、WEB サイト 3a のサイトアドレスとなっている場合（条件 J1）、広告コンポーネント 54 中のイベントプログラムが起動し、WEB サイト 3a への接続要求を行う（ステップ S6）。

これにより、受信者 5 の受信装置 4 は、WEB サイト 3a へ接続される（ステップ S7）。

【0238】一方、ステップ S5 において選択されたアドレスが、他の広告コンテンツ 7 とリンク関係を有するアドレスであった場合（条件 J2）、選択されたアドレスに配置された他の広告コンテンツ 7 の配信要求が広告コンポーネント 54 から出される。すなわち、ステップ S1 へ戻ることとなる。なお、ステップ S1 へ戻ってからの動作フローは、上述の説明と同様である。

【0239】また、サイトアドレスを選択したところ、そのアドレスが存在しない場合やそのアドレスが何も示していない場合（時にはサイトアドレスがない場合もある）（条件 J3）、受信装置 4 は、当該広告コンテンツ 7 との接続状態を維持する（ステップ S21）。

【0240】また、図 11 に示すように、ステップ S7 で受信装置 4 が WEB サイト 3a に接続されると、広告配信装置 1 は第 2 の配信履歴をとる（ステップ S11）。なお、この接続した WEB サイト 3a が売買サイトである場合（ステップ S12 において Yes）は、ステップ S13 に進む。一方、この接続した WEB サイト 3a が売買サイト以外のサイト、すなわち情報サイトである場合（ステップ S12 において No）は、この時点で受信者 5 に関する履歴情報の収集活動が一旦終了する（ステップ S15）。

【0241】ステップ S12 において Yes であって、受信者 5 が接続した売買サイト内で、見積もり依頼や売買行為等の行動を起こした場合、すなわちこの売買サイトを利用した場合（ステップ S13 において Yes）は、その行動に対応した売買履歴を売買サイト側で取り（ステップ S14）、その後、売買サイトから何らかの方法によりその売買履歴を広告配信装置 1 へ送る。

【0242】これにより、広告配信装置 1 がその送られてきた売買履歴を受け取り、上述した収集情報管理部 13 でこの売買履歴情報の収集管理を行う。これにより、この時点で、受信者 5 に関する履歴情報の収集活動が一旦終了する（ステップ S15）。

【0243】なお、上述した第 1 の実施の形態の広告配信システムでは、広告自動作成機能や検索機能等を付加することにより、さらに充実した広告情報配信サービスを行えるという説明をしたが、これらの機能を有する装置構成の説明を特に行っていない。そこで、上述した広告配信システムを運用するための広告配信装置 1 の他の装置構成について、第 2 の実施の形態から第 10 の実施の形態として説明する。なお、第 1 の実施の形態と同じ機能を有する部分についての機能説明や動作説明等に関しては省略または簡略化するものとし、かつ第 1 の実施の形態の構成と同一または類似の部分については同一の符号を使用するものとする。

【0244】本発明の第 2 の実施の形態における広告配信装置 112 について、図 12 を用いて説明する。

【0245】図12に示すように、広告配信装置112は、所定のターゲットに絞り込むための各種要素を管理する広告作成要素管理部11と、広告コンテンツ7を構成する各種の広告データ55を蓄積しこれを管理する広告データ管理部12と、視聴履歴や配信履歴や売買履歴を収集しこれらの収集情報を管理する収集情報管理部13と、各種の作成要素や各種の収集情報を基に最適な広告データ55を選択して広告コンテンツ7を作成する広告コンテンツ作成部14と、作成した広告コンテンツ7を高速通信網2を介して受信者5の受信装置4に配信し

かつその際の配信履歴を記録することが可能であると共にWEBサイト3aへの接続要求を行える広告コンテンツ配信部15とを備えている。

【0246】なお、所定のターゲットに絞り込むための各種要素とは、上述した第1の実施の形態と同様、当該広告コンテンツ7のターゲットとなるユーザーグループが属する特定市場のマーケット動向95（市場動向情報）や、このユーザーグループが属するさらに大枠の市場9の方向性情報（トレンド96）や、依頼主となる広告主10の意志決定（広告主の選択91）等からなる。

【0247】この第2の実施の形態では、収集情報管理部13で収集したこれらの各種要素のうち、当該広告コンテンツ7のターゲットとなるユーザーグループが属する特定市場の市場動向情報（マーケット動向95）を分析する第1の分析手段14aと、このユーザーグループが属するさらに大枠の市場9の方向性情報（トレンド96）を分析する第2の分析手段14bとを、上述の広告コンテンツ作成部14に備えている。なお、これらの各分析手段14a、14bは、当該広告配信装置112内のどこに配置しても良い。例えば、収集情報管理部13に両分析手段14a、14bを持たせた構成としても良い。

【0248】なお、上述した第2の実施の形態における広告配信装置112の主な機能は、上述した第1の実施の形態と同様であり、この第2の実施の形態では、特に、当該装置112内に上述した各種要素を分析する分析手段14a、14bを一体的に持たせたことに特徴がある。

【0249】本発明の第3の実施の形態における広告配信装置113について、図13を用いて説明する。

【0250】図13に示すように、広告配信装置113は、第1の実施の形態の広告配信装置1と比較し、広告コンテンツ配信部15を有しない構成となっている。すなわち、この広告配信装置113は、所定のターゲットに絞り込むための各種要素を管理する広告作成要素管理部11と、広告コンテンツ7を構成する各種の広告データ55を蓄積しこれを管理する広告データ管理部12と、視聴履歴や配信履歴や売買履歴を収集しこれらの収集情報を管理する収集情報管理部13と、各種の作成要素や各種の収集情報を基に最適な広告データ55を選択

して広告コンテンツ7を作成する広告コンテンツ作成部14と、を備えている。

【0251】なお、この第3の実施の形態における広告配信装置113は、広告コンテンツ配信部15を有していないが、広告コンテンツ配信部に相当する装置を別に用意し、この広告配信装置113に高速通信網2を介してあるいは介さずにその配信部に相当する装置を直接接続するようにしても良い。このように構成すると、広告コンテンツ作成部14で最終的に作成された広告コンテンツ7をその別構成となる配信装置に送り、この配信装置から受信者5に配信することが可能となる。これによって、上述の第1の実施の形態で示した広告配信システムの運用を行うことが可能となる。

【0252】本発明の第4の実施の形態における広告配信装置114について、図14を用いて説明する。

【0253】図14に示すように、この広告配信装置114は、上述の第1及び第2の実施の形態における広告コンテンツ配信部15の機能のみを有する装置となっている。すなわち、この広告配信装置114は、広告コンテンツ7の作成を行う機能や収集情報管理部13に相当する機能は、他の装置で行うようにし、他の装置で作成された広告コンテンツ7を受け取りその広告コンテンツ7をその内部に備えることが可能となっている。また、この広告配信装置114は、この内部に備えた広告コンテンツ7を高速通信網2を介して受信者5の受信装置4に配信することが可能であると共に、サイト用WEBサーバー3に格納されたWEBサイト（売買サイトや情報サイト）3aへの接続要求を行えるものとなっている。

【0254】このため、受信者5は、受信装置4を用いてこの広告配信装置114の広告コンテンツ7の配信を受け、その配信された広告コンテンツ7の広告データ55の所定の位置を選択する等すると、選択された部位に設けられたサイトアドレスに示されたWEBサイト3aへの接続要求が、広告コンテンツ7から当該広告配信装置114を経由してそのWEBサイト3aに対して出される。これによって、受信装置4は、サイト用WEBサーバー3内のWEBサイト3aに接続できる。なお、当然ながら、受信装置4は、広告配信装置114を介さずに直接WEBサイト3aへ接続要求を出し、これによってWEBサイト3aへ接続することも可能である。

【0255】なお、この第4の実施の形態の広告配信装置114は、上述したように広告コンテンツ7を作成する機能を有していないが、例えば、上述の第3の実施の形態の広告配信装置113に接続すれば、広告配信装置113で作成された広告コンテンツ7を広告配信装置113から当該広告配信装置114へ送信してもらうことができ、これを内部に格納することが可能となる。これにより、上述の第1の実施の形態で示した広告配信システムの運用を行うことが可能となる。

【0256】本発明の第5の実施の形態における広告配

信装置 115 について、図 15 を用いて説明する。

【0257】図 15 を示すように、この広告配信装置 115 は、上述の第 1 及び第 2 の実施の形態における収集情報管理部 13 の機能のみを有する装置となっている。すなわち、この広告配信装置 115 は、視聴履歴を受信者 5 の受信装置 4 から送信してもらいこれを収集する機能を有している。また、広告配信装置 115 は、配信機能及び配信制御機能を備えた広告配信装置 115' から受信者 5 に対して広告コンテンツ 7 の配信がなされた際の配信履歴および当該広告コンテンツ 7 を配信する上述の広告配信装置 115' 経由で受信者 5 が WEB サイト 3a へ接続した際の配信履歴の少なくとも一方（双方でも良い）を送信してもらい、これを収集する機能を有している。

【0258】さらに、広告配信装置 115 は、受信者 5 が上述の広告配信装置 115' から受信者 5 に対して広告コンテンツ 7 の配信がなされ、受信者 5 がその配信された広告コンテンツ 7 から広告配信装置 115' 経由でサイト用 WEB サーバー 3 内の WEB サイト 3a へ接続した場合や、または少なくとも 1 回以上広告配信装置 115' 経由で WEB サイト 3a に接続した受信者 5 が例えば 2 回目以降等の接続において広告配信装置 115' を経由しないで直接的に WEB サイト 3a に接続した場合であって、その WEB サイト 3a が売買サイトである場合における受信者 5 の売買サイトの利用情報となる売買履歴を売買サイトから送信してもらい、これを収集する機能を有している。すなわち、この広告配信装置 115 は、上述した第 1 の実施の形態において説明した視聴履歴や配信履歴や売買履歴を収集する機能を備えている。

【0259】なお、この第 5 の実施の形態の広告配信装置 115 は、上述したように広告コンテンツ 7 を作成する機能及び作成された広告コンテンツ 7 を配信する機能等を有していないが、例えば、これらの機能を有する第 1 及び第 2 の実施の形態の広告配信装置 1, 112 の外部装置として存在しても良い。

【0260】なお、上述の第 1 及び第 2 の実施の形態の広告配信装置 1, 112 は、それぞれこの第 5 の実施の形態の広告配信装置 115 が有する機能に相当する部位を備えた構成となっているが、この部分を無くし、第 5 の実施の形態の広告配信装置 115 で代替して使用するようにしても良いし、第 5 の実施の形態の広告配信装置 115 でこの部分を補うような構成としても良い。いずれにしてもこのような接続により、上述の第 1 の実施の形態で示した広告配信システムの運用を行うことが可能となる。

【0261】次に、本発明の第 6 の実施の形態における広告配信装置 116 について、図 16 を用いて説明する。

【0262】図 16 に示すように、広告配信装置 116

は、所定のターゲットに絞り込むための各種要素を管理する広告作成要素管理部 11 と、広告コンテンツ 7 を構成する各種の広告データ 55 を蓄積しこれを管理する広告データ管理部 12 と、視聴履歴や配信履歴や売買履歴を収集しこれらの収集情報を管理する収集情報管理部 13 と、各種の作成要素や各種の収集情報を基に最適な広告データ 55 を選択して広告コンテンツ 7 を作成する広告コンテンツ作成部 14 と、作成した広告コンテンツ 7 を高速通信網 2 を介して受信者 5 の受信装置 4 に配信しかつ配信履歴を記録することが可能であると共に、WEB サイト 3a への接続要求を行える広告コンテンツ配信部 15 とを備えている。

【0263】なお、この第 6 の実施の形態における広告配信装置 116 と、上述の第 1 及び第 2 の実施の形態の装置構成との相違点は、この広告配信装置 116 内の広告コンテンツ作成部 14 が広告コンテンツ 7 を自動的に作成する機能を有している点である。

【0264】この自動作成機能とは、新たなマーケットを創出する場合や絞り込みを行って新規の広告コンテンツ 7 を自動的に作成する機能である。すなわち、新規の広告コンテンツ 7 の開発を行なう場合に、新しいコンセプト等に従い既存の広告コンポーネント 54 を組み合わせさせて広告コンテンツ 7 を自動作成する機能である。

【0265】この機能は、生成パラメータを設定し、当該広告配信装置 116 内のプログラムによって自動作成される。この自動作成機能により、例えば、各広告コンテンツ 7 で視聴率の高い広告コンポーネント 54 のみを集めた広告コンテンツ 7 を新たに生成することや、広告のジャンルや視聴年齢層を想定した広告コンテンツ 7 を作成することができる。なお、上述した第 1 の実施の形態で、自動作成機能を持たせた場合における作用について述べたが、この第 6 の実施の形態の自動作成機能は上述したものと同様である。

【0266】本発明の第 7 の実施の形態における広告配信装置 117 について、図 17 を用いて説明する。

【0267】なお、以下に説明する第 7 の実施の形態の広告配信装置 117 は、上述した第 1 ～第 6 の実施の形態の装置構成では実現できない機能である検索機能を備えている。なお、この検索機能は、上述した第 6 の実施の形態で説明した自動作成機能の中に含まれる機能である。

【0268】第 7 の実施の形態の広告配信装置 117 は、自動作成機能の中の検索機能を有していることにより、受信者 5 が自分が属することとなるターゲットや広告を、単に多階層構造に配置された複数の広告コンテンツ 7の中から探すだけでなく、主体的にキーワード入力等により検索することが可能となる。すなわち、第 7 の実施の形態の広告配信装置 117 は、受信者 5 が当該広告配信装置 117 に対して所定の分類等を指定するかあるいはキーワード入力等を行うことにより、その検索条

件に合致した広告データ 55 を抽出して新たな広告コンテンツ 7 を作成する機能を有している。

【0269】図 17 に示すように、広告配信装置 117 は、広告コンテンツ 7 を構成する各種の広告データ 55 を蓄積しこれを管理する広告データ管理部 12 と、各種の作成要素や各種の収集情報を基に最適な広告データ 55 を選択することにより所定のターゲットに絞り込んだ広告を有する広告コンテンツ 7 を作成する広告コンテンツ作成部 14 と、広告コンテンツ 7 を内部に備えかつこれを受信者 5 の要求に応じて配信すると共に、配信した

際に配信履歴を記録する広告コンテンツ配信部 15 と、広告データ管理部 12 内や当該広告配信装置 117 に接続されている他の広告配信装置 117' 内から広告データ 55 を検索して抽出する検索部 16 とを有している。

【0270】上述した構成を有する広告配信装置 117 は、受信者 5 が自己の受信装置 4 を用いて、自分が検索したい分類や単語をキーワード入力等することにより、その検索条件に関連づけられた広告データ 55 を広告データ管理部 12 や他の広告配信装置 117' から抽出して広告コンテンツ 7 を作成する。すなわち、キーワード

入力等の内容が広告コンテンツ配信部 15 を介して広告コンテンツ作成部 14 に入力され、これに基づいて広告コンテンツ作成部 14 は入力された検索条件に関連付けられた広告データ 55 の検索開始を検索部 16 に指示する。

【0271】検索部 16 は、上述した広告コンテンツ作成部 14 からの指示に基づいて検索動作を開始する。なお、広告データ管理部 12 には、上述した第 1 及び第 2 の実施の形態等と同様、広告画像や音声等の各種の広告データ 55 が、所定の分類毎に整理され保存されている。検索部 16 は、受信者 5 が設定した検索条件に関連付けられる広告データ 55 を、当該広告配信装置 117 に高速通信網 2 を介して接続されている他の広告配信装置（当該広告配信装置 117 を管理運営している広告配信会社 6 以外の会社等が管理運営を行っている場合もある）117' 及び上記広告データ管理部 12 から抽出して、それを広告コンテンツ作成部 14 へ送る。

【0272】広告コンテンツ作成部 14 は、広告データ管理部 12 や他の広告配信装置 117' から集められた広告データ 55 を 1 つの広告コンテンツ 7 内に組み込んで、広告コンテンツ配信部 15 に配置する。これにより、広告コンテンツ配信部 15 が、この広告コンテンツ 7 を受信者 5 の受信装置 4 に対して配信する。

【0273】次に、本発明の第 8 の実施の形態における広告配信装置 118 について、図 18 を用いて説明する。なお、以下に説明する第 8 の実施の形態の広告配信装置 118 は、上述した第 7 の実施の形態とほぼ同様であるが、受信者 5 の入力等の行為とは無関係に当該装置 118 が自動的に検索動作を開始してしまう点に相違点がある。

【0274】図 18 に示すように、広告配信装置 118 は、広告コンテンツ 7 を構成する各種の広告データ 55 を蓄積しこれを管理する広告データ管理部 12 と、各種の作成要素や各種の収集情報を基に最適な広告データ 55 を選択することにより所定のターゲットに絞り込んだ広告を有する広告コンテンツ 7 を作成する広告コンテンツ作成部 14 と、広告コンテンツ 7 を内部に備えかつこれを受信者 5 の要求に応じて配信すると共に広告コンテンツ 7 を配信した際に配信履歴を記録する広告コンテンツ配信部 15 と、広告データ管理部 12 内や当該広告配信装置 118 に接続されている他の広告配信装置 118' 内から広告データ 55 を検索して抽出する検索部 16 とを有している。

【0275】上述した構成を有する広告配信装置 118 は、例えば、広告配信装置 118 に送られてくる視聴履歴等の収集情報のデータ量が一定量以上となった時とかあるいは毎回決められたある時間の到来等によって、当該広告配信装置 118 が自発的に上述の検索を開始してしまうことに特徴がある。

【0276】上述の検索条件等が整うことにより、その検索条件に関連づけられた広告データ 55 を広告データ管理部 12 や他の広告配信装置 118' から抽出して広告コンテンツ 7 を作成する。

【0277】すなわち、上述した検索部 16 は、検索条件に基づいて検索動作を開始する。なお、広告データ管理部 12 には、広告画像や音声等の各種の広告データ 55 が所定の分類毎に整理され保存されている。検索部 16 は、検索条件に関連付けられる広告データ 55 を、当該広告配信装置 118 に高速通信網 2 を介して接続されている他の広告配信装置（当該広告配信装置 118 を管理運営している広告配信会社 6 以外の会社等が管理運営を行っている場合もある）118' 及び上記広告データ管理部 12 から抽出して、それを広告コンテンツ作成部 14 へ送る。

【0278】広告コンテンツ作成部 14 は、広告データ管理部 12 や他の広告配信装置 118' から集められた広告データ 55 を 1 つの広告コンテンツ 7 内に組み込んで、広告コンテンツ配信部 15 内に配置する。これにより、広告コンテンツ配信部 15 が、この広告コンテンツ 7 を受信者 5 の受信装置 4 に対して配信する。

【0279】次に、本発明の第 9 の実施の形態における広告配信装置 119 について、図 19 を用いて説明する。

【0280】この広告配信装置 119 は、上述の第 7 及び第 8 の実施の形態における検索部 16 の機能のみを有する装置となっている。すなわち、この広告配信装置 119 は、広告コンテンツ 7 を作成するための広告データ 55 の検索のみを行える装置であって、当該広告配信装置 119 に接続された他の広告配信装置 119' から広告データ 55 を抽出して検索するのみの装置である。な

お、他の広告配信装置 119' は、単なる広告データ 55 を集積したデータベースであっても良い。

【0281】最後に、本発明の第 10 の実施の形態における広告配信装置 120 について、図 20 を用いて説明する。

【0282】図 20 に示すように、広告配信装置 120 は、所定のターゲットに絞り込むための各種要素を管理する広告作成要素管理部 11 と、広告コンテンツ 7 を構成する各種の広告データ 55 を蓄積しこれを管理する広告データ管理部 12 と、視聴履歴や配信履歴や売買履歴を収集しこれらの収集情報を管理する収集情報管理部 13 と、各種の作成要素や各種の収集情報を基に最適な広告データ 55 を選択して広告コンテンツ 7 を作成する広告コンテンツ作成部 14 と、作成した広告コンテンツ 7 を高速通信網 2 を介して受信者 5 の受信装置 4 に配信しかつこの配信時に配信履歴を記録すると共に、WEB サイト 3a への接続要求を行える広告コンテンツ配信部 15 と、広告データ管理部 12 内や当該広告配信装置 120 に接続されている他の広告配信装置 120' 内から広告データ 55 を検索して抽出する検索部 16 とを有している。すなわち、上述した第 1 ～第 9 の実施の形態で説明した各装置の各機能を全て 1 つの装置に持たせたものとなっている。

【0283】なお、上述の各実施の形態は、本発明の好適な実施の形態の各例であるが、これに限定されるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲において種々の変形実施が可能である。例えば、上述の各実施の形態では、広告配信会社 6 が広告コンテンツ 7 を配信等する広告配信装置を管理運営するという前提で説明したが、これは便宜上、このような説明をしただけであり、特に広告配信会社 6 は存在せず、放送会社 8 のみが存在したり、他の広告関係会社が存在するようにしても良い。

【0284】また、上述の説明では、各実施の形態では、受信者 5 が広告コンテンツ 7 の配信を受けた際の配信履歴、及びこの広告コンテンツ 7 を配信する広告配信装置 1 経由で WEB サイト 3a への接続を行った場合の配信履歴が、広告配信装置 1 で記録されるようになっている。しかし、広告コンテンツ 7 が、これらの配信履歴を記録するようにプログラムされていても良い。また、上述の説明では、各実施の形態では、少なくとも 1 回以上広告コンテンツ 7 の配信を受けた受信者 5 が売買サイトに接続し、その売買サイトで何らかの行動を起こすと、売買サイトがその売買履歴を取りその履歴を広告配信装置 1 へ送るように構成されている。しかし、広告コンテンツ 7 が、この売買履歴を記録するようにプログラムされていても良い。

【0285】また、上述の説明では、各実施の形態では、広告配信装置というハードウェアが必ず存在するものとして説明したが、特にハードウェアに限定されるのではない。すなわち、上述した各実施の形態における広

告配信装置の各機能を備えたソフトウェアであっても良いし、さらにはこのような各種機能を実行させるプログラムが記録された記録媒体であっても良い。

【0286】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の広告配信システム及び広告配信装置ならびに広告配信方法によれば、予め所定のターゲットに絞り込んだ広告を 1 つ以上有し、かつ所定の WEB サイトや他の広告コンテンツとリンク関係を有するアドレス部を備えた広告コンテンツを高速通信網上に配置させているため、受信者は当該広告コンテンツを配信する広告配信装置経由で自分の所望する WEB サイト等に容易にたどり着くことができる。加えて、受信者自身が属するターゲットに合致した広告コンテンツの配信を受信者が受ければ、この配信を受けた広告コンテンツ自体の閲覧も興味深いものとなり、かつそこからリンクされる WEB サイト等も、受信者にとって興味深いものとなる。

【0287】従って、広告主側から見ると、自社製品の購買層となるターゲットユーザーを受信者として効率よく自社広告が掲載された広告コンテンツや自社広告用の WEB サイト等へ導くことができる。なお、ターゲットの絞り込みの際に、ターゲットユーザーの視聴履歴等の収集情報や現在の市場の流れを考慮することにより、さらに将来有望な新しい特定市場を次々に生み出し、その特定市場に属する新しいユーザーへの遅滞ない広告コンテンツの配信が可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の第 1 の実施の形態の広告配信システムの全体を示したブロック図である。

【図 2】図 1 の広告配信システムを利用して配信される広告コンテンツとの接続関係を示したブロック図で、

(A) は WEB サイトとの接続、(B) は他の広告コンテンツとの接続を示した図である。

【図 3】図 1 の広告配信システムの一部となる広告配信装置の構成の一例を示したブロック図である。

【図 4】図 1 の広告配信システムの詳細な全体構成及び当該広告配信システムを取り巻くインフラ等について説明するためのシステム概要図である。

【図 5】図 1 の広告配信システムを利用して配信される広告コンテンツの構成を説明するためのブロック図である。

【図 6】図 1 の広告配信システムの主要部となる広告コンテンツが他の広告コンテンツとのリンク関係を備え、かつ各広告コンテンツ間が多階層構造に配置される場合のレイヤについて説明するための図である。

【図 7】図 1 の広告配信システムを利用する受信者から見た、各広告コンテンツがそれぞれ配置された各レイヤへのアクセスイメージを示した図である。

【図 8】図 1 の広告配信システムによる広告配信サービスを受ける受信者を取り巻く社会環境について説明する

ための図である。

【図 9】図 1 の広告配信システムを運用する際の各履歴等の情報の流れや相互関係の仕組みを説明するためのブロック図である。

【図 10】図 1 の広告配信システムを用いて受信者へ配信する広告コンテンツを、受信者が閲覧しかつWEBサイトに接続するまでの第 1 の配信履歴及び視聴履歴の各履歴の収集等の動作フローを示したブロック図である。

【図 11】図 1 の広告配信システムを用いて受信者へ配信する広告コンテンツを、受信者が閲覧しかつWEBサイトに接続した後の第 2 の配信履歴及び売買履歴の各履歴の収集等の動作フローを示したブロック図である。

【図 12】本発明の第 2 の実施の形態の広告配信装置の装置構成を示したブロック図である。

【図 13】本発明の第 3 の実施の形態の広告配信装置の装置構成を示したブロック図である。

【図 14】本発明の第 4 の実施の形態の広告配信装置の装置構成を示したブロック図である。

【図 15】本発明の第 5 の実施の形態の広告配信装置の装置構成を示したブロック図である。

【図 16】本発明の第 6 の実施の形態の広告配信装置の装置構成を示したブロック図である。

【図 17】本発明の第 7 の実施の形態の広告配信装置の装置構成を示したブロック図である。

【図 18】本発明の第 8 の実施の形態の広告配信装置の装置構成を示したブロック図である。

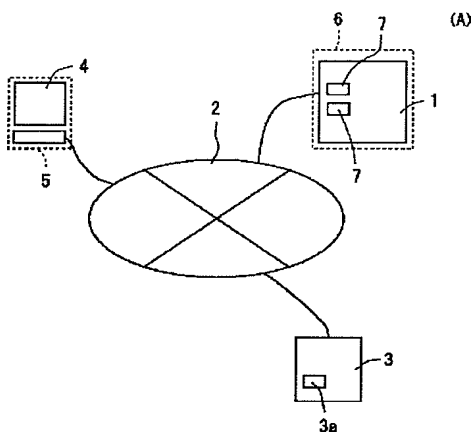
【図 19】本発明の第 9 の実施の形態の広告配信装置の装置構成を示したブロック図である。

【図 20】本発明の第 10 の実施の形態の広告配信装置の装置構成を示したブロック図である。

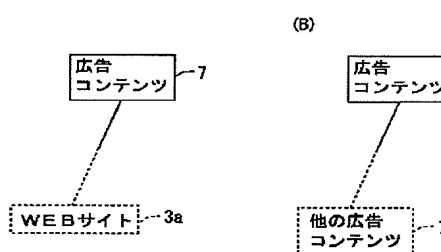
【符号の説明】

- 1 広告配信装置
- 2 高速通信網
- 3 サイト用WEBサーバー
- 3a WEBサイト
- 4 受信装置
- 5 受信者
- 7 広告コンテンツ
- 9A ターゲットユーザー
- 9B ターゲットユーザー
- 9C ターゲットユーザー
- 11 広告作成要素管理部
- 12 広告データ管理部
- 13 収集情報管理部
- 14 広告コンテンツ作成部
- 14a 第 1 の分析手段
- 14b 第 2 の分析手段
- 15 広告コンテンツ配信部
- 16 検索部
- 54 広告コンポーネント
- 55 広告データ

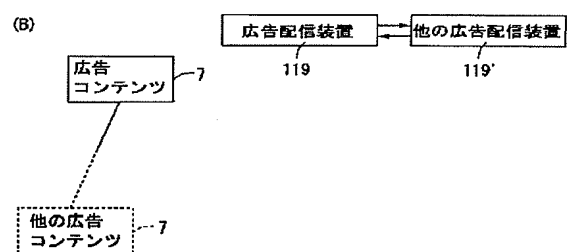
【図 1】



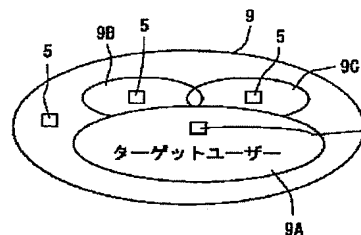
【図 2】



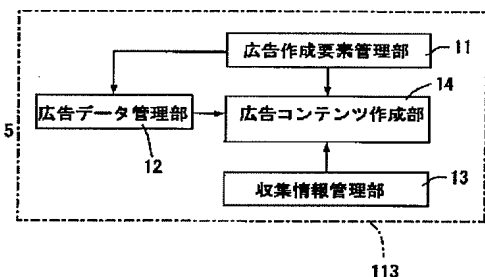
【図 19】



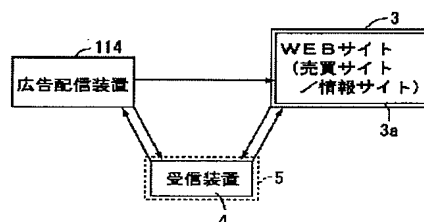
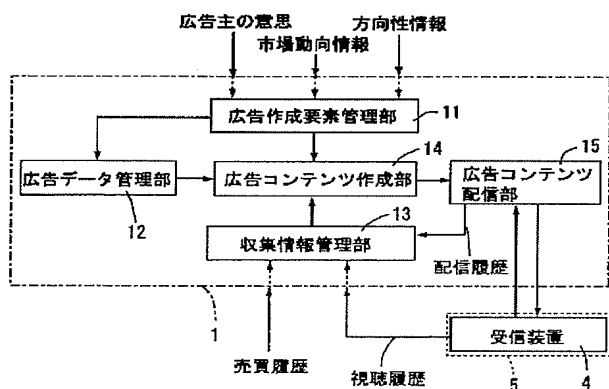
【図 8】



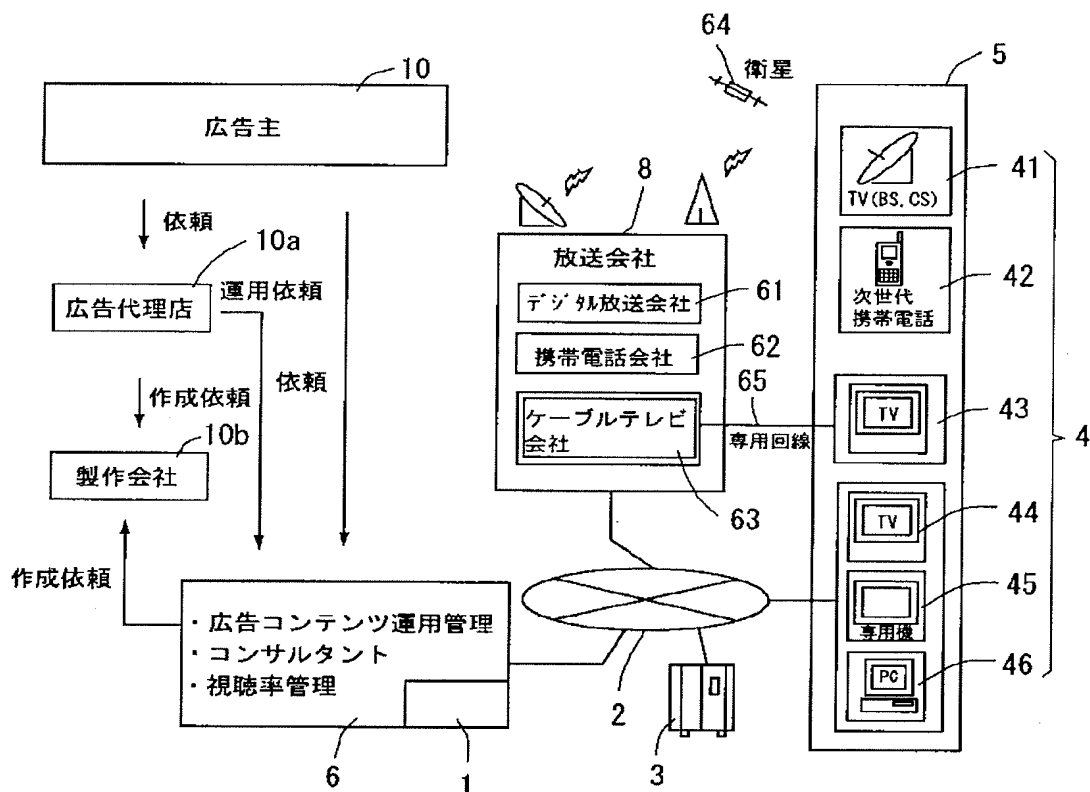
【図 13】



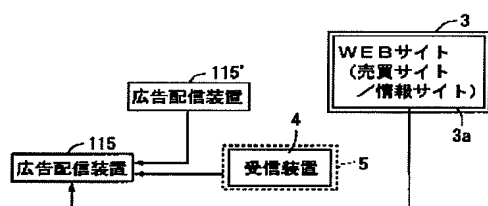
【图 14】



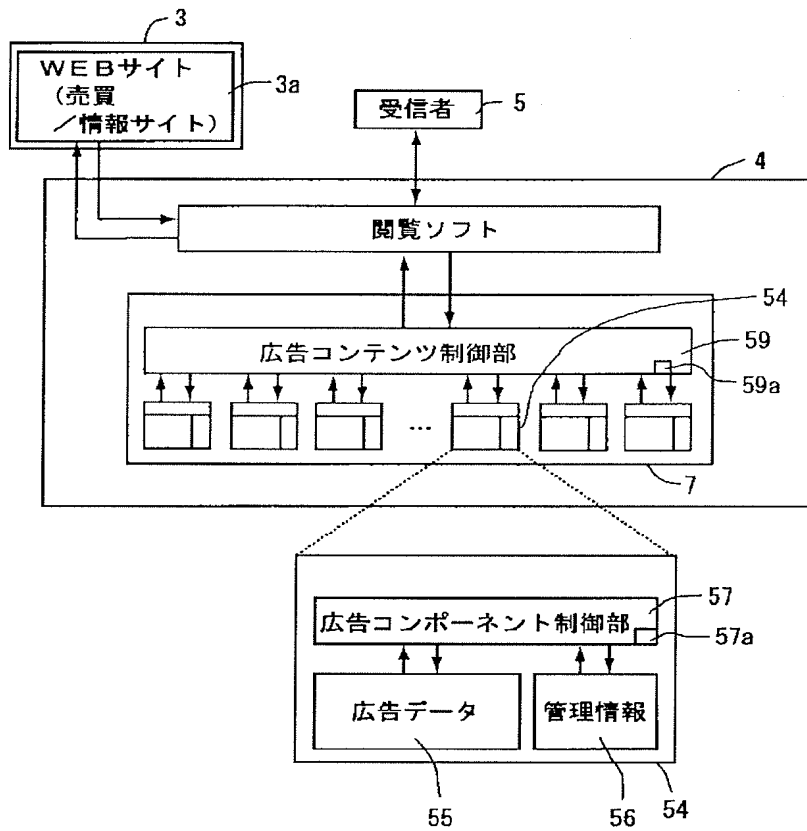
【图 4】



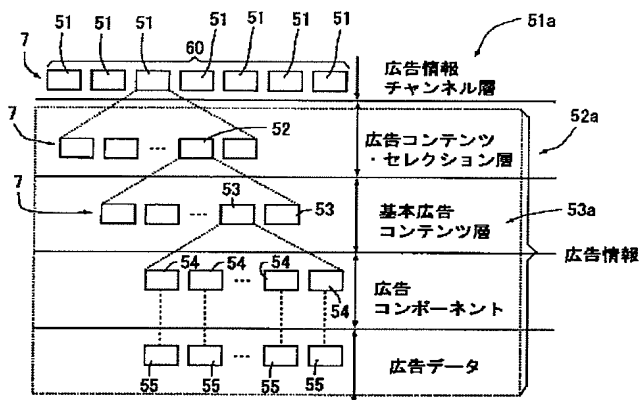
【図 15】



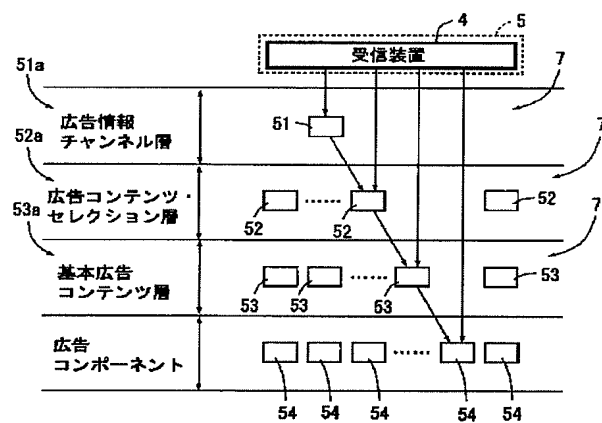
【図 5】



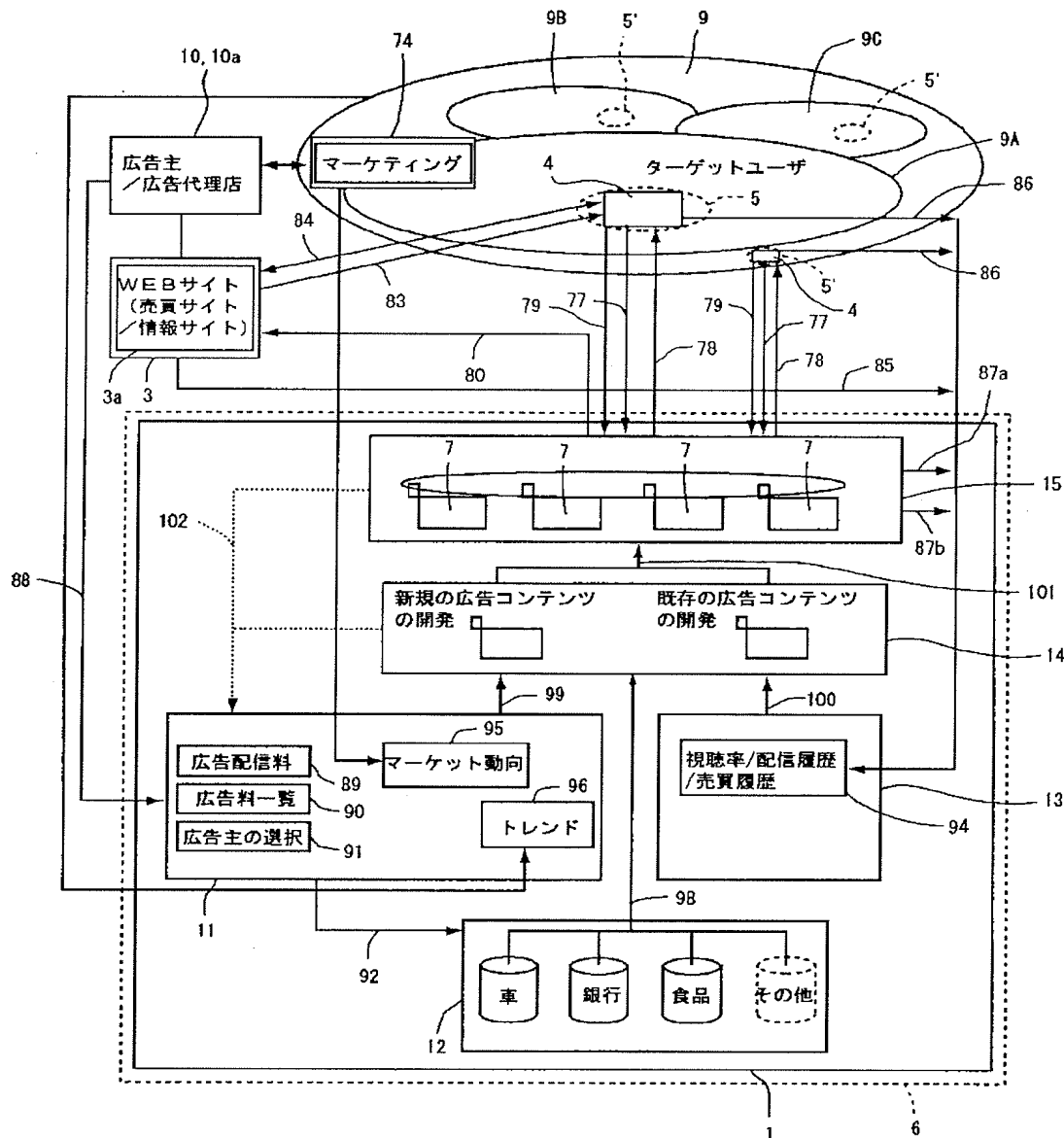
【図 6】



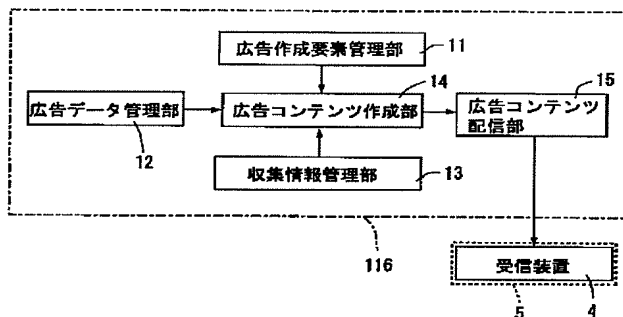
【図 7】



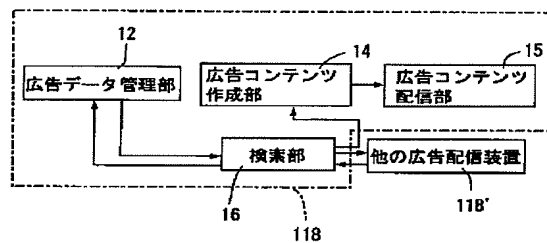
【図 9】



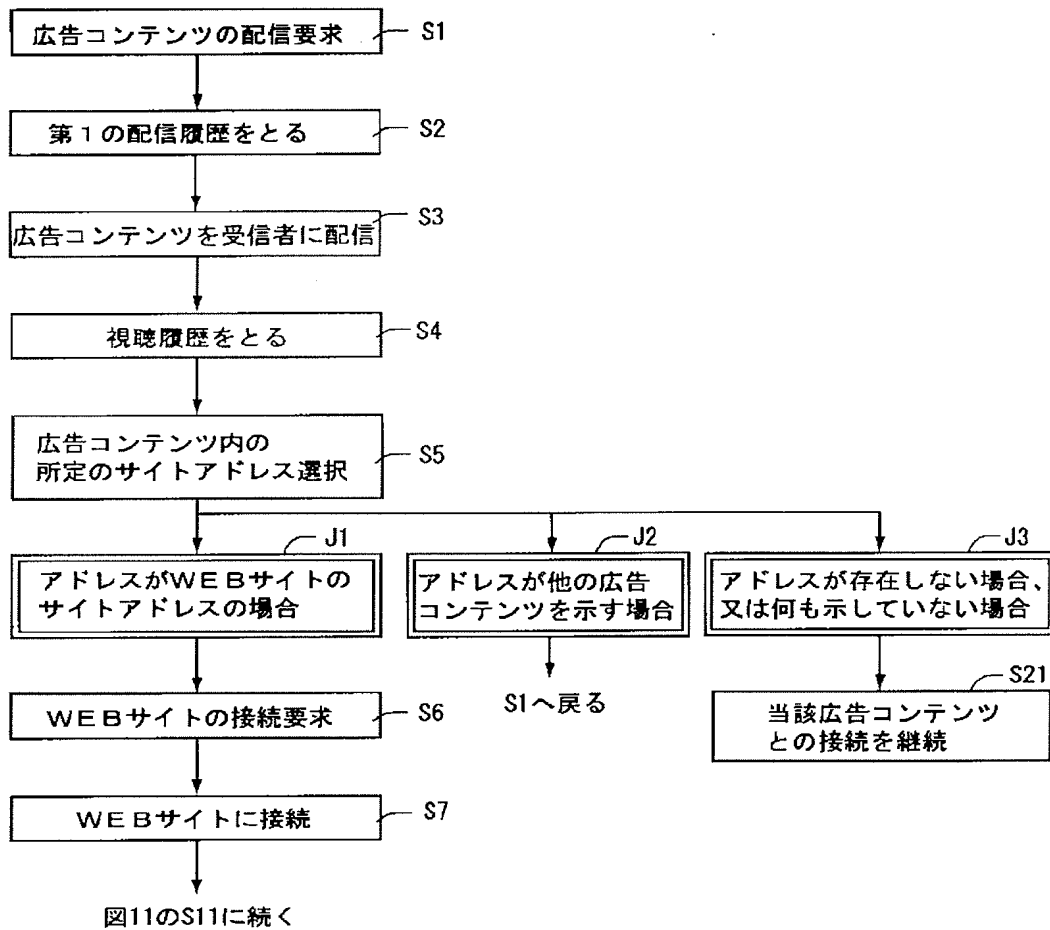
【図 16】



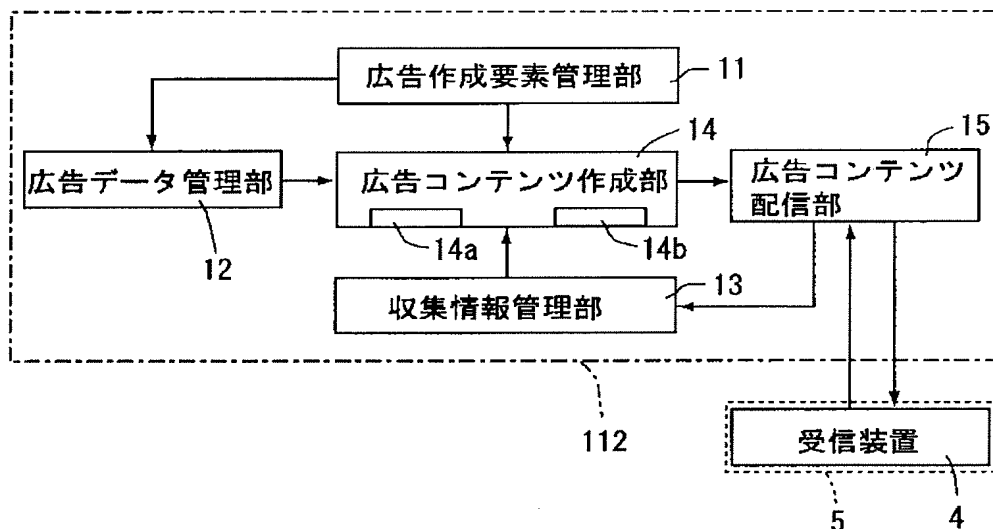
【図 18】



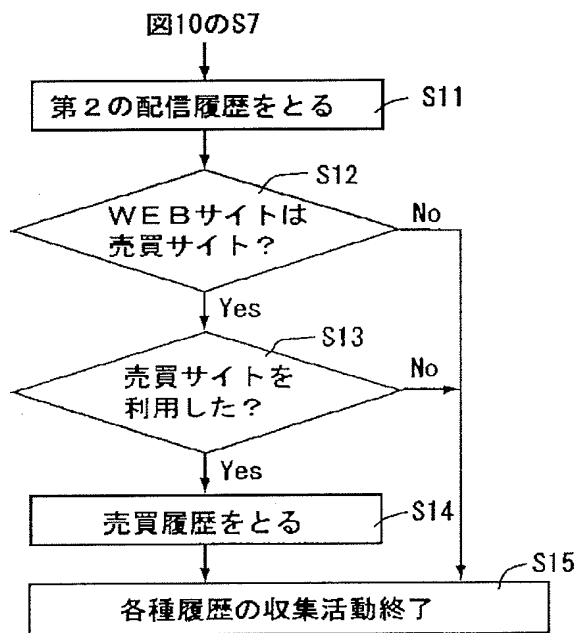
【図10】



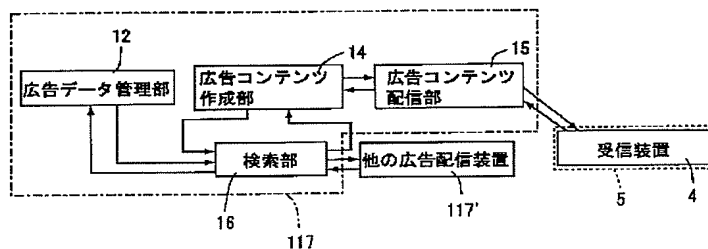
【図12】



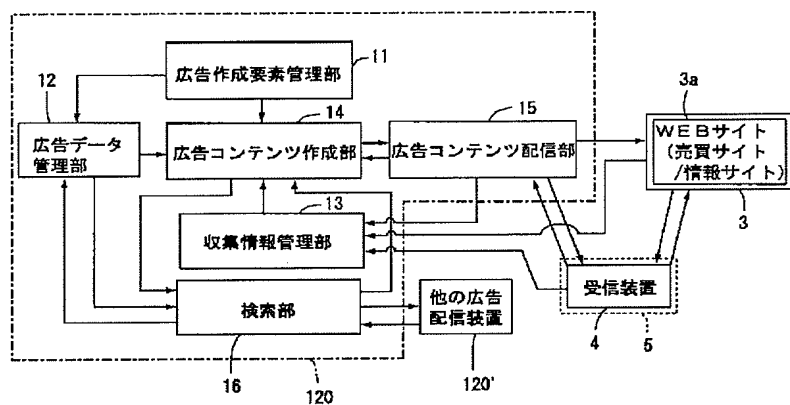
【図11】



【図17】



【図20】



フロントページの続き

(51) Int. Cl.⁷

G 0 6 F 17/60

識別記号

5 0 4

F I

G 0 6 F 17/60

ターモート* (参考)

5 0 4